

シ耳ハ長クシテ垂下ス

ベルガマスケル羊ハ軀軀大ニシテ六〇—七五キロ瓦ノ生軀量〇七二—〇八二迷ノ鬻甲尺ニシテ脚ハ比較的長ク牡羊ハ無角トス頸ハ長ク顔面及膝以下ハ短毛ヲ生ズ長キ粗毛ハ二二仙迷ノ長ニシテ白色ノ剛毛ト一二仙迷ノ軟毛ヲ有ス剪截毛量二五—四キロ瓦トス母羊ハ屢ニ兒ヲ産ス乳ハ乾酪ニ使用スブライブルケル、アルペン及チローレルノスピールケル羊ニ等シキモノトス

Deutsches schichtwolliges schaf, (獨逸滑膩羊)ハ西中央獨逸ニ蕃殖ス亞種ハTina羊ニシテ頭ハ裸出シ黒色トス軀軀中等大六九仙迷ノ鬻甲尺ニシテ生軀量四〇—四五キロ瓦毛量一八一—二二キロ瓦トス二歳ノ羊ハ肉品質殊ニ佳良ナリトスライン羊ハ頭白色ナリトス

Merino schafe (メリノ羊)ハ細美ナル短毛ニシテ皮膚ニ密着シ多量ノ脂肪汗腺ヲ有ス上毛ハ全クナク刺毛或ハLamm's pitzenトシテ生ズ短毛スバニニ羊(メリノ)ハ全世界ニ蔓延スメリノ羊ハ中等大ニシテ牡ハ角ハ側方ニ出テ牝ハ或ハ有角或ハ無角トス

一、エレクトラル羊 二、ネクレッチ羊 三、カムウオルメリ羊ニ類別ス

「エレクトラル羊」軟毛「エレクトラル羊」ハ小メリノニ屬シ骨格細美ナリトス母羊ハ二十五—三十キロ瓦ノ軀重ニシテ頸ハ長ク胸ハ狭ク側壁ハ扁平ナリトス剪截毛量ハ比較的尠キモ纖細美麗ナリトス(〇七—一二キロ瓦)

「ネクレッチ羊」或ハ「インフアンタード羊」ハオーストリアニ於テ蕃殖ス軀軀強大ニシテ纖美ナル毛ヲ有シ軀重三〇—四〇キロ瓦トス頭ハ廣ク短ク牡ハ強大ナル角ヲ有ス頸及後軀ハ多數ノ皮膚皺襞ヲ生ズ頸及脚ハ常ニ佳良ナル性状ヲ示ス剪截毛量母羊ニ在テハ一二五キロ瓦トス「ネクレッチ羊」ト「エレクトラル羊」トノ他種ノ羊ト交叉蕃殖ヲ行ハル即チ「エレクトラル」レグナッチ羊トシテ或ハ「エスコリアル」種或ハ「シユレス」エデル羊ノ如シ

「カムウオルメリノ」羊ハ軀軀強大ニシテ細美ナル毛ヲ生ズ母羊ノ軀重四〇—四五キロ瓦トス毛ハ一年ニ六仙迷以上成長ス母羊ハ二キロ瓦以上ノ剪毛量ヲ有ス皮膚ニ皺襞ヲ有スMerinos plisses及ビ皮膚ニ皺襞ヲ有セザルMerinos non plissesノ二種ニ區別ス初メハ毛用トシ後肉及脂肪ヲ利用ス

「マウシヤンプ」羊ハ軀軀ノ構造佳良ニシテ肥臚性ヲ有ス十仙迷ノ長キ細美ナル毛ヲ存ス骨格細美ナル獨乙「カンムウオル」羊或ハ獨逸「ラムボウイレツ」羊ハ多少佛蘭西種ノ血液ヲ混ズ

英吉利羊

長毛羊、短毛羊及「ベルグ」羊ニ分チ更ニ「ライセスター」低地羊及「マルシユ」羊及「ダウン」及「ヘーヘン」羊ニ區別ス

長毛羊

「ライセスター」(New = Leicesters, Dishleys) 羊ハ「ノールドオステングランド」及「スコットランド」ニ於テ千七百六十年ヨリ蕃殖セラル早熟種ニシテ非常ナル量ニ於テ肉及脂肪ヲ有スルモ生産力強カラズ甚ダ飼料ヲ撰擇セザルベカラズ無角ニシテ顔面正直ニシテ白色ヲ呈シ耳ハ水平ニ出ヅ脚ハ高ク白色ノ毛ヲ被ムル母羊ノ軀量六〇—七〇「キロ」瓦ニシテ五〇「キロ」瓦ノ肉量ヲ有ス剪毛量六「キロ」瓦或ハ以上トス滑澤ナル毛ハ長サ二〇—二六仙迷ニシテ白色細美ナリ

「コッツウオルド」羊 (Cotswolds) ハ軀軀尙ホ大ニシテ肥臚性ヲ有スルモ毛ハ短シトス

「リンコルス」ノ如ク「ライセスター」ノ血縁ヲ有ス

「リンコルス」羊 (Lincolns) ハ額骨穹隆シ耳ハ後方ニ向フ毛ハ往々長サ三〇仙迷ニ達シ美麗ナル白色ヲ呈ス剪毛量三—五—六「キロ」瓦トス早熟性及肥臚性ハ「ライセスター」及「コッツウオルド」ニ劣ル

其他長毛羊ニ屬スルモノ次ノ如シ

「フンヂスブルゲル」ハ「マウシヤンプ」メリノ「ライセスター」ノ交叉蕃殖物ナリ「オストプロイセン」ニ於ケル「シルマンチル」ハ「フランク」ハ「コッツウオルド」「ライセスター」ノ交叉蕃殖物「メーレン」ニ於ケル「ケルトシヤ」ネル「フライシユ」羊ハ「メリノ」土産種「コッツウオルド」ノ交叉蕃殖物ナリトス

短毛羊

「オキシフォルドダウン」羊ハ頭耳脚ハ裸出シ褐色ヲ呈ス光澤アル厚キ毛ハ僅ニ捲縮ス剪毛量三—四「キロ」瓦トス軀軀ハ方形ヲ成シ殊ニ背ハ廣クシテ平坦ナリ闊羊ハ四〇「キロ」瓦ノ屠肉量ヲ有ス天候ニ對シ特ニ抵抗力ヲ有ス

「ソースダウン」羊 (Southdowns) ハ有名ナル早熟種ニシテ肉用トシテ利用スルモ生産

羊

力多大ナラズ軀軀方形ヲ呈シ背及胸ハ廣ク脂肪及肉ヲ藏シ胸廓ハ比較的小ナリト  
 ス顔面ハ裸出シ暗色(黑色ニ非ラズ)ニシテ他ハ灰色或ハ褐色トス無角ニシテ毛ハ陷  
 凹セル額ヲ越エ眼部迄成長ス脚低ク細美ニシテ裸出シ帶黑色ヲ呈ス毛ハ八—十仙  
 迷ノ長ニシテ時トシテ捲縮ス毛ハ甚ダ賞用セラル剪毛量母羊ニ在テハ一、六—二、キ  
 ロ「瓦トス」ソリスダウン「ト」メリノ「ト」ノ交叉産物ヲ、インベリアル、ソリスダウン「ト」稱  
 ス「クロアシア」羊ハ頭部深黑色ニシテ尖リ英國種羊中肥脇容易ナルモノトス「ソリス  
 ダウン」ノ如ク早熟種ナルモ屠肉量ハ尠シトス且「ソリスダウン」ヨリ多ク交叉蕃殖用  
 ニ供セラル

其他「ソリスダウン」ノ血液ヲ混ゼザル短毛羊ハ黒面「ハンアシア、ダウン」  
 オルクス「リランド」  
 「ゾメルセツ」或ハ「ドルゼイト、ホルン」等トス

山嶽種羊

「スコッチ」種ハ顔面白色ニシテ毛ハ中等ノ長ヲ有ス「ブラック、ファストモウンタイン」  
 ハ長キ毛ヲ有シ顔面及脚ハ黑色ニシテ他部白色ナリ

其他英國ノ「ヘルドウ」  
 「ツクス」  
 「ロンクス」  
 「エキスモリス」  
 「ウエルシモウンタイン」等

アリ

羊毛術

羊毛ノ性狀ヲ知ランニハ羊毛ノ解剖的構造ヲ知ラザルベカラス

毛ハ可撓性ノ弾力性角糸ニシテ身軀ノ全外面ヲ被ヒ遊離突出セル部ヲ毛幹ト云ヒ  
 皮膚内ニ存スル部ヲ毛根ト云フ其下端ハ球狀ニ膨大(毛球ト云フ)ニ血管ヲ含セル毛  
 樣乳嘴ニ接續シ毛囊ニ依リテ圍擁セラル毛囊ハ皮膚ノ變形ニシテ真皮及上皮ヨリ  
 ナル其上皮ヨリ成ル部ヲ毛根鞘ト云ヒ真皮ヨリ成ル部ヲ結締織性毛囊ト云フ  
 毛ハ三層ノ上皮細胞ヨリ成ル一、毛上皮 (Hair cuticula)、二、皮質 (Keratin substance)、三、髓質

(Merksubstanz)、ニシテ甲ハ毛ノ表面乙ハ毛ノ主ナル部丙ハ毛ノ主ナル部丙ハ毛ノ中  
 軸ヲナス

毛上皮ハ屋瓦ノ如ク相隣層セル鱗片即チ角化セル無角ノ上皮細胞(平滑細胞)ヨリ成  
 ル恰モ毛ノ周圍ニ於テ漏斗狀ニ存ス故ニ鏡檢スレバ毛ノ周圍ハ鋸齒狀ヲ呈ス皮質  
 ハ幹部ニ於テハ角化シラーノ線狀核狭キ紡錘形ヲ有スル長キ上皮細胞ヨリ成リ此  
 細胞互ニ密着ス(硫酸ト共ニ煮沸スレバ崩壞ス)毛根ニ於テハ毛球ニ進ムニ從ヒ益細

胞ハ軟カク且ツ圓ク核ハ益圓形トナル髓質ハ骰子狀顆粒性上皮細胞ヨリ成リ此細胞相接シテ二列ヲオシ微弱ナル核ヲ有ス有色毛ハ皮質ノ細胞内或ハ細胞間ニ色素顆粒ヲ有スルニ由ル毳毛 (Woll Haare) ノ毛囊ハ上皮性毛根鞘ヨリ成リ或ハ真皮モ其構造ニ參與ス故ニ毛囊ヲ次ノ層ニ區別ス外層ハ血管神經ニ富メル縱纖維層粗鬆結締織束ニシテ次ノ層ハ輪纖維層其次ニハ彈力性被膜ニ類スル透明膜即チ硝子膜アリ以上ハ真皮ヨリ出デタル者硝子膜ノ内方ニ外毛根鞘アリ之レハ上皮種子層ノ延長部ニシテ複層磚狀上皮ヨリナリ其内層ニ顆粒層及角層ノ延長セル者アリ脂腺

圖 二十 八 第  
毛 及 膚 皮

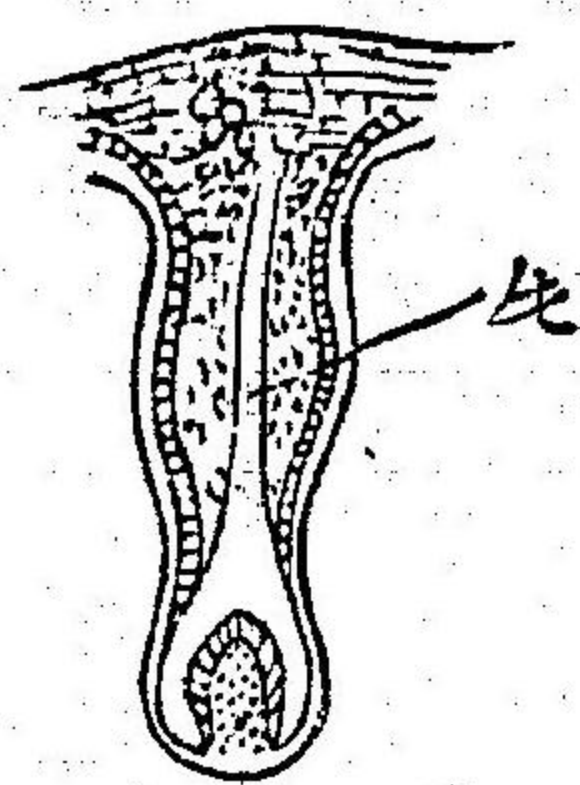
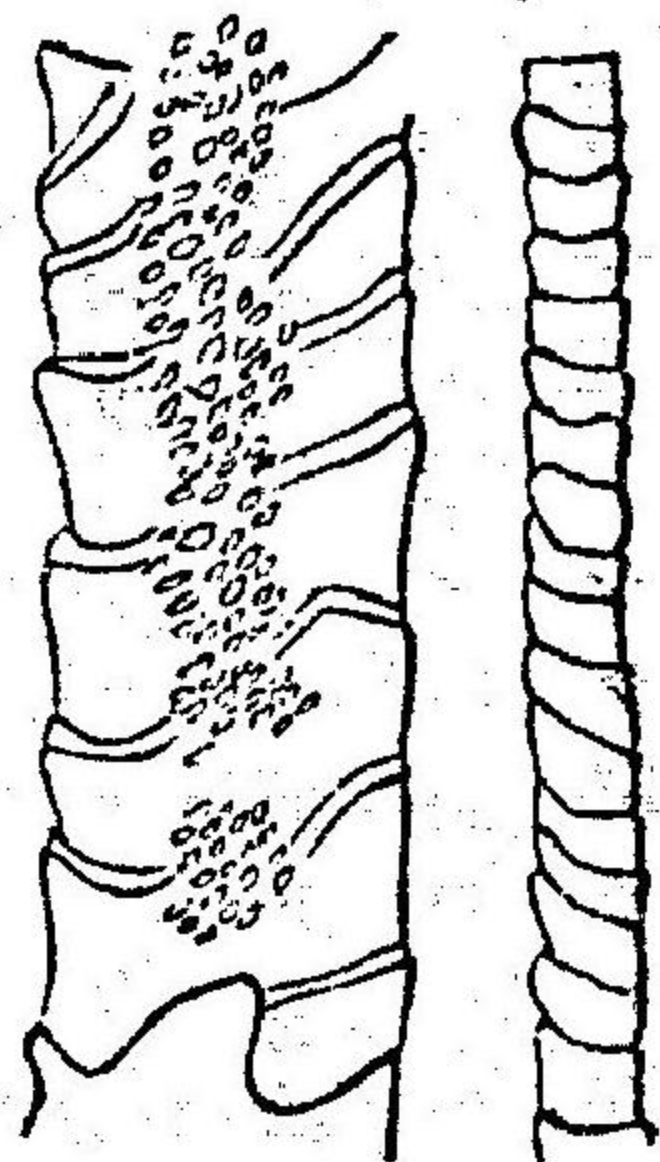


圖 三十 八 第  
部 外 ノ 毛



ノ開口部ニ達ス其直下ニハ内毛根鞘アリ内毛根鞘ハ皮脂腺ノ排泄管口ヲ開クト同

時ニ汗腺ノ排泄液ト共ニ脂汗ヲ生成ス

髓ヲ有セル毛ハ短キ刺毛 (Stichel Haare) トシテ顔面耳及脚ヲ被フ剛毛或ハ上毛 (Crinien) (Ober Haare) ハ一年ニ英國長毛種ニ在テハ三十仙迷成長ス

髓ヲ有セザル毛ハ上毛ノ下部ニ於テ發見セラルモノニシテ下毛或ハ毳毛ト云フ「ソトスダウン」ニ在テハ一年ニ二十二仙迷ノ長ニ達ス「ライセスタ」ハ剛毛髓ヲ有セズ細長ナル毳毛ヲナス

第八十四圖



毳毛ノ性状 髓ヲ缺如セル毳毛

ハ彼是ニ於テ捲縮ス一本ノ毛ヲ觀

察スルニ正規ノ屈曲ヲナス

第八十五圖



毳毛ノ容積 毳毛ノ横斷面ヲ或

ハ顯微鏡ニ依リ或ハ器械的 (Ehio-

第八十六圖



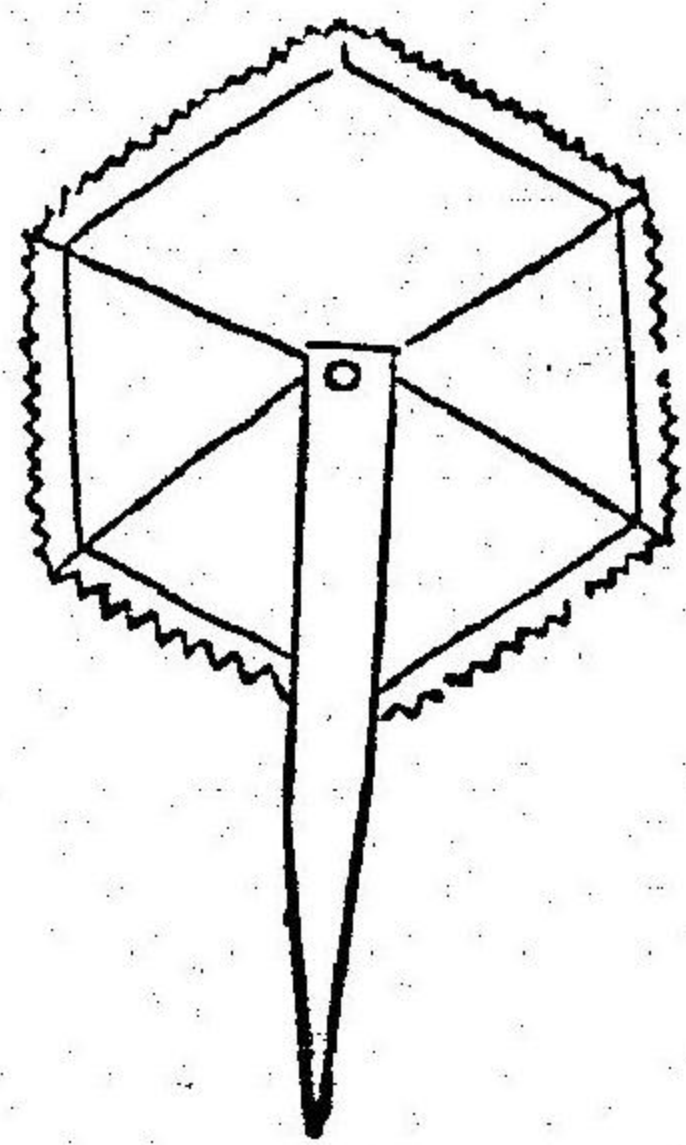
meter) 測量ニ依リ廓大スルニ太サ

「ミクラー」ヲ有ス

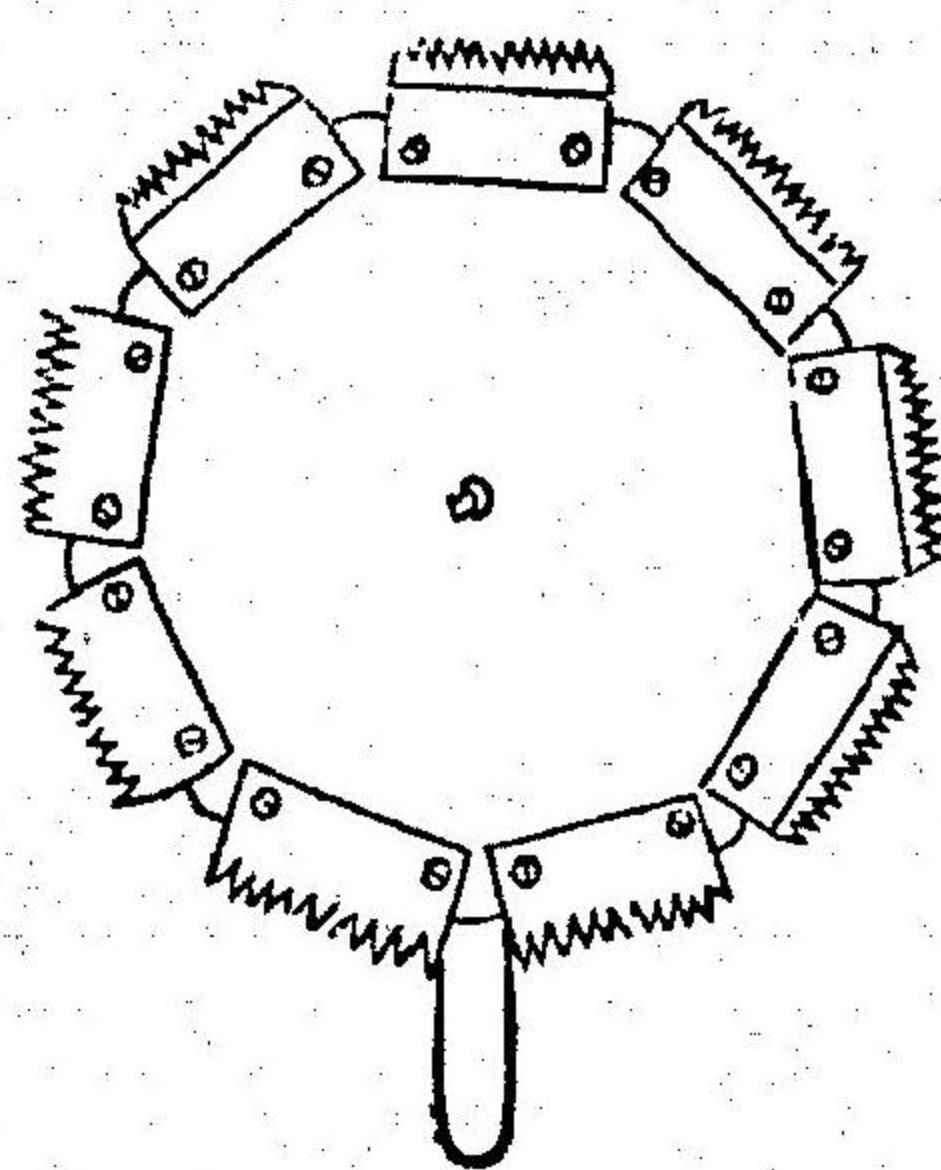
羊

プロック氏旋轉刀及ハルトマン氏ノ羊毛刀圖ノ如シ

圖七十八第  
刀轉旋氏「クプロブ」



圖八十八第  
刀毛羊ノ氏「シマトルハ」



露毛ノ高サト長サハ相等シカラス如何  
トナレバ長サニ於テハ捲縮セルヲ以テ  
ナリ又全身一様ニ高或ハ長サヲ有スル  
モノニ非ラズ最モ短キハ腹毛顔面及脚  
ハ例外トスナリ毛ノ高ハメリノ一羊ニ  
在テハ五―六ナルモ概シテ四―五、中度  
ノ高三―四、低キモノ二、五―三或ハ一、五  
―二、五仙迷トス色ハ純白色ヲ最良トス  
ルモ灰色、褐色、黑色ナルモノアリ肛門周  
圍及腹部ニ於テハ尿ノ汚染ノ爲メニ黄  
色ヲ呈スルコトアリ

光澤ハ「マウシヤンプ」、「クリンコロン」及「ライセスタ」ノ如キニ在テハ絹絲様光澤ヲ有  
スルモ「メリノ」羊ハ光澤中等トス

脂肪ハ皮脂腺及汗腺ノ排泄物ニシテ量及性状ニ由リ羊毛ニ至大ノ關係ヲ與フ透明  
適量ニシテ油及水中ニ於テハ容易ニ溶解スルヲ要ス之ニ反シ過度ニ少ク(乾燥毛)或  
ハ過量ノ脂肪ハ(肥ヘタル羊毛)嫌厭ス暗色、瀝青様、膠様或ハ蠟様樹脂様ノ脂肪ハ溶解  
困難ニシテ毛ハ硬直トナル、放牧羊ハ舍飼羊ヨリ概シテ脂肪少量ナリトス、温キ飼料  
ヲ多量ニ給スルハ脂肪ノ量多シトス脂肪ノ量ハ種族及飼養法ニ由ルモ平均二十  
乃至八十%トス

毛脂ハ「ステアリン」、「パルミチン」、「オレイン」、「コンステアリン」、「イソコンステアリ  
ン」燐酸及「クロールアルカリ」トス脂肪ハ鹼化加里ト共ニ而シテ大量ニ在テハ  
不鹼化脂肪トシテ來ル (Pechsaure Wollen) ハ石鹼ヲ有ス灰分トシテハ多量  
ノ加里二、八―四、七%及燐酸〇、〇六―〇、一五%其他那篤倫、石灰、マグネシア、硫酸  
、硫酸等トス

毛ノ密度ハ「メンツェル」氏ノ (Wollichteitkeitsmesser) ヲ應用ス

毛ノ鑑定ヲナスニハ性状及營養ノ如何、種族及部位ニ由リ異ルガ故ニ一定ノ標準ヲ  
示シ難シト雖モ今ヤ分娩期ニ近ヅタル羊毛鑑定法ナル小冊子ノ愈々誕生スレバ、

第八十九圖



「メンツェル」氏計密器

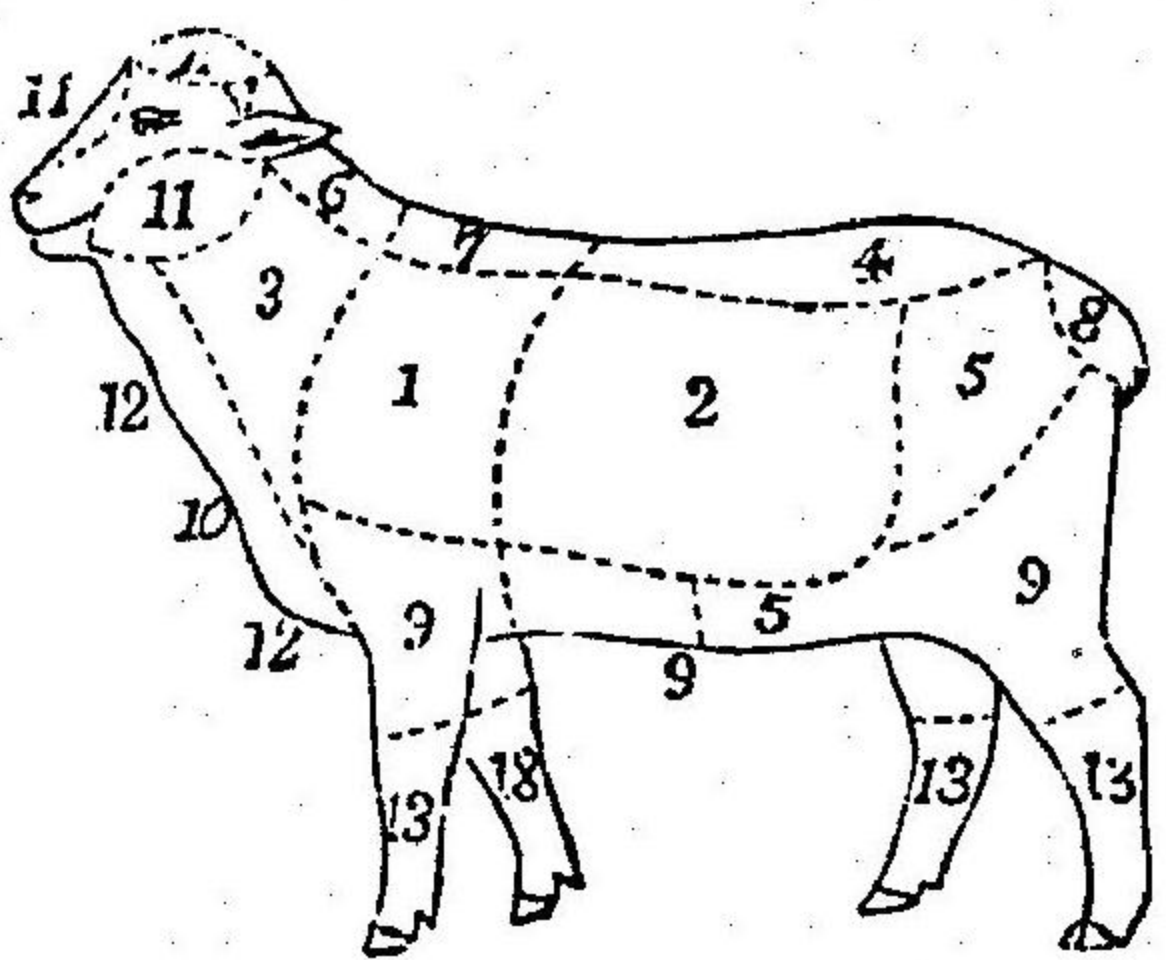
ヲ閱覽セラントシ依テ茲ニハ軀ノ構造價值ノミヲ示サン  
軀ノ構造價值 = 20

- 1. 頭強力ニシテ短ク廣クシテ多毛ナル耳) = 3
  - 2. 頸多筋ニシテ短) = 1
  - 3. 鬚甲(廣圓) = 2
  - 4. 胸(廣クシテ深) = 2
  - 5. (肋骨ノ穹隆) = 1
  - 6. 背 = 2
  - 7. 十字(長廣) = 2
  - 8. 前肢 = 1
  - 9. 後肢 = 1
  - 10. 大小及重量 甚ダ大ニシテ四 + kg 以上 = 5 大ニシテ三十七—四 + kg = 4  
三十五—三十七 kg = 3 32—35 kg = 2 30—32 kg = 1
- 總計 = 20

三 蕃 殖

毛川肉用何レニテモ自己ノ希望セル用途ニ依リ種族ヲ撰擇ス

第十九圖  
位品ノ毛



羅紗ニ向テハ「メリノ」梳ニ向テハ「カンムウ  
オルメリノ」佛蘭西種獨逸種ノ「ランポイル  
ト」羊「短毛英國羊」ソースダウン「粗剪絨(一面ニ  
長毛アル羅紗)用ニハ「ライセスター」コッツウ  
オールド「リンコルン」靴襪用ニハ「ウンガリ」種  
「マルシユ羊及其他ノ英國種ノ交叉産物トス、  
肉用ニハ英國種羊或ハ其交叉産物特ニ尾毛  
「ライセスター」ト「メリノ」及「ソースダウン」ハ

ン「シャール」シユロフ「シャール」等ト大ナル土産種ノ交叉産物トス、肥臍用ニハ「ツアッケ  
ル」羊及垂耳羊トス

交尾 蕃殖用動物ハ系譜簿ヲ具ヘ産見ノ血統ヲ明確ナラシムルト同時ニ交尾ノ  
日時及出産ノ日時ヲ記入スベシ

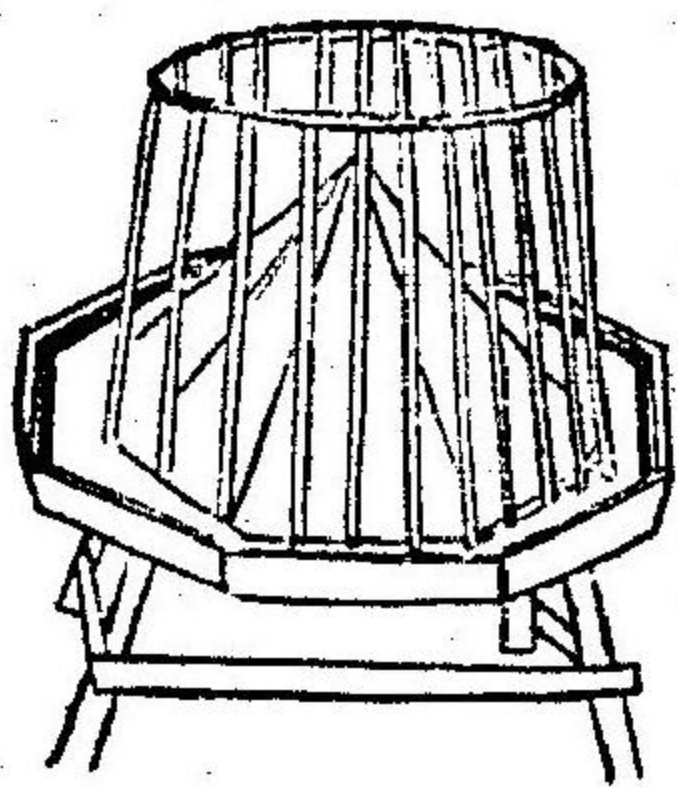
多ク飼育スル者ハ角ニ番號ノ印ヲ烙シ角ナキモノニハ耳殻ニ墨跡器ヲ以テ番  
羊

號ヲ入レアルコホルニ溶シタル煙硝ヲ塗抹スベシ  
交接期及出産期ノ日時ヲ確定スルニハ仔羊及毛ノ發育ニ影響スル季節ノ作用及經  
濟上ノ關係ヲ顧慮セザルベカラズ概シテ次ノ如ク四期ニ分ツ

- 一、十二月—一月 出産セシメントスルニハ七月—八月ニ交接セシム
  - 二、三月—四月 出産セシメントスルニハ十月—十一月ニ交接セシム
  - 三、六月—七月 出産セシメントスルニハ一月—二月ニ交接セシム
  - 四、九月—十月ニ 出産セシメントスルニハ四月—五月ニ交接セシム
- 冬期ノ仔羊舍ハ攝氏十二、五—十五度トナスベシ  
春期ノ仔羊ハ牧場ニ放テ新生ノ生草ヲ利用スルヲ得且ツ秋季ノ游牝ハ甚ダ盛ナル  
ガ爲メ産兒數モ多シ然レモ春期ハ往々天候ノ感作ニ由リ疾病ヲ發スルヲアリ  
夏期ノ仔羊ハ有益ナルモノニシテ母羊ノ剪截後 出産スルモノニシテ且ツ仔羊ヲ放  
牧スルヲ得發育迅速ニシテ疾病少シトス  
秋期ノ仔羊ハ稀レニ行ハル  
概シテ夏季或ハ冬期 出産セシムル様 交尾セシム

牝ハ長キ 交接期五—六週ナルモ平均四—五週ニシテ一日ニ二—三頭最大限四  
頭ノ牝ニ配ス而シテ牧場 交尾ニ在テハ二十五—三十頭階級 交尾ニ在テハ四十  
—六十頭階級 交尾トハ毛色 躰形等ニ由リテ三、四群ニ分チ此群中ニ牡羊ヲ入ル  
、法發情セル牝一頭毎ニ交尾セシメ交尾後ハ牝ヲ離ス片ハ七十一—八十頭トス  
妊孕 母羊ハ管理ニ注意シ且ツ胎兒ノ發育完全ヲ期スルガ爲メニ善良ナル飼料  
ヲ多量ニ給ス濕潤ナル牧場 敗微セル乾芻 氷結セル根菜 偶然多量ノ飼料等ハ避ケザ  
ル可ラズ神經ノ興奮或ハ驚愕セシムル又宜シカラズ群聚ノ壓迫ヲ豫防スル爲メニ  
一群ヲ五十—六十頭ニ區劃シ圓形 芻架ニテ飼料ヲ給ス、

圖一十九第  
架芻形圓

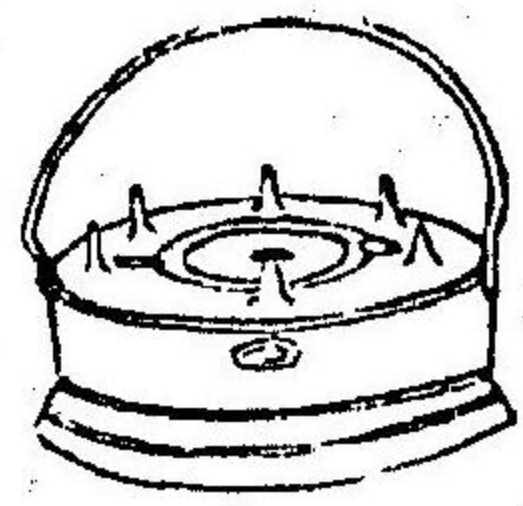


○、八—一平方メートルノ器ニシテ百頭ニ六—七  
個トス、又全群ヲ三區トナス即チ(一)仔ヲ産ムヲ  
止メタル羊、(二)妊羊、(三)産後一、二時間ノ羊、ト各區劃  
セザルベカラズ

ハ自ラ切斷ス、母羊殊ニ初産ノ母羊ニ在テハ仔羊ヲ舐メザルヲアリ然ル片ハ食鹽ヲ

微温湯ニ溶シ仔羊ノ躰ニ撒布スベシ仔羊及母羊ハ欄ニ入レ隔離ス乳房不潔ナルハ清潔ニナシ且哺乳ヲ防グザル様適宜毛ヲ剪去ス初乳ハ必要ナルモノニシテ仔羊若シ哺乳セザルハ乳頭ヲ口内ニ入レ乳タルヲ知ラシム不幸ニシテ母羊ヲ失フカ或ハ二仔ヲ産スルハ躰格強壯ナルノ他母羊或ハ山羊ヲ乳母トナシ一兒ヲ母羊ニ接セシム特ニ貴重ナル仔羊ハ哺乳器ヲ使用ス

圖二十九第  
器乳哺



百頭ノメリノ羊ハ平均九十頭受胎シ十頭ハ不妊トス最初ニ於テハ平均七十八—八十二頭ノ仔羊ヲ産シ十二乃至八頭ハ流産スルヲ常トス英國肉用種ハ屢三十%不妊ナルコアリ

泌乳母羊ハ成ル可ク清潔ニナシ而シテ適當ノ營養ヲ維持セシムレバ乳質變更セズ然ラザレバ仔羊ハ容易ニ疾病ヲ發ス仔羊ハ母羊ト同ク數字ヲ記シタル札ヲ頸ニ結着スレバ識別容易ナリトス而シテ一乃至三日ノ後母羊ト共ニ欄ヨリ出シ十四日—二十八日後區劃ス春期仔羊及夏期ノ仔羊ハ母羊ト共ニ四—五日後牧場ニ出ス冬期

ノ仔羊ニ在テハ十四—三週ニシテ飼料ヲ食スルヲ實驗スレバ四週後ニシテ區劃ス其後一日ニ三回二回一回母羊ニ接シ哺乳セシム同時ニ柔軟ナル乾芻及穀實(〇〇五キロ)瓦ノ燕麥ヲ與フ三ヶ月半—四ヶ月後ニシテ仔羊ハ「メルクベルデン」ニ在テハ既ニ三ヶ月後ニシテ全ク離乳セシム牡羊ハ四—八週ニシテ爽快靜穩ナル日去勢ヲ施ス早く去勢セラレタルモノハ佳味ナル肉及纖細ナル毛ヲ生ズ又長大ナル尾ハ不必要ナルガ故斷尾ヲナスベシ

腺脫疽ニ對シテハ「アラワツ」注射器ヲ以テ尾ノ皮下細胞織ニ豫防注射ヲナス羊痘ニ對シテハ接種針ヲ以テ發疹部ノ淋巴液ヲ耳尾或ハ內股部ノ皮膚ニ接種ス

第九十三圖  
針種接



ス斷乳後一年半ハ大ニ注意スレバ速ニ躰重ヲ増加スルモ注意ヲ怠レバ容

易ニ斃死ス厩舍飼料ハ大量ノ軟且甘味アル乾草及燕麥ヲ給シ終ニハ馬鈴薯、燕青、夏稿ヲ附加ス斷乳後一ヶ月ニシテ躰發育狀態ニ由リ〇二五—〇四キロ瓦ノ軟キ乾芻及燕麥或ハ燕麥及豌豆ノ混合飼料ヲ與フ二ヶ月後ハ二倍量ノ乾芻及〇一—〇二キロ瓦ノ燕麥ヲ〇七五—一キロ瓦ノ根菜及稿ト共ニ同時ニ食鹽ヲ給シ且骨形成ニ對



シ骨粉百「キロ」瓦ノ生牒量ニ一日九—十二「グラム」ノ割ヲ與フ放牧ニ在テハ仔羊ハ善  
良ニ發育スルモ唯暑熱及濕潤ヲ豫防ス

成長期ノ羊ニ要スル飼料標準次ノ如シ

一、ハ毛用種 二、ハ肥胎種ニシテ牒量千「キロ」瓦ニ對スル日量トス

年 月	牒量 kg		乾 質 物		可 消 化		養 質		總 養 質		養 養 比 例					
	1	2	1	2	1	2	無 養 質	養 質	粗 性 纖 維	%						
四ヶ月—六ヶ月	28	30	25	26	3.4	4.4	0.7	0.9	15.4	15.5	20.5	22.1	18.4	20.9	5.0	4.0
六ヶ月—八ヶ月	34	38	25	26	2.8	3.5	0.6	0.7	13.8	15.0	18.0	21.2	15.8	17.8	5.4	4.8
八ヶ月—十一ヶ月	38	46	23	24	2.1	3.0	0.5	0.5	11.5	14.3	14.8	19.5	12.8	16.3	6.0	5.2
十一ヶ月—十五ヶ月	41	55	22	23	1.8	2.2	0.4	0.5	11.2	12.6	14.0	16.0	12.0	13.8	7.0	6.3
十五ヶ月—二十ヶ月	45	70	22	22	1.5	2.0	0.3	0.4	10.8	12.0	13.0	15.0	11.0	12.8	7.7	6.5

生牒量三〇—五〇「キロ」瓦ニシテ四—十二ヶ月ノ羊ニハ百頭ニ付一日ノ「キロ」瓦  
量次ノ如シ

四〇—六〇ノ生草、二〇—七五ノ乾草、一〇—二〇ノ乾首箱、一〇—三〇ノ稿、一〇  
—二〇ノ穀ヲ去リタル稈、一〇ノ燕麥糠、五〇—一〇〇ノ馬鈴薯、七五—一〇〇ノ  
飼料粉、五—一〇ノ落花生餅、五—一五ノ亞麻仁餅、五ノラブス餅、一〇ノ「バルムケ  
ルン」餅、一〇〇—一八〇—三〇〇ノ酸性「シュニ」ヲ要ス

#### 四、飼 養

牧場飼料ハ天然ノ飼養法ニシテ經濟的飼養法トスルモ牧草ハ短クシテ厚ク繁茂シ  
牧地ハ乾燥及濕潤適度ナルヲ要ス乾燥シタル砂地ハ羊毛ニ損害ヲ來ス泥沼沮洳ノ  
牧場ハ又疾病ヲ誘發ス羊ニ最適ナル草ハ Poa (イネコソナキ屬) Festuca (ウシノケダ  
サ屬) Aia (マカスノキ屬) Medicag-Arten, Phleum pratense, (「キキム」ハ「カ」リ) 即チ「チモ  
シ」, Trifolium repens (「Achillea millefolium」) 等トス

「チー」モス, (Dipsacus fullonum) 或ハ Stipa pennata L. 及ビ Stipa capillata L. 及ビ Galium  
rotundifolium L. 及ビ Echinosperrum japona Lehmann, 及ビ E. deflexum, Lehmann, 及ビ xant-

羊

him Spinosum L. 等ハ羊毛梳ト稱シ剛硬ナル苞アルガ故毛織物ノ地ヲ擦リ織毛ヲ起サシムルモノトス

牧場ニハ飲水場ヲ設クベシ放牧ハ平均七ヶ月ニシテ一ヘクタールニ甚ダ善良ナル牧場ニ在テハ二十乃至二十八頭中等ノ牧場ニ在テハ十乃至十四頭下等ノ牧場ニ在テハ一頭半乃至五頭ノ羊ヲ飼養スルヲ得放牧ハ氣候風土ニ由ルト雖モ溫和ナル地方ニ在テハ既ニ三月或ハ四月不勝ノ地方ニ在テハ五月ヨリ十一月ノ末旬トス故ニ溫和ナル地方ニ於テハ放牧持續ハ八―九ヶ月不勝ノ地方ニ於テハ六―七ヶ月トス

一區羊群ハ百五十頭以上五百頭以内トス母羊ハ平均二百五十乃至三百頭トス  
厩舎飼料 夏期厩舎飼料ハ專ラ生草ヲ給與スルモノニシテ持續ハ四―四ヶ月半最大限五ヶ月トス其他多量ノ敷稿及生草貯藏ニ要スル保存室及換氣善良ナル厩舎ヲ要ス給食時ハ一日三回トナシ中等大ノ羊ニ四―五キロ瓦ノ生草ヲ稿ト共ニ混與ス夏期現在ノ牧場ニテ群羊ヲ放牧シ能ハザルハ牧場飼養ト舍飼トヲ交番スルコトアリ芻架ハ運送芻架ヲ利用スルヲ利益ナリトス又刈科牧場ハ羊ニハ有益ナルモ

ノトス

冬期飼料ハ主トシテ乾芻、稿球、根穀實、ブランデー糟及油餅ヲ給ス少量ノ乾芻ハ仔羊妊羊泌乳羊ニハ適スルモノトス稿ハ冬季飼料トシテハ牛ヨリ善良ニ利用ス

飲料ハ一―二回給ス而シテ水槽ハ被蓋ヲナシ圓形孔ヲ穿テ該孔ヨリ吸飲セシメ羊毛ヲ濕潤セザル様注意ス食鹽ハ必要ナルモノニシテ肥臘羊二―四グラム、妊羊三―六グラムヲ與フ

冬期飼料ノ持續ハ牧場或ハ夏期厩舎飼料ノ持續ニ由ルモ溫和ナル地方ニ於テハ四―四ヶ月半最大限六ヶ月不勝ノ地方ニ於テハ七―八ヶ月トス

毛羊ノ飼料 乾芻或ハ乾芻ト穀トノ混合食ヲ與フ窒素質ニ乏シキ飼料稿及燕苔ハ之ニ適セズ肥臘飼料ハ正規ノ飼料ヨリ多クノ毛ヲ生産セズ寒冷ナル季節ニ在テハ少量ニシテ多クノ毛ヲ生ズ

「セツテガスト」氏ノ飼料標準次ノ如シ(一日ノ「キロ」瓦量)  
輕メリノ「羊」エレクトラルチブス羊ニシテ生牀量三十乃至四十「キロ」瓦

乾 質 物	可 消 化 質				總營養質	營養比例
	蛋 白	脂 肪	抱 水 炭 素			
母 羊	1.0	0.065	0.010	0.410	0.485	1:6.8
牡 羊	1.25	0.090	0.015	0.565	0.670	1:6.7
閏 羊	0.9	0.050	0.010	0.400	0.460	1:8.5

重「メリノ」羊「チグレッツ」羊及「ランボイルト」羊

母羊ハ生牀量四十五—六十「キロ」瓦

母 羊	1.2	0.090	0.015	0.590	0.695	1:6.8
牡 羊	1.5	0.115	0.020	0.730	0.865	1:6.8
閏 羊	1.1	0.060	0.015	0.440	0.515	1:8.0

肉 羊 母羊ノ生牀量五十一—六十「キロ」瓦

母 羊	1.30	0.12	0.015	0.78	0.915	1:6.7
牡 羊	1.65	0.14	0.020	0.89	1.050	1:6.7

「ウオルフ」氏及「レーマン」氏ノ飼料標準次ノ如シ  
生牀量千「キロ」瓦ニ對スル一日ノ可消化營養質

乾 質 物	可 消 化			總 營 養 質		營養比例	
	營 養 質	脂 肪	無 營 養 質	粗 性 纖 維 = 1	維 維 = 2		
粗 毛 羊	20	1.2	0.2	10.5	12.2	9.0	9.1
細 美 毛 羊	23	1.5	0.3	12.0	14.2	10.5	8.5
母羊、仔羊及ビ 哺乳時	25	2.9	0.5	15.0	19.1	16.3	5.6

肥 臘 羊 ノ 飼 料 窒 素 質 ニ 富 メ ル 飼 料 ヲ 給 ス 窒 素 質 ニ 乏 シ キ 或 ハ 富 水 ノ 飼 料 ニ 在  
テ ハ 増 加 徐 ヲ ナ リ ト ス 肥 臘 羊 ニ 効 驗 ア ル 飼 料 ハ 乾 芻、穀 實、草 粉 及 其 製 造 殘 渣 ト ス、富  
羊

水ノ飼料「ブランド」種、燕菁及馬鈴薯等ハ適當ナルモノニアラズ  
 肥臘ノ持續及成蹟ハ消化容易ナル飼料ノ量及甘味飼料種族及羊ノ年齢ニ關ス英國  
 ノ肉用種ハ「メリノ」羊ヨリ善良ニ且ツ迅速ニ臘ユ一年半—三年ノ間羊ハ風味佳良  
 ナル肉ヲ生ズ而シテ少時ニシテ大量ノ脂肪ヲ沈着ス四年以上ノ間羊ハ肉ノ品質善  
 良ナラズ

肥臘羊ハ冷涼ナル羊舎ニ飼養ス且ツ肥臘前或ハ肥臘中ニ剪毛スヘシ剪毛後ハ剪毛  
 前ヨリ食欲亢進スルモノトス

標準飼料次ノ如シ

乾 質 物	可 溶 化			抱水炭素	總養 質	養 比 例
	蛋 白	脂 肪	無 氮 素 質			
輕毛羊	1.40	0.115	0.025	0.59	0.73	1:5.6
重毛羊	1.65	0.150	0.030	0.75	0.93	1:5.5

肉 羊	1.75	0.150—18	0.030	0.725	0.92	1:5.3 7/BE4.4
-----	------	----------	-------	-------	------	------------------

「レマン」氏ニ依レバ肥臘羊ハ牀量千「キロ」瓦ニ對シ毎日次ノ如ク可消化營養素  
 ヲ要ス

乾 質 物	可 溶 化			總 營 養 質		營 養 比 例	
	蛋 白 質	脂 肪	無 氮 素 質	粗 性 纖 維	維 維		
第 一 期	30	3.0	0.5	15.0	19.2	16.5	1:5.4
第 二 期	28	3.5	0.6	14.5	19.4	16.9	1:4.5

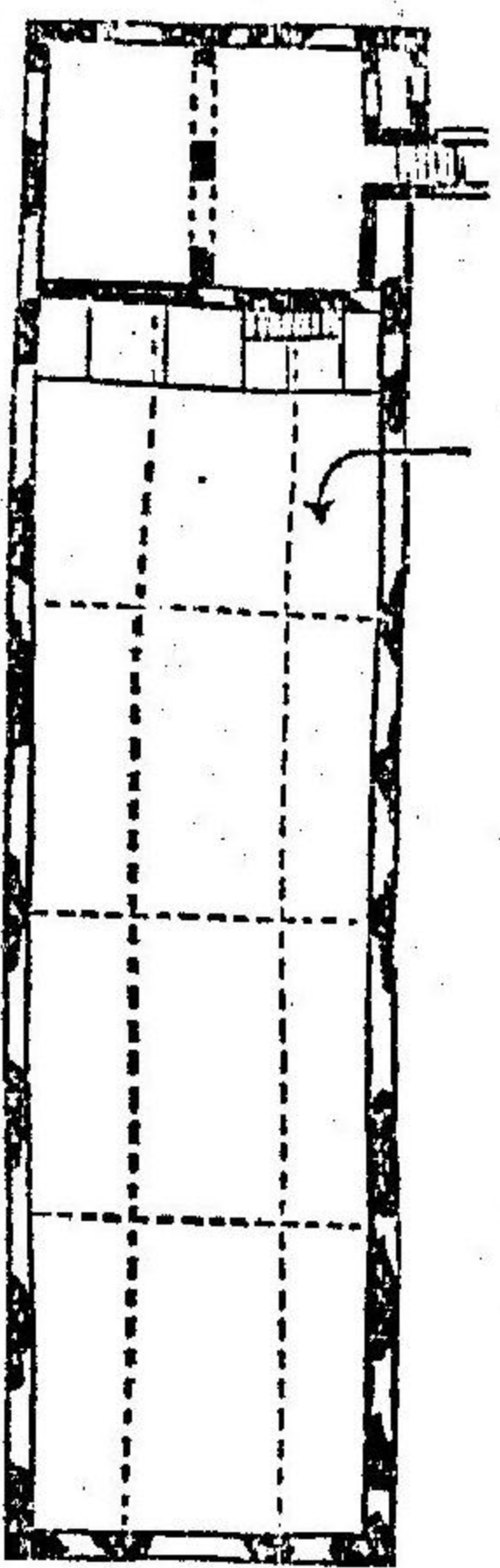
### 五、管 理

羊舎管理ハ牛ノ如ク困難ニアラス(如何トナレバ梳拭ハ省略セラレ)一人ノ牧夫ハ百  
 五十乃至三百頭ノ母羊或ハ二百五十乃至五百頭ノ閹羊ヲ管理シ能フ常ニ動物牀ヲ  
 清潔ニ保タシメ而シテ毎日一頭ニ飼料ノ性狀ニ關スルモ)〇一二—〇二—〇三「キロ

羊

瓦一年ニ〇、四―〇、七―一、〇、P.N.ノ敷稿ヲ要ス羊舎ヲ建築スルニハ南方ニ面シ乾燥シタル位置ヲ撰ブ舎内ハ換氣善良ナラシメ且含温ニ注意ス冬期ハ十度乃至十二五度ヲ下ラシムベカラズ面積ハ毛羊ニ在テハ〇、六―〇、七、肉羊ニ在テハ〇、七―一、〇、一歳ノ羊〇、五―〇、六、關羊〇、六―〇、七、母羊〇、七―〇、八、牡羊一、〇―一、五平方メートルニ區劃ス、羊舎ヲ建築スルニハ九、四迷以下ニナスベカラズ而シテ一羊舎内百五十頭以上ヲ飼養スベカラズ

圖四十九第 舍羊



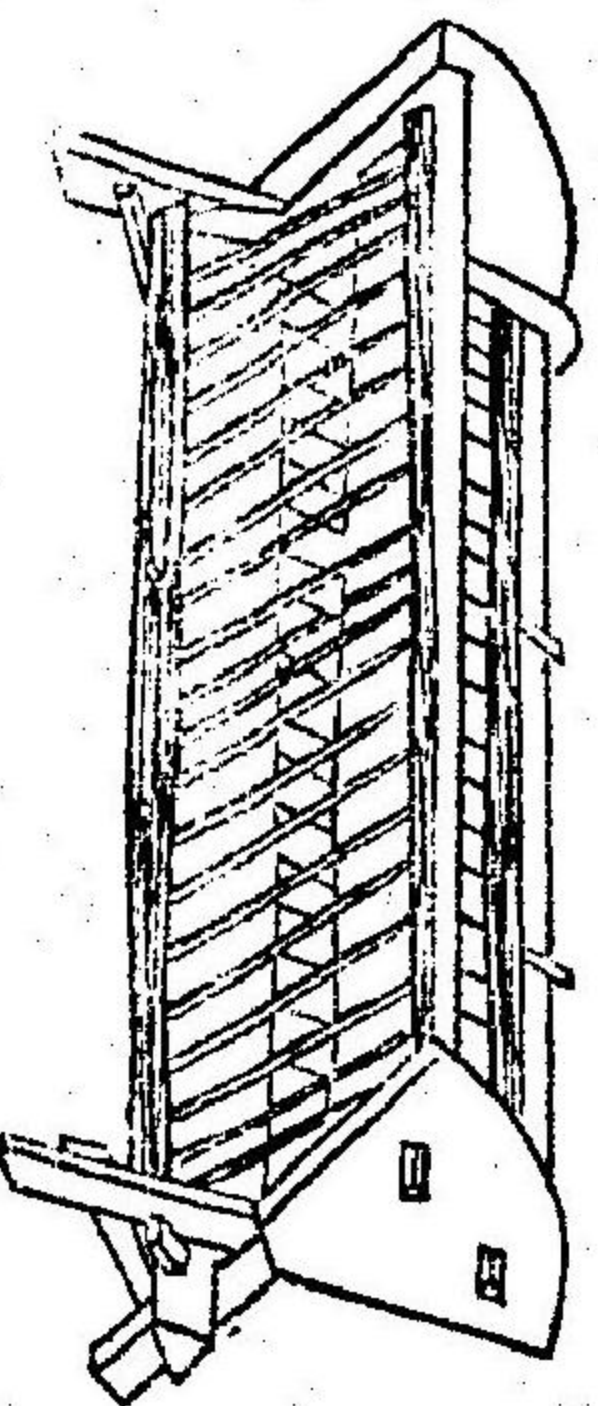
芻架ハ、プロツク氏「ドツベルクラフト」ヲ使用ス或ハ障壁ニ固着セル芻架ヲ用ユ妊羊ニ在テハ圓形芻

架ヲ使用ス

飼料置場ハ一頭ノ羊ニ十月ヨリ五月迄ニ100キロ瓦ノ乾芻即チ一、二四立方メートルヲ準備セザルベカラズ

疥癬ハ獨逸ニテハ擔保期十四日水腫症十四日トス、エステル國ニテハ疥癬及羊痘八

圖五十九第 架芻氏「クツロフ」



日、肝蛭症及惡性腐敗症六十日トス其他羊ノ傳染性疾病ハ蹄疫、脾脫疽、羊痘、下痢、「トラヘル」症、「トロヘル」症、氣腫疽等ナリ

羊ハ多數ノ内臟虫ヲ寄生セシム腦包虫 (Coenurus Cerebralis) ハ Taenia coenurus (腦

織虫)ノ仔羊ニシテ四鋸術ニヨリ除去ス

Taenia expansa (擴織虫)ハ仔羊ノ繼蟲疫ヲ誘發ス、Echinococcus polymorphus, ハ「ム

ノコツカス」症ヲ發ス Distomum hepaticum, 及 D. lanceolatum, ハ肝蛭症ヲ發ス Strongyloidea

ハ仔羊ノ肺蟲症ヲ發ス Strongylus fortis, ハ胃蟲疫ヲ發ス、其他 Hypodermidientum, (皮膚蛇)ハ皮膚面ニ産卵シ仔羊ハ皮下ニ至リ腫瘍ヲ生ズ Oestrus ovis, (羊

蛇)ノ仔羊ハ鼻腔及額竇ニ進入シ假性旋回症或ハ蛇性眩暈ヲ發ス、Melophagus ovis (羊ノ虱蠅)ハ剪毛後直ニ四「リートル」ノ粗製石炭酸液ヲ百「リートル」ノ水ニ溶解シ

藥浴ヲ施ス、Ixodes ricinus (犬ノ虱)ハ時トシテ害ヲナス「ア」リ Sarcopiles scabiei (頭

疥癬或ハ穿隧疥癬症)ハ甚ダ有害ナリ、Dermatocoptes communis, 吸吮疥癬)モ亦甚

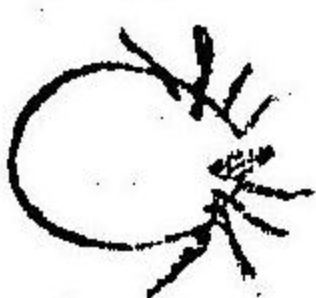
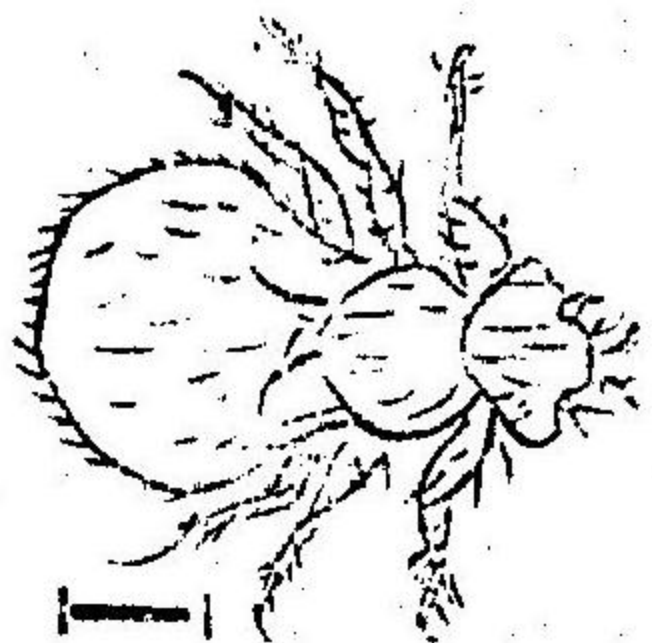
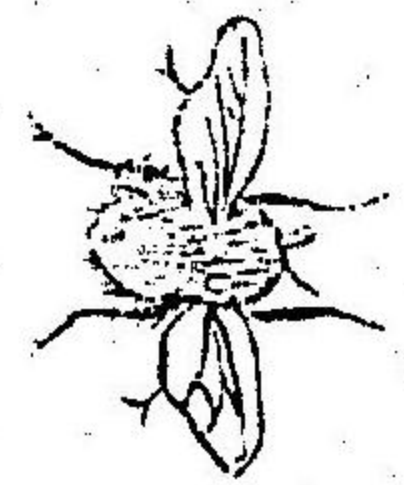
ダ有害ナリ、Dermatophagus ovis (羊ノ食皮疥癬或ハ食垢疥癬或ハ脚疥癬等アリ之  
ニ賞用スル藥劑ハ、ワルツ

此羊

蠅虱ノ羊

圖

氏液(生石灰四分、炭酸加里五分、臭性獸油六分、麥兒八分、牛尿二百分及水八百分或ハ炭酸加里ノ代リニ木灰六十分ヲ用ユ)クレオ



リン、リソール等トス

### 六、用途

毛用 剪毛前ハ沐浴セシメ所謂洗毛ヲナス洗毛及剪毛ハ羊毛ノ充分成長シタル時ニ施行スルモノニシテ一年ニ一回或ハ二回(一回剪毛、二回剪毛)トス二回ノ剪毛ハ一回ノ剪毛ヨリ稍收獲多シトス一回ノ剪毛ハ通常五月下旬乃至六月中旬ニ行フモノニシテ只短毛、メリノ、羊ニ施ス長毛、メリノ、羊ハ他ノ長毛羊ノ如ク二回剪毛ヲナス冬毛ノ剪毛ハ一年ノ毛量ノ約五分ノ三ヲ供給スルモノニシテ四月下旬乃至五月

初旬ニ施ス夏毛ノ剪毛ハ九月ニ於テ行フ

洗毛ハ剪毛前羊毛ヲ洗淨スルモノニシテ善良ニ行ハレタルハ羊毛白色滑澤ナリ脂汗ハ過多或ハ過少ナルベカラズ又一種ノ弾力ヲ有シ可撓性ヲ具フ毛ノ品質及脂肪量ハ動物ノ管理ニ由リ甚々種々ナリトス洗滌損耗ハ不良ナルモノニシテ三〇—四〇%善良ナルモノニシテ二〇—三〇%トスルモ洗水ノ性状及洗滌法ノ如何ニ由リ成績ニ影響ス洗毛ニ使用スル水ハ温度及礦物質特ニ石灰ニ注意ス過度ニ寒冷ナル水ハ動物ノ健康ヲ障害ス其外脂肪汗及汚物ハ温水ヨリ概シテ溶解僅少ナリトス故ニ温度ハ攝氏十七度ヲ下ラシメズ多量ノ食鹽及石灰ヲ含有セル所謂硬水ハ洗水トシテ不適當ナリ故ニ石灰殊ニ硫酸石灰及鐵或ハ食鹽ヲ多量ニ含有セル水(不溶解ノ鹼化石灰并ニ泥沼卑濕ノ水ハ使用スルヲ禁ズ適當ナル水ハ軟キ雨水澗水及河水(流通セル)トス洗滌ヲ天然洗滌及人工洗滌ニ區別ス

### 天然洗滌

游泳洗滌ハ河水、池或ハ廣サ二メートル長サ二五メートル深サ一—一五ノ貯水場ヲ使用スルモノニシテ一側ニ於テ一—二五メートルノ棧橋ヲ架ス之ヨリ羊ヲ個々水

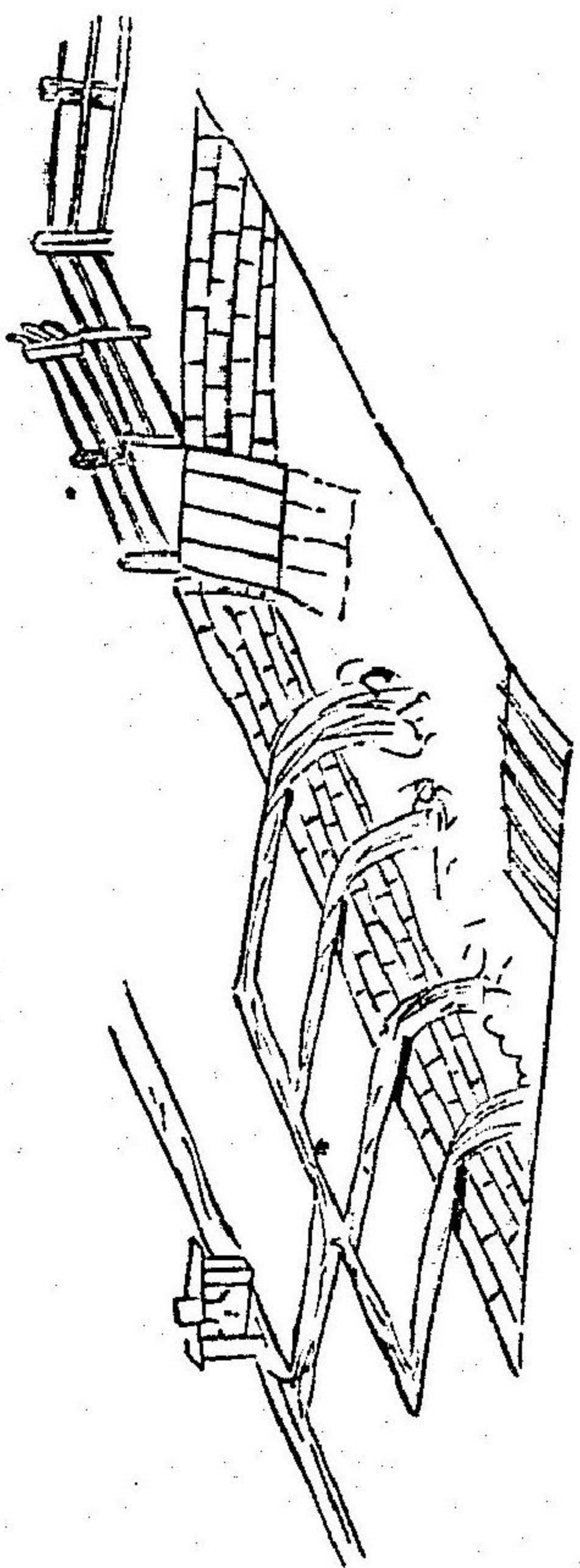
羊

中ニ飛込マシム飛込ミタル羊ハ二五メートル以上ノ距離ヲ泳ガシメズ陸上ニ在ル  
 労働者ハ撞木器ヲ以テ泳キツ、アル羊ノ頭ヲ持チ距離ノ終極ニ至レバ地上ニ引キ  
 上ケ手ヲ以テ羊ノ頭及頸ノ甚ダ汚穢セル部ヲ摩擦清潔ニナス房毛ノ性状ニヨリ或  
 ハ一―二回游泳セシム清洗ハ翌日羊ヲ三―六回間歇シテ(疲勞セザル程度ニ於テ)泳  
 キ渡ラシムルニアリ游泳洗滌ハ只脂汗鈔キ粗毛ノ羊ナレバ充分ナルモ脂汗多キ細  
 美毛ノ羊ニ在テハ游泳洗滌ト共ニ手指洗滌ヲ行ハザルベカラズ  
 Sturz wasche(恰モ瀑ノ如ク流下セル水ニテ)洗滌落下スル水ノ高サ〇六―二メートル  
 ル水量ニ由リ)ニシテ落下スル水ノ勢力ニヨリ房毛ヲ清潔ニナス通常三―四或ハ一  
 〇―一六仙迷ノ廣サニシテ八―一〇仙迷ノ深サヲ有セル流水溝ヲ設ケ而シテ水ハ  
 適度ニ貯水場ニ送出スル如ク裝置ス貯水場ノ水深ハ羊ノ躰高ヲ以テ程度トスルモ  
 ノニシテ羊ハ水路溝或ハ流下水ノ下ニ於テ貯水場ヲ渡ラシムルニアリ一或ハ二回  
 此操作ヲナセバ羊毛適度ニ濕潤ス斯ク濕潤セル後ハ適度ノ時間ヲ經テ固有ノ洗滌  
 ヲ流水ノ落下點ニ於テ行フ勿論羊ハ個々貯水場ニ飛込マシム  
 灌水洗滌ハ唧筒或ハ灌水器ヲ以テ洗滌スルモノトス

人工洗滌

用水ノ不適或ハ少量若クバ脂汗及汚物ノ甚ダシク堆積セル場合ニ施スモノニシテ

第九十九圖 洗滌場



攝氏三十七  
 度ノ温水ヲ  
 以テ洗滌ス  
 (如何トナレ  
 バ不溶解脂  
 汗ノ溶解點  
 攝氏三十五

度ナルガ故)ルモノニシテ固有ノ洗滌及清洗ハ桶ニテ行フ注入スル水ハ斷ヘズ同温  
 ヲ維持セシム温水ハ桶ニ由リ直接ニ鍋ヨリ水桶ニ流入セシム固有ノ洗滌ニ在テハ  
 二個ノ桶ヲ要ス(一個ノ桶ハ他ノ桶ヨリ温キ水ヲ入ル)即チ一ヲ濕潤桶一ヲ洗滌桶ト  
 稱ス各桶ニ四人ノ助手ヲ要スルモノニシテ五―六分間操作シ一時間ニ一〇―一二  
 頭ヲ洗滌シ得固有ノ洗滌後ハ水ヲ變更シ清洗ヲ行フ

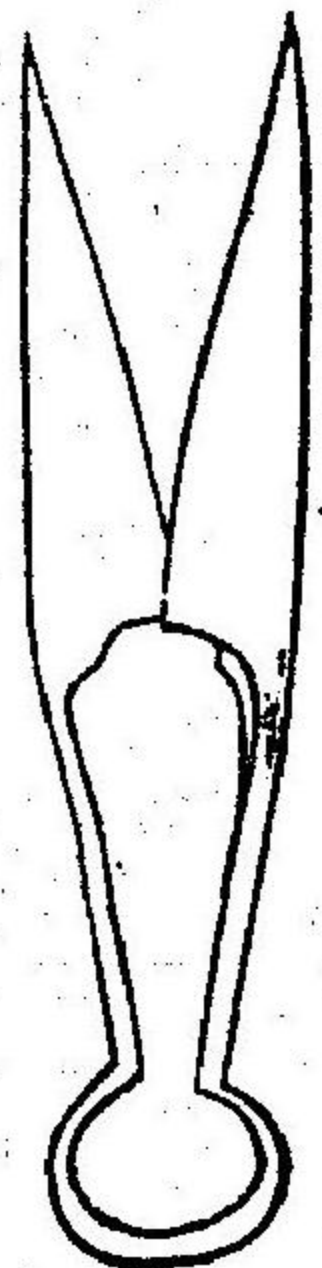
硬水ニ在テハ曹達「シアノン」百リートルノ洗水ニ〇五キロ瓦ノ「グアノン」其他綠石鹼「サボン」含有ノ植物素 Saponaria officinalis L. 及「Gypsophila Struthium L. Quilla japonaria mol. Hetsch's Seifenwurzel, hirsch's seifen krautwurzel 及 Gipskrautwurzel」ヲ含有セル水ヲ使用ス Seifen kraut ハ煮沸シ油液トシテ桶内ニ入ルベシ「ヘツセイ」氏液ハ千頭ノ羊ニ三〇—四〇「キロ」瓦 Quillaja apouaria ハ三〇「キロ」瓦ヲ要ス

洗毛後ハ徐々ニ乾燥セシム然ラザレバ特ニ羊毛ノ尖端粗硬トナリ且ツ脆クナル注意スベシ洗毛後ハ牧場ニ出スモ強日熱ハ避クベシ尤モ善良ナルハ糞ヲ充分撒布セル小舎羊舎ニアラズニ入ル、其ハ毛ハ清潔ニ維持スルヲ得剪毛後ハ多量ノ營養物ヲ給シ或ハ放牧ス

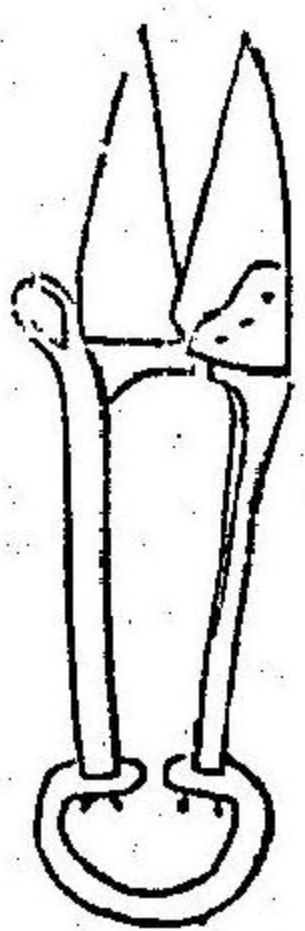
剪毛ハ洗毛後短キ毛ニシテ善良ナル天候ニアリテハ既ニ二日深キ毛ニシテ不良ナル天候ニアリテハ四日—五日ニシテ剪毛ヲナス毛ノ乾燥困難ナルハ頸并ニ前肢ト腹壁間ニシテ皮膚皺皺多量ナル動物トス濕寒ノ毛乾温トナレバ即チ剪毛ニ着手ス剪毛スルニハ特別ノ小舎或ハ場所ヲ準備ス又剪毛スルニハ特別ノ缺ヲ必要ス

五〇「キロ」瓦ノ肉用種羊ハ殆ド八分間ニシテ剪毛スルヲ得

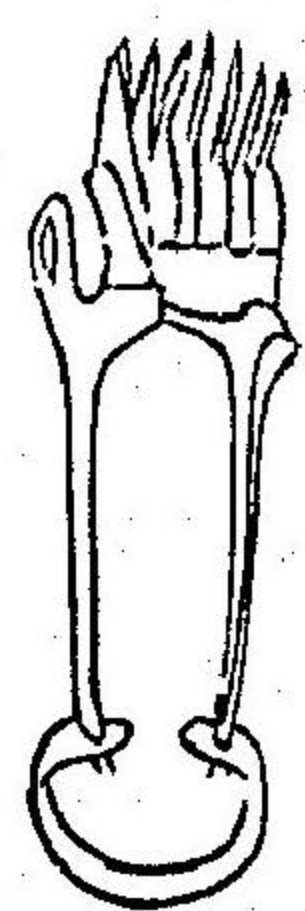
圖百第 剪



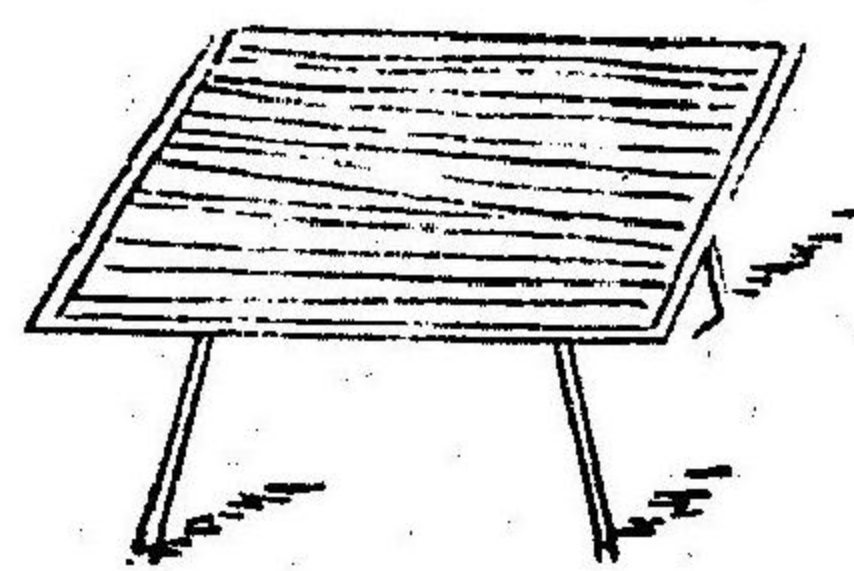
圖一百第 毛



圖二百第 缺



圖三百第 羊 臺 列 排



剪毛者ハ缺ヲ注意シテ保チ毛ハ連續一枚ノ如クスル様剪缺シ且皮膚ヲ缺截スベカラズ誤テ皮膚ヲ傷クレバ後生ノ毛ハ粗トナル創傷部ハ灰或ハ的列並油ヲ塗り反覆ニ石炭酸液或ハ〇五%ノ「リソール」液ニテ洗滌シ沃度防護古魯胃膜ヲ塗布ス妊孕ハ剪毛セズ剪毛ノ姿勢ハ習慣ニヨリ種々ニシテ剪毛者ハ坐シ或ハ立チ或ハ羊ヲ剪毛臺上ニ抵ス

羊ノ臀ヲ下ニシテ立タシメ背ヲ兩膝ニ挾ミ左手ニテ羊ノ口ヲ押へ右手ニテ缺ヲ持チ耳下、喉部、口部、頭部、胸部、前肢ノ間ヲ剪リ次キニ剪毛者ハ右膝ヲ下ニシ立膝ヲナシ羊ノ前肢ヲ左腕ト



左股トノ間ニテ押へ腹部ヨリ陰部股ノ内部尾ノ兩側ヲ剪リ次ニ剪毛者膝ヲ下ニシテ羊躰ヲ右轉シ其前肢ヲ剪毛者ノ左側ニ延バシ肩ハ剪毛者ノ膝上ニ支ヘ左腕ニテ首ヲ押へ左ノ肩ヨリ左肋股ヲ剪リ尾ニ至ル次ニ既ニ剪リタル左側ヲ下ニシ右足ニテ羊首ヲ押へ右肩ヨリ右腿尾ニ至リ右側ヲ剪リ終ル

剪截シタル毛ハ排列臺上ニ抵シ品質性狀ニヨリ區別ス區別シ終レバ四角形ニ疊ム剪毛量ハ種族飼養法年齢及性ニヨリ一定セズ粗毛種ハ概シテ剪毛量細美毛羊ヨリ多シトス二乃至三年ノ牡羊ハ老年牡羊ヨリ多シトス最初ハ同群中ノ母羊ヨリ平均五〇乃至六〇％多キ毛ヲ生ズルモ終ニハ然ラズ冬期ノ仔羊ハ二〇―二五％夏期ノ仔羊ハ一〇―一五％母羊ノ剪毛量ヲ劣ラシム剪毛量ト年齢トノ關係ハ母羊ニテハ三年間羊ニテハ四年ハ毛量整然トシテ變ゼズ  
肥臘 牧場肥臘ハ容易ニアラズ冬期ハ羊舎ニ於テ油餅穀實乾芻馬鈴薯シユレンベヲ給ス速カナルモノニテハ拾乃至十二週最長ナルモノニシテ三ヶ月ヲ要ス若キ肉用種ハ老年毛用種ヨリ速ニ肥臘ス肥臘ノ成績ハ屠殺量(頭脚内臟心臟及肺)ヲ除キタル量ニヨリ表ハル、モノニシテ躰量百キロ瓦ノ屠殺量次ノ如シ

肉

獸脂

毛ヲ有セル皮膚

脂肪不充分アル羊	四五―四八％	三五―四％	七％
半脂羊	四九―五一％	五―六％	六五％
脂肪羊	五二―五三％	六五―七五％	六％
脂肪甚ダ多量ナル羊	五四―五六％	八一―九％	六％
英國肉羊	五七―六五％	九五―一二％	六％

ベルリン屠場ノ成績ニヨレバ細美ナル肥臘仔羊及若キ肥臘閣羊ニアリテハ躰重四七・五キロ瓦ノ生躰量ニ對シ五〇―五二％輕仔羊及老年肥臘閣羊ハ四六―五〇％肥臘適度ノ閣羊及メルツ羊ハ四二―四四％ノ屠殺量ヲ得ルト云フ  
毎日一頭ノ肥臘スル量ハ百キロ瓦ノ飼料乾質物ニ對シ〇・〇八一〇、二―〇・四八キロ瓦トス

乳汁 乳汁ハ只粗毛ノ山岳種ニ於テ利用スルコトアルモ泌乳持續ハ辛フテ四ヶ月トス母羊ハ泌乳初期ニテハ毎日三回末期ニハ二回朝及夕ニ搾乳ス一母羊ニシテ一ケ年ノ乳量二五―六〇―二〇〇リートル即チ一日量〇・一六或ハ〇・一七キロ瓦

トス

羊乳ハ帶黃白色ニシテ一、〇三五—一、〇四一ノ比重ヲ有シ八三%ノ水、五三%ノ脂肪、四、六%ノカゼイン質、一、七%ノ卵白、四、六%ノ乳糖、〇、八%ノ灰分ヲ有ス乳ハ生乳ニテ販賣スルカ或ハ羊乳乾酪トシテ販賣ス百キロ瓦ノ羊乳ハ大約二十キロ瓦ノ軟乾酪ヲ生ズ

馬 (Pferd)

馬ハ家畜中最モ高尚ナルモノトス

一、馬ノ發育

牡性ノ馬ヲ牡馬 (hengst, Beschäler, Bechhengst, Deckhengst, vaterier, (獨) Stallion, (英) Aalon, (葡) Stallone, (荷) ) ト云ヒ羣丸ヲ割去セル馬ヲ驢馬 (Wallach, castrated horse, hongre, cavallo castrato) ト云ヒ牝性ノ馬ヲ牝馬 (Brute, mutterpferd, mare, Junent, cavalla) ト云フ三年ノ終リ迄ヲ若キ馬或ハ駒 (Fohlen, Füllen, Füllen, Produkt, foal, pouline, figliars) ト稱シ性ニ由リ牡駒、牝駒ト云フ又用途ニヨリ種馬、競馬、乘馬、獵馬、馱馬、馬車馬、農馬等ト稱ス馬ヲ各用途ニヨリ其用途ヲ教育シ習熟セシムルヲ調馬ト云フ最早用役ヲ終リタル馬ヲ廢

馬 (Bruckferde) ト云フ

齒ノ發生及形狀ニ依リ略ボ年齢ヲ推測スルヲ得齒數ハ牡馬四十枚切齒上下各六頰齒上下各側六枚犬齒四枚牝馬ハ犬齒ヲ有セザルガ故ニ三十六枚トス切齒ノ中央二枚ヲ鉗齒兩側ヲ中鉗齒其兩側ヲ隅齒ト稱ス乳齒ハ永久齒ヨリ小ニシテ顯著ナル頰ヲ有ス齒ノ磨軋面ニ於テ齒坎ヲ生ズ齒坎ノ深サ上顎切齒一二ミリメートル下顎切齒ニアリテハ六、ミリメートルトス而シテ切齒ハ一年ニ二ミリメートル磨滅スルガ故ニ三歳ニシテ發生シタル下顎鉗齒ハ後チ三年ヲ經テ齒坎消失ス故ニ下顎鉗齒ノ齒坎消失セル馬ハ六歳ナリ全理ニ依リ中鉗齒ノ齒坎消失スレバ七歳隅齒ノ齒坎消失スレバ八歳ナリ八歳後ハ上顎切齒ヲ見ル即チ上顎切齒ノ齒坎ハ下顎切齒ノ齒坎ヨリ二倍深キガ故ニシテ上顎ノ鉗齒ノ齒坎磨滅スレバ九歳中鉗齒十歳隅齒十一歳トス又上顎隅齒ニ九歳ニ於テ尖リヲ生ズ之ヲ燕尾ト稱シ十一歳ニシテ消失ス

齒坎ノ深サ下顎切齒ニアリテハ〇、七五仙迷上顎切齒ニアリテハ一、五仙迷ニシテ一年ノ磨滅〇、二五仙迷ナリト云フモノアリ記シテ以テ將來ノ確報ヲ俟ン

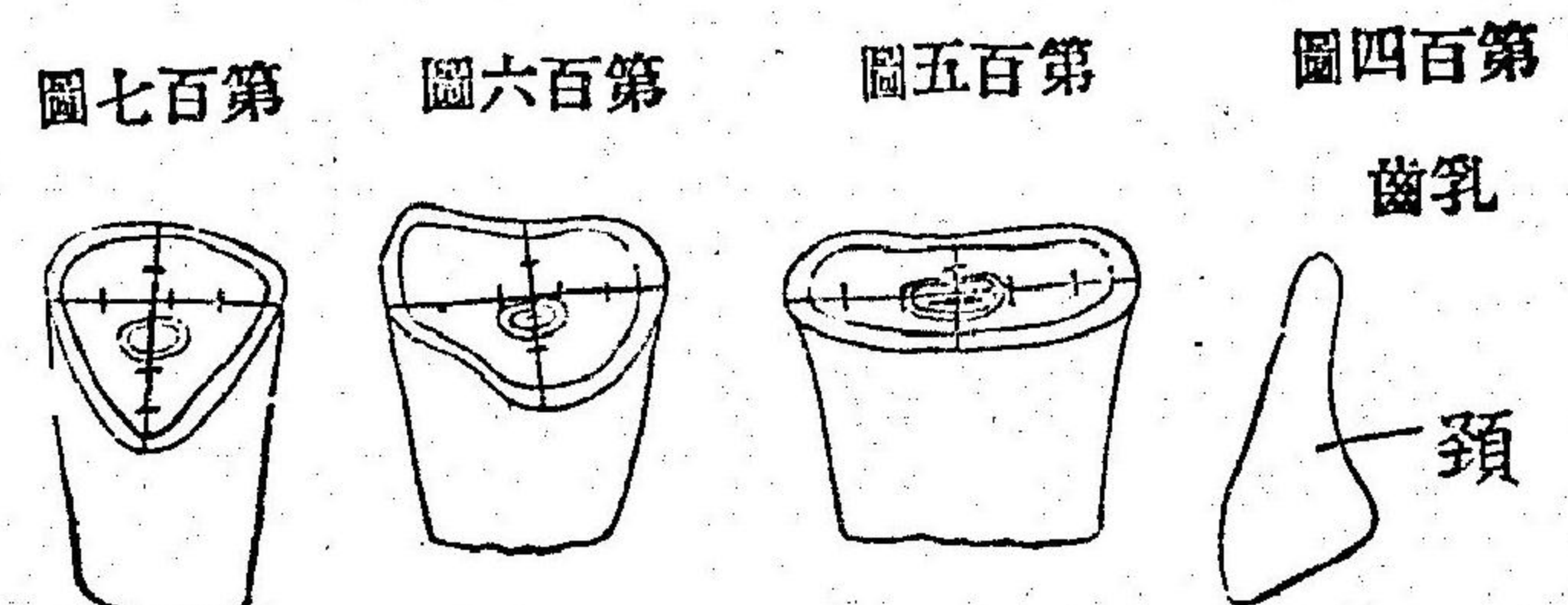
齒ノ發生及形狀左表ノ如シ

馬

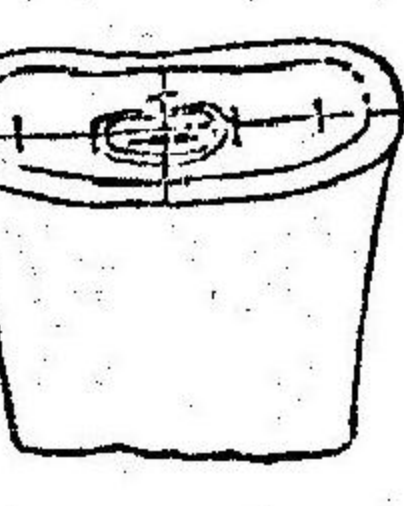
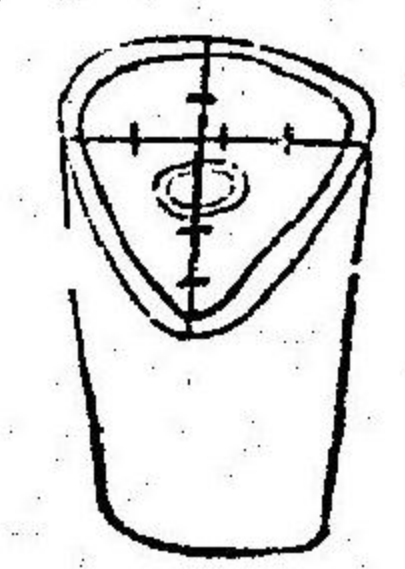
年 齡	切 齒		犬 齒	類 齒 (即 齒 臼 齒)						總 計	
	隅 齒	中 鉗 齒		P <sub>s</sub>	P <sub>2</sub>	P <sub>1</sub>	m <sub>1</sub>	m <sub>2</sub>	m <sub>3</sub>		
1. 乳 齒 生 期	J <sub>1</sub>	J <sub>2</sub>	J <sub>3</sub>	C	P <sub>s</sub>	P <sub>2</sub>	P <sub>1</sub>	m <sub>1</sub>	m <sub>2</sub>	m <sub>3</sub>	
生 時 週	4	—	—	—	4	4	4	—	—	—	16
四 週 一 六 週	4	4	—	4	4	4	4	—	—	—	20
六 週 一 換 九 週 期 年	4	4	4	4	4	4	4	(4)	—	—	28
2. 三 年 半 一 三 年 半 一 四 年	(4)	4	4	—	(4)	(4)	4	4	4	—	32
三 年 半 一 四 年	4	(4)	4	—	4	4	4	4	4	(4)	40
四 年	4	4	4	(4)	4	4	4	4	4	4	40
四 年 半 一 五 年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40
五 年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40

齒 星 發 現	縱 橢 圓 形	三 角 形	圓 形	橫 橢 圓 形	犬 齒
八	廿四年以上	廿八年迄	十七年迄	十六年迄	中 鉗 齒
九	廿五年以上	廿九年迄	十三年迄	十七年迄	隅 齒
十	廿六年以上	廿五年迄	十四年迄	十八年迄	犬 齒

年長スルニ從ヒ額及眼孟ニ灰色毛ヲ生シ且下唇弛緩ス  
 馬ハ齒ノ發生後五年ニテハ尙ホ發育充分ナリト云ヒ難シ充分發育スルハ七年ナリ  
 トス高貴ノ馬ニテハ屢八年ヲ要スルコトアリ春情ハ通常三年ノ春ニ於テ來ルモ決シ  
 テ四—五年迄ハ交尾セシムベカラズ妊娠持續ハ三百三十五日—三百四十日或ハ十  
 一ヶ月ニシテ最短三百二十二日最長四百十九日トス牝駒ハ牡駒ヨリ稍早ク出産ス  
 初産ノ牝馬(四—五才)ハ産仔期正規ノ日數ヨリ一日—二日早シトス馬ハ一産一見ヲ



圖四百第



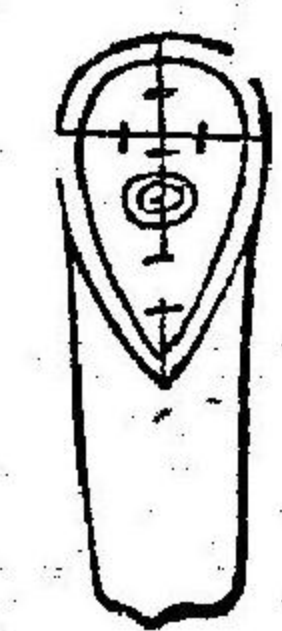
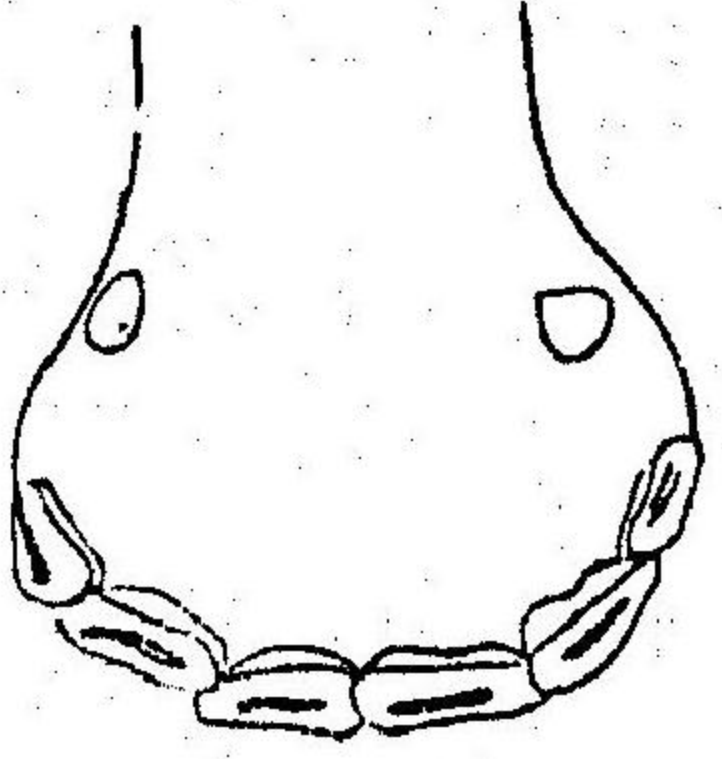
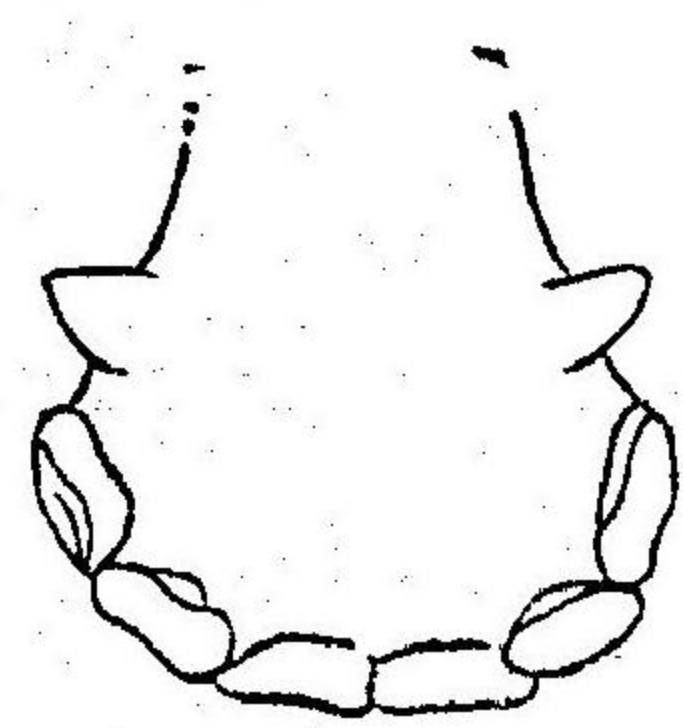
圖七百第

圖六百第

圖五百第

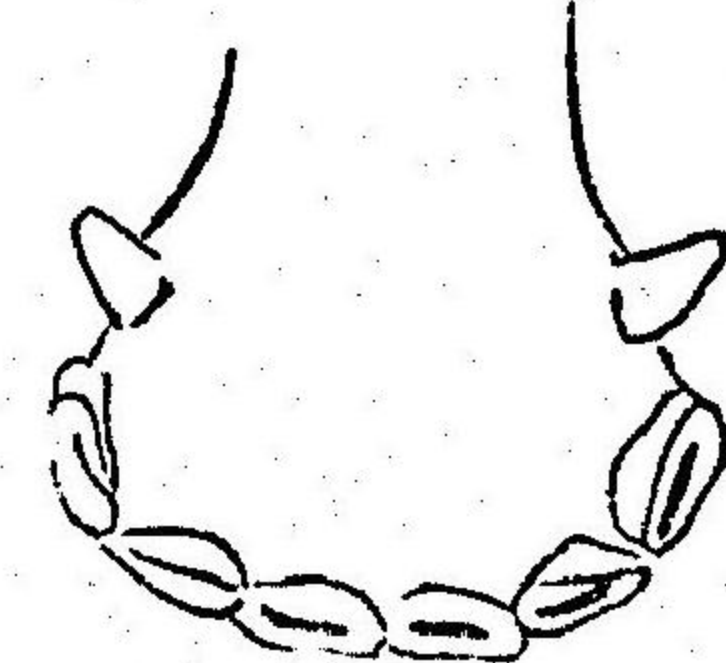
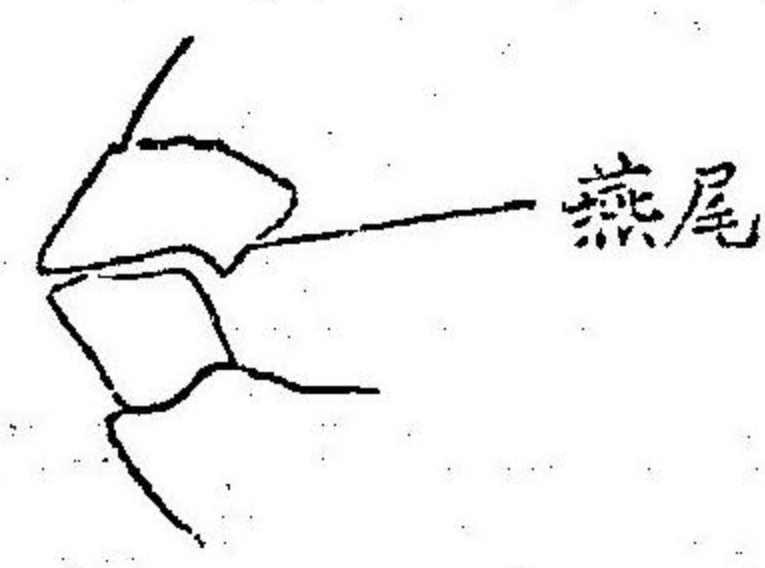
圖十百第

圖九百第



圖二十百第

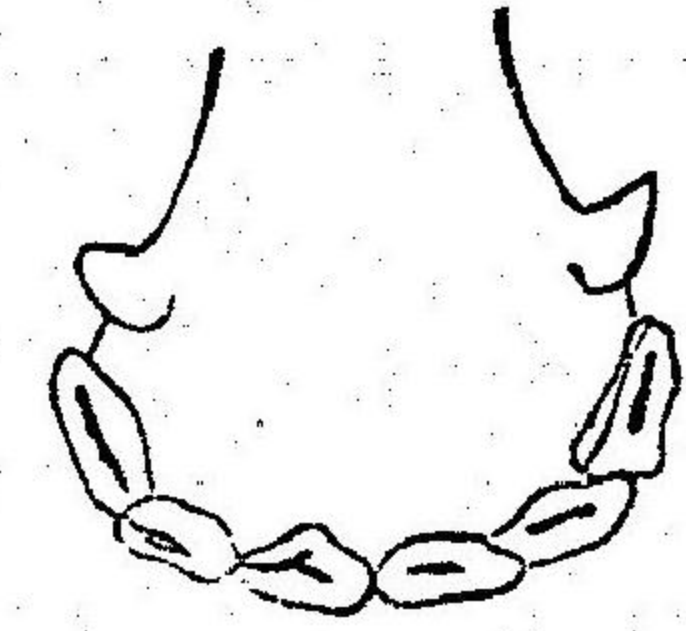
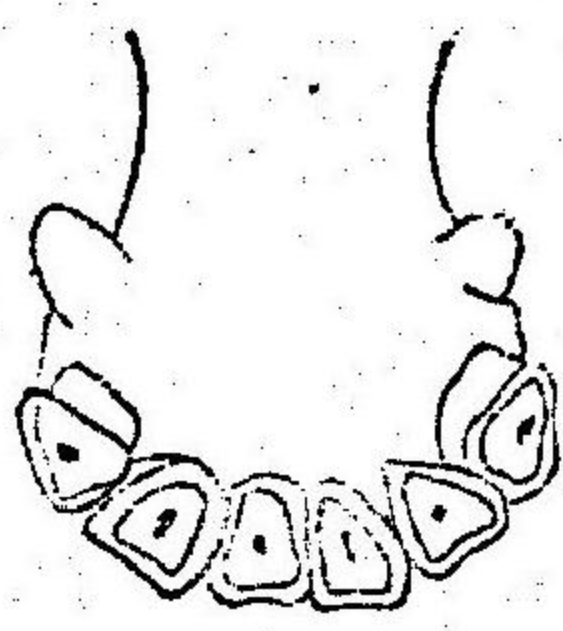
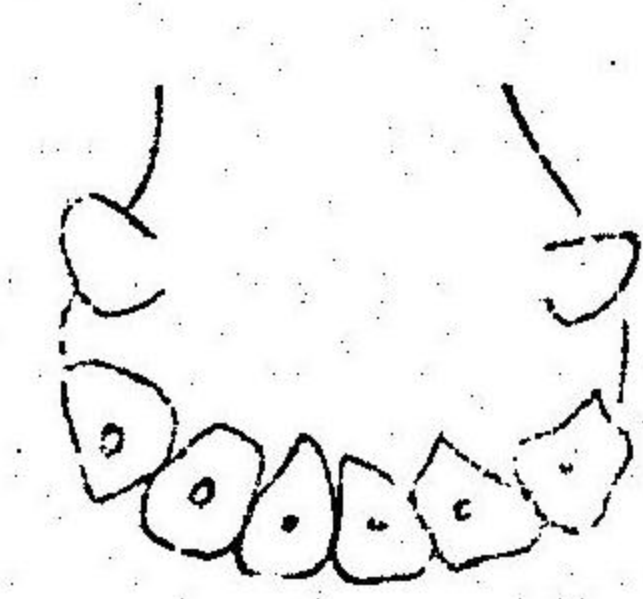
圖一十百第



圖五十百第

圖四十百第

圖三十百第



正規トス

産駒ノ躰量ハ平均五七、キロ瓦トス最初三ヶ月ニ八十七、キロ瓦ニ達ス  
 馬ノ生命ハ管理、飼養及用途ニ關ス東洋種ハ重西洋種ヨリ概シテ高齡ニ達ス十五年  
 以後ハ能力沈衰シ只輕役ニ服スルノミ馬ノ天然ノ年齡ハ三十乃至五十年トス  
 馬ニ適スル風土ハ乾燥(乾魘ニ非ズ)ニ牧草適度ニ成長スルヲ良トス濕潤殊ニ濕温ノ  
 氣候ハ適セズ蓋シ氣候ノ感作ハ牛ヨリ抵抗力ヲ有ス  
 馬ハ單胃ニシテ躰軀ニ比シ比較的小ナリ(内容十乃至十二リートル)膈管ハ躰長ノ八  
 乃至十倍トス胃ノ内容物ハ他ノ動物ノ如ク嘔吐ニヨリ口内ニ逆出スル能ハズ馬ニ  
 適當ナル飼料ハ穀實、乾芻ニシテ不適當ナルハ風氣ヲ釀シ易キ飼料トス  
 馬ノ躰高ハ地面ヨリ鬐甲間ノ距離ニシテ均稱善良ナル馬ハ頭長ノ二倍半ニシテ肩  
 胛關節ヨリ、坐骨關節ニ到ル長サニ等シ甚ダ小ナル馬ヲ「ポニー」(Ponies)ト稱シ「四一  
 一、五迷以下トス中等大ノ馬ハ一、六、大ナル馬ハ一、七、一、八迷ノ躰高トス躰量ハ輕種  
 ニアリテハ二百—三百五十、中等量ノ馬四百—五百、重種五百—七百、最重種七百、キロ  
 瓦以上トス

馬

馬ノ行進 常歩ニアリテハ一分間ニ九十迷速歩ニアリテハ二百十迷駢歩ニアリテハ三百迷ヲ行ク以上本邦馬ニ付キ記セルモノニシテ西洋馬ニアリテハ速歩三—五分間ニ一吉迷競走駢歩六七五秒ニ一吉迷ヲ行ク

蹄響ハ速歩二蹄音駢歩三蹄音競走駢歩二蹄音ヲ聽取ス

頭部ノ主ナル標徴 額ノ小白斑ヲ小星或ハ小花斑ト云ヒ大ナルモノヲ額星ト云フ星流レタルヲ流星ト云フ額ヨリ鼻ニ到ル白線ヲ肩間線ト云ヒ上唇ノ白斑ヲ白唇ト云フ

肢脚ノ主ナル標徴 蹄ヨリ前膝或ハ飛節マデ白キヲ半長靴ト云フ繫部ノ白キヲ白繫ト云フ

毛色 鹿毛ハ主毛濃或ハ淡ナル褐色ニシテ鬣尾及四肢ノ下部ハ必ず暗黒毛ヲ有シ背ノ中線ニ黒毛ノ線(鬣線)有スルコトアリ普通ナルモノハ紅鹿毛、白鹿毛、黒鹿毛等ナリ、栗毛ハ主毛濃或ハ淡ナル赤色若クハ褐赤色ニシテ鬣尾ハ同色ナルアリ或ハ灰白色若クハ白色ナルコトアリ普通ノモノハ紅栗毛、橡栗毛、尾花栗毛等ナリ、河原毛ハ主毛帶黃白色ニシテ鬣尾及四肢ノ下部ハ暗黒色ヲ呈シ

常ニ鬣線ヲ有ス、黒毛ハ主毛及鬣尾共ニ濃或ハ淡ナル黒色ニシテ光澤ヲ放ツモノト否ラザルモノアリ水青毛ハ主毛鬣毛ノ如キ暗淡ナル黒色ニシテ鬣尾及四肢ノ下部ハ黒色ヲ呈シ常ニ鬣線ヲ有ス、月毛ハ主毛帶赤白色ニシテ鬣尾及四肢ノ下部ハ主毛ト同色ナルカ或ハ一層鮮明ナリ、雜色毛ハ暗色ノ毛ニ淡色ノ毛ヲ混成スルモノニシテ刺毛、糟毛、茸毛及駁等ノ區別アリ

### 二、馬ノ種族

馬族ヲ大別シテ東洋種及西洋種ノ二トナス東洋種ニ屬スルモノハ亞拉比亞、ヘルシオン、シリオン及土耳其、北亞非利加馬等トス東洋種ヲ溫血種或ハ貴種ト云ヒ西洋種ヲ冷血種ト云フ現今西洋種ハ東洋種ノ血液ヲ混セザルモノナシ

亞拉比亞馬 貴相ヲ呈シ頭比較的小ニシテ顔面ハ正直或ハ僅ニ凹線ヲナス額ハ廣ク且方形ニシテ眼ハ濶大豊圓唇ハ平滑耳小ニシテ運動快活ナリ頸ハ長クシテ上向シ鬣甲ハ高ク長クシテ躡尺一、四八—一、六〇迷ナリ肩胛ハ長クシテ寧ロ峻立ス胸廓濶大腰ハ短ク背トノ結合佳良ナリ尾ハ細美ナル毛ヲ有シ尾礎高ク尻ハ長クシテ殆ド水平ヲナス管短クシテ關節廣大臆判明ナリ蹄ハ小ニシテ其實堅シ被毛ハ栗毛ニ

シテ鹿毛、蘆毛、青毛之ニ亞ク

波斯馬 軀軀亞拉比亞馬ニ比シテ強大ナリ頭ハ輕小ニシテ額亞拉比亞馬ヨリ狹ク頸細ク長ク尾礎稍低ク四肢概シテ長ク毛色鹿毛若クバ青毛ニシテ白色ナルハ稀ナリ

亞拉比亞馬ノ血縁ニシテ稍々貴相ヲ呈セル種類ハ亞細亞土耳其「エジプト」ニル「ランド」<sup>メビア</sup>「ドンゴラ」馬ニシテ體軀稍大(一六〇—一八〇)迷ニシテ重キ頭ハ大曲鼻ニシテ肩ハ峻立シ胸ハ廣ク尻ハ後方ニ傾斜ス脚ハ高シトス

「ベルベル」馬北亞非利加「モロツコ」<sup>ツニス</sup>「アルキール」馬ハ一六〇迷以下ニシテ貴相ヲ呈シ軀軀乾燥スルモ軀形亞拉比亞馬ノ如ク完全ナラス毛色ハ褐色ヲ多シトス

露西亞馬 主ナルモノハ韃靼馬及オルロツフ速歩馬ナリ韃靼馬ハ東部西伯利亞ニ産シ軀小ニシテ速力早ク且ツ持久力ニ富ム西部西伯利亞ニ産スルモノハ軀稍大ナリ「オルロツフ」速歩馬ハ軀尺一六〇—一七五迷ニシテ頭ハ稍重大ニシテ下端ニ於テ細尖シ頸ハ美麗ニシテ上向シ其上縁ハ輕ク彎隆シ鬃甲ハ低ク背長ク尻ハ傾斜ス管

稍長ク蹄廣ク鬃尾ノ毛長クシテ美麗ナリ「オルロツフ」小速歩馬ハ速歩競馬ニシテ輕車ニ駕シ速歩ヲ驅ラシムルハ速力非凡ニシテ克ク一秒時間十二迷ヲ走ルニ堪ユ「オルロツフ」大速歩馬ハ輕車馬ニシテ容姿稍美麗ナリ

亞米利加馬 重鞍馬ハ「ヴェルモン」<sup>ト</sup>及「コチスト」ガ駕馬ニシテ「フランデルン」血統ヨリ出タルモノナリ「ヴェルモン」ハ毛色多クハ黒鹿毛或ハ栗毛ニシテ頗ル強勁一七〇迷ノ軀尺ヲ有ス「コチスト」ガ「ハ米國産馬中最大ナルモノナリ米國産馬中最モ有名ナルモノハ米國速歩馬<sup>ト</sup>ナリ其祖先ハ「モルガン」及英純種ノ「メツセンヤ」<sup>Imported messenger</sup>ナリトス

匈牙利馬 軀軀小ニシテ中軀稍長ク尻ハ短ク尾礎高シ蹄ハ小ニシテ其質堅シ英國馬ヲ以テ改良シタルモノヲ「ユツケル」<sup>(Junker)</sup>馬ト稱シ軀輕キカ故輕捷迅速ナル車駕馬トナス

「ピンツガウエル」馬或ハ「ノリツス」馬 埃國「サルツブルグ」<sup>スタイエル</sup>マルク及「チロル」ニ産スルモノニシテ軀高一六五—一七三迷ニシテ頭ハ多肉眼ハ小ニシテ頸ハ短ク鬃甲低ク胴ハ廣ク前膝直下甚シク絞縊シ鬃節ハ不良ナリ蹄ハ廣シトス毛色ハ褐

色ニ大ナル白斑ヲ呈ス泰西重馬中白耳義馬ニ亞グモノトスピントツガウエル馬ノ躰  
軀小ナルモノヲ「チロール」ニテハ「ハスリンゲル、クレツベル」ト稱ス

獨逸馬 「オルデンブルグ」馬ハ毛色褐色ニシテ躰高一、七五—一、八五迷頭ハ直或ハ半  
兎頭ヲナシ頸ハ長ク廣ク胸ハ深ク背長ク尻豊圓ナリ駕車用ニ適ス

其他獨逸産馬ハ「ハンノイフェル」馬「メクレンブルグ」馬「エルザース、ロートリンゲン」馬  
「シユレスウキヒ、ホルスタイン」馬「トラケイ」馬等ナリ

佛蘭西馬 重種及輕種アリ「ノルマン」馬ニ英牡馬ヲ配シ得タル馬ヲ「アングロノルマ  
ン」馬ト稱ス多クハ褐色ニシテ躰高一、七〇—一、八〇迷ニシテ後肢ノ筋肉、良ク發育ス  
頭ハ稍重ク頸ハ短ク而シテ前肢ノ均稱不良ナリトス

「リムージン」或ハ「ビレニース」馬ハ「アラビア」馬及「ベルベル」馬ノ血縁ナリ  
「ゴルマア」及「ブレタグ」ニ於テハ一、四迷以下ノ矮馬ヲ産ス

白耳義馬 「アルデンネル」馬ハ躰高一、五迷ニシテ輕輓馬トス  
「フランデルン」種或ハ「ブラバント」種ハ躰高一、八二迷ニシテ重馬中ノ重馬ニシテ重輓  
馬ナリ「コンドロツ」ニテハ稍輕キ馬ヲ有ス

英吉利馬 英純血馬ハ躰高一、六一—一、六八—一、八〇迷ニシテ亞拉比亞馬ニ比スレバ  
高ク頭ハ稍長ク且ツ細ク口端ニ於テ尖銳シ頭礎ハ亞拉比亞馬ニ比シテ短キガ爲メ  
ニ頭稍伸暢セリ頸ハ細ク長ク胸圍飽マデ發育シ膝極メテ短ク克ク緊縮シ鬃甲高ク  
シテ長ク周圍ニ強筋ヲ蓄ヘ背直ニシテ腰短ク且ツ強ク肩胛骨長クシテ好ク傾斜ス  
脚ハ概シテ長ク前膝及飛節克ク發育シ管中等ノ長ヲ有シ尻ハ長ク發育善良ニシテ  
尾礎ハ亞拉比亞馬ノ如ク高カラズ毛ハ纖美ニシテ皮膚薄ク血管判明ニ現出ス毛色  
ハ褐色及黒褐色ヲ多シトス

英純血種ノ宗祖ハ次ノ三頭ヨリ生ズ

一「ビヤイレイス、ターク」牡馬 (Byerley's Turk) (土耳其種) 二「ダーレイイス、アラビア」牡  
馬 (Darley's Arabian) (亞拉比亞種) 三「ゴドルフキン」牡馬 (Godolphin) (「マルベリ」種) トス

英國乘馬ハ躰高一、四七迷ニシテ美麗ナル乗用馬ナリ

英國獵馬ハ躰高一、六七—一、七〇迷ナリ「ヨークシャー」花馬或ハ「イラン」花馬ニ純  
血種牡馬ヲ配シテ得タルモノナリ

「モトランド」矮馬ハ躰高〇、八五迷ニシテ毛色褐色ニシテ鬚線ヲ有シ鬚尾黑色ナリ

馬

「サツフォオルク馬ハ農用馬ニシテ躰高一、七三一—一、七八迷ナリ強健ニシテ持久ノ輓曳ニ適ス毛色ハ月毛多シトス

「クライデスデール馬ハ農用馬ニシテ躰高一八〇—一九四仙迷ナリ「サツフォオルク馬ヨリ偉大ナリトス

「ノルフォルク」速歩馬ハ躰高一六五仙迷ニシテ和蘭速歩馬及英純血種ノ配合ニヨリテ生ヲタルモノナリ

「クレイヴランド」鹿毛ハ輕車用馬ナリ

日本馬

日本馬ハ次ノ如ク大別ス

一、日本原種、二、蒙古日本種朝鮮馬ノ輸入ノ爲メニ漸次發達セシモノ、三、開港前輸入スル波斯馬ニ由來セルモノ、四、維新以來外國ヨリ輸入セル馬ノ雜種ナリトス

(二)日本原種ハ沖繩隱岐、五島對馬等ノ古來交通稀少ナル地ニ産セルモノニシテ躰甚ダ矮小(四尺以下)ニシテ軀幹短縮シ頭ハ肥大シ眼小ニシテ鬃鬣雜ナリ食物及管理ノ

甚疎漏ナルニ拘ハラズ比較的強力ヲ有シ且ツ持久力ニ富ム

(二)蒙古日本種ハ通常内國種ト稱スルモノニシテ其躰前者ニ比スレバ遙ニ偉大ニシテ躰高四尺五寸以上七寸ニ達ス其頭重大惡醜ニシテ頸厚ク廣ク水平ノ位置ヲナシ鬃甲高ク短クシテ背瘦尖シ尻斜向シテ十字部尖起シ腰概子長シ胸ハ狭ク肋骨扁平ニシテ肩短ク且ツ峻立シ肚腹甚膨大セリ其下脚ハ堅牢ナリ鬣尾ハ多毛ニシテ長ク全身ノ毛ハ夏期ト雖モ長クシテ光澤ナシ之ヲ大別シテ重馬及輕馬ノ二種トナシ論ゼン重馬ニ屬スルモノ次ノ如シ

(イ)南部種 青森、岩手ニ産スル馬ノ總稱ニシテ最大種トナシ其最大ナルモノハ五尺以上ニ達セルアリ躰軀長ク胸廣ク骨及關節甚強大ナリ概シテ性質溫良ニシテ持久力ヲ有ス其輕ヲ乘馬トシテ重キヲ輓馬トナス

(ロ)秋田種 各部ノ均稱前者ニ劣リ頭重大ニシテ躰軀甚長ク耳長大ニシテ運動澁重シ遙ニ南部種ニ劣レリ

輕馬ニ屬スルモノ次ノ如シ

(ハ)仙臺種 南部種ニ比スレバ躰輕クシテ且ツ小ナリト雖胸廓ノ深クシテ尻ノ斜向



シ尾礎ノ低キヲ以テ他ニ異ナレリトス今ヲ去ル約三百有餘年前仙臺候ハ波斯ヨリ  
數多ノ馬ヲ輸入シ之ヲ領内ニ頒布シタルヨリ仙臺土産ノ馬ノ外ニ其苗裔ニシテ頭  
輕小ニ眼活大ニシテ頸長ク骨細長ナル稍貴相ノ馬ヲ生スルニ至レリ然ルニ近來外  
國血胤ノ注入ニヨリ仙臺馬ノ特徴漸ク消失セリ

(二)最上種 元ト栗毛ノミヲ産セリト雖モ近來白色ノ別徵ヲ有スル鹿毛及青毛ヲ産  
スルニ至レリ形貌大ニ仙臺種ニ類セリト雖モ概シテ稟性活潑ナルヲ以テ仙臺種ニ  
勝レリトス

(ホ)三春種 最輕最美ノ種類ニシテ本邦舊來馬術家ノ賞讚シテ優種トナス所ナリ其  
性活潑ニシテ皮膚薄ク毛光澤アリ其頭ハ小ニ眼ハ大ニ頸ハ稍長ク胸及前肢堅牢ニ  
巧ミニ前肢ヲ舉揚スルノ素アリト雖モ體力薄弱概シテ重役ニ堪ユルモノ稀ナリ軀  
高ハ四尺六寸乃至八九寸ニ至ル

(三)開港前輸入セル波斯馬ニ由來セルモノ

(イ)鹿嶋種 薩摩候ノ輸入セル波斯馬ニヨリ改良セラレタルモノニシテ其軀貌一般  
ノ内國種ト大ニ其趣ヲ異ニシ軀輕捷ニシテ頭輕ク眼ハ活大ニシテ悍威ヲ表シ頸長

クシテ善良ノ方向ヲ呈シ背短ク尻水平ニシテ發育佳良ニ從テ尾礎高ク性頗ル活潑  
ニシテ之ニ二様ノ別アリ一ハ四肢輕長軀高四尺四寸ヨリ八寸ノ間ニシテ外貌秀麗  
一ハ軀高カラズ稍小形ナレモ諸部ノ均稱宜キヲ得タルモノトアリ

(ロ)土佐馬 軀極メテ矮小、胸廣ク深長ニシテ脚短ク頭小ニシテ鬣尾美毛ヲ有ス毛色  
駉及楓毛多シトス

(ハ)蝦夷馬 軀矮小、胸廓深廣、脚短骨太ク、頭頸均稱ヲ得持久力優レテ強シ

(四)維新以後輸入シタル外國種ニ由來セル改良雜種ハ到底茲ニ論ズル能ハザルヲ以  
テ略ス

役務ニ對スル馬ノ撰擇乘馬ハ軀輕捷ニシテ力量ニ優レ呼吸器ノ發育殊ニ佳良、頸長  
ク、鬣甲長高、胸深ク腹ハ捲縮適度ニシテ肩ハ傾斜シ長ク、尻股強ク、四肢好ク伸暢シ性  
質溫順ニシテ怯癖ナキヲ要ス蹄質堅牢ナルベシ

肢ノ關節角度ハ前肢ニアリテハ肩胛骨ト上膊骨トニ依リテナレル角度九十乃  
至百度、上膊骨ト前膊骨トニ依リテナル角度百三十五度、球節ノ角度百四十度ト  
ス後肢ニアリテハ股骨ト股骨トニ依リテナル角度九十一度、膝蓋關節百十

一百二十度飛節百五十度球節百四十五度トス

輓馬 重輓馬ハ躰格強大ニシテ一六一一八迷ノ躰高ヲ有シ胸廣ク肩多肉ニシテ腰尻廣ク股脚又多肉ニシテ蹄健全ニシテ關節廣大ナルヲ要ス又持久力ヲ有シ馬接佳良殊ニ馬車馬ナルベシ農馬ハ中等大一六一一七迷ノ躰高ヲ要ス

馱馬 躰ハ一般ニ圓ク背ハ短クシテ力アリ四肢ハ堅固ニシテ多肉ナルベク歩様確實ニシテ性質溫順ニシテ恐怖セザルヲ要ス馱馬ハ大ナルヨリ小ナルヲ佳トス幼馬ヨリモ稍老タルモノヲ良シトス

總テノ用途ニ不適當ナルハ肥大セル頭過度ニ短キ頸低キ鬣甲長キ背短キ項狭キ胸扁平ナル肋骨緊縮或ハ垂下セル腹硬キ肩筋肉ニ乏シキ腿肥大セル下脚起繫或ハ伏繫、惡シキ蹄等トス

種馬 種馬ハ子孫ニ影響ヲ及ボスモノナルガ故ニ撰擇ハ殊ニ慎重ナルヲ要ス種馬ハ成ルベク同毛色ノモノヲ撰ビ早熟種ニアリテハ五歳ニテ交尾セシムルモ四歳ニシテ一或ハ二頭ノ牝馬ニ試験的交尾ヲナサシムルコトアルモ種馬トシテハ五歳以上トス十五年一十八年後ハ種ニ供セズ純血種牝馬ハ稀レニ三十歳迄使用スルヲ得ル

コアリ種馬ハ強健、多力、勇壯活潑ニシテ健全ナル生殖器ヲ具ヘ血統正シク遺傳病ヲ有セズ躰格最モ完全ナルモノナラザルベカラズ次ノ條件ノ一ニ該當スルモノハ種用ニ供スベカラス

月盲、黒内障、緑内障、眠狂、息癆、骨質粗鬆ナルモノ、管骨瘤、趾骨瘤、腱ノ弛緩セルモノ、狹蹄及平蹄、飛節内腫等トス

交尾 交尾季節ハ三月ヨリ六月ニシテ春期ノ交尾ハ產駒期二月一三月ナルヲ以テ駒ハ放牧スルヲ得ルノ利益アリトス一頭ノ牝馬ハ一日一頭ノ牝馬ニ配スルモノニシテ交尾期中(六十乃至九十日)ニハ三十乃至四十頭ノ牝馬ニ配スルヲ佳シトスルモ事情ノ爲メ多クノ牝ニ配スルノ止ムヲ得ザル場合ト雖モ決シテ五十―七十頭ヲ超ユベカラズ高貴ナル牝馬ハ只十四乃至十六頭ノ牝馬ニ配スルヲ極度トスルコトアリ

牝馬發情スレバ舉動一變シ精神不安トナリ陰門ヨリ粘稠帶黃色ノ粘液ヲ漏ラシ頻リニ排尿ス游化期ハ二十四―三十六時間ニシテ受胎セザレバ八―十日ニシテ再發ス交尾場ハ草園、馬場、小舎、庭園等ヲ撰ブ牝馬、牡馬ヨリ大ナル片ハ地ヲ堀リテ牝馬ノ

後牀ヲ低クス之ニ反シ牝馬、牡馬ヨリ小ナル片ハ後方ノ地盤ヲ高クシ交尾作用ヲ容易ナラシムベシ交尾後一或ハ二時間安靜ニ牽運動ヲナシ然ル後厩舎ニ靜養シ少量ノ飼料ヲ給ス八乃至九日後試馬ニテ受胎ノ如何ヲ驗ス受胎セルトキハ試馬ノ接觸ヲ嫌フ多數ノ牝馬ハ二―三回ノ交尾後時トシテハ牡馬ヲ交換スレバ受胎スルヲアリ牡馬ハ交尾期中ハ特ニ管理ニ注意シ而シテ營養物ヲ給ス

妊孕 受胎セバ精神安穩トナリ腹圍漸次増大ス妊孕中ハ特ニ管理ニ注意ス分娩二週以前ヨリハ舍飼シ穀質ヲ給シ決シテ輕役タリトモ課スベカラズ然ラザレバ容易ニ流産ス又給食ニ注意セザレバ便秘或ハ下痢ヲ發スルガ故ニ給食ハ適度ノ間歇ヲ要ス又過熱或ハ過冷ノ飼料ハ避ク流産ハ妊娠ノ二或ハ三或ハ九或ハ十ヶ月ニ主トシテ發シ來ル尠クトモ三百二十二日後ニシテ産レタル駒ハ生活力ヲ存ス流産ヲ發スレバ往々母牀ノ危險ヲ招來ス妊娠七ヶ月ニ手掌ヲ母牀ノ腹側ニ抵スレバ胎兒ノ運動ヲ感ズ母牀ノ腹ハ益々垂下シ妊娠末期ニ於テハ乳房ハ膨大シ乳頭ヨリ粘稠ナル乳汁ヲ分泌ス産前一―二週ハ清潔ナル敷稿ヲ多量ニ給ス乳房膨大スレバ毎日一―二回半時―一時間自由ニ且ツ安靜ナル牽運動ヲナス飼料ハ穀燕麥壓潰セル穀

質及截稿ヲ與フ

産ハ十一月ト一日乃至二日ニシテ來ル時トシテハ或ハ短ク或ハ長キヲアリ故ニ概シテ三百二十二日―四百十九日トス産前一乃至二日ニシテ陣痛ヲ發ス然ルキハ母馬ハ伏臥シ比較的容易ニ産出ス産後母馬ハ躍起シ茲ニ於テ臍帶切斷ス而シテ母ハ直ニ仔駒ヲ舐ム又駒ハ母ノ乳房ヲ搜索シ哺乳シ初乳ニヨリ胎兒便ヲ排泄ス産後當初ハ濕セル穀或ハ粉末飼料ヲ與フ其後ハ甘味ナル乾芻、穀質粉、亞麻仁油餅、多量ノ生草ヲ給ス(泌乳ヲ盛ンナラシムル爲メ)十乃至十四日後母馬ハ善良ナル天候ニアリテハ輕役ニ再ビ服スルヲ得九―二十日後ハ再ビ發情スルモノトス

高貴ナル駒ハ四―五ヶ月通常三ヶ月哺乳セシム虛弱ノ駒ハ哺乳期ヲ延長スルヲ要ス四週後ニシテ駒ハ母ノ飼料ヲ食セントスルガ故ニ低キ飼槽ヲ設ケ軟キ乾芻及燕麥ヲ入レ置クベシ駒ハ母馬ト隔離シ一日三回(朝、晝、夕)哺乳セシムル爲メ母馬ニ接セシメ遂ニハ二回(朝夕)トナシ且ツ夜モ接セシメズ一ヶ月後ハ母ト共ニ牧場ニ出ス

駒ハ生時ノ毛色ハ成長馬ノ毛色ヨリ稍暗色ニシテ六―十週ニシテ交換ス

出産當初或ハ哺乳ノ末期ニ於テ屢疾病ヲ發ス即チ下痢或ハ仔馬麻痺直ニ獸醫ノ治

療ヲ受クベシ

母馬ヲ失フカ或ハ泌乳少量ナルハ駒ハ乳母ニテ飼育セザルヲ得ズ或ハ人工的哺乳法ヲ行フニ〇―三〇%ノ水ヲ加ヘ稀釋シタル牛乳ニ少量ノ砂糖及二―四個ノ卵ヲ加ヘ與フ但シ注意セザレバ輕疝痛或ハ下痢ヲ發スルコアリ十四日後六リートルノ牛乳一五リートルノ豌豆煎汁及二分ノ一リートルノ亞麻仁煎汁ヲ與フ四週ニシテ軟キ乾芻及燕麥ヲ一日四―五回給ス六ヶ月ニシテ軟キ乾芻ヲ加フ六ヶ月―一年半ノ馬ニハ二キロ瓦ノ豌豆二キロ瓦ノ燕麥十キロ瓦ノ乾芻三グラムノ骨粉ヲ賞用スルモ一―二―三年ノ駒ハ牧場飼養ヲ良シトス舍飼ニテハ多量ノ生草ヲ給セザル可ラズ冬期ニアリテハ二年迄ハ六―九キロ瓦ノ乾芻二―三キロ瓦ノ稿及敷稿ヲ給ス高貴ナル駒ハ〇七―二二キロ瓦ノ燕麥ヲ増加ス三年ノ駒ハ六―九キロ瓦ノ乾芻五―八キロ瓦ノ稿及敷稿ヲ一日ニ給ス此以後ハ普通ノ飼料トナス將來種用ノ見込ナキ駒ハ早ク罌丸ヲ割去ス(通常一年)十月―十一月ノ季節ニ手術ヲナスヲ良シトス術後四―六日ハ清潔ニ消毒ヲナスヘシ

三、飼 養

馬ノ飼養ハ甚ダ簡單ナリ牧場飼養ヲ施ス力役馬ハ厩舎ニ於テ殆ド飼養スルモ休業時ハ放牧ス力役馬ハ通常燕麥乾芻及截稿ヲ給シ食量ハ躰量及役務ノ程度ニヨリ參酌ス若キ馬及老馬ニハ燕麥ハ壓潰シテ與フ

「セツテカスト氏ニ依ル飼糧標準次ノ如シ

用途	日 量	備 考
乘馬、獵馬、軍馬、 輕車馬	三―四、五キロ瓦ノ燕麥、三―四、五キロ瓦ノ乾芻 一―一、五キロ瓦ノ稿	力役ノ程度ニヨリ 燕麥ヲ増加ス
重車馬	四、五―六、五キロ瓦ノ燕麥、三―四、五キロ瓦ノ乾芻 一―一、五キロ瓦ノ稿	
農馬 輕	三―四、五キロ瓦ノ燕麥、三―四、五キロ瓦ノ乾芻 一、五キロ瓦ノ稿	作業ノ程度ニヨリ 飼糧ヲ増加ス
農馬 中等大	四、五キロ瓦ノ燕麥、四―五、五キロ瓦ノ乾芻 一、五―二、五キロ瓦ノ稿	
農馬 重	六、五キロ瓦ノ燕麥、五―六、五キロ瓦ノ乾芻 一、五―二、五キロ瓦ノ稿	
駄馬	七、五―九、五キロ瓦ノ燕麥、六―七、五キロ瓦ノ乾芻 二、五キロ瓦ノ稿	
種牝馬	七、五―一〇、五キロ瓦ノ乾芻	高貴ナルモノ及老牝馬ニハ
休業馬	四―六、五キロ瓦ノ稿及敷稿	〇、八―一、五キロ瓦ノ燕麥ヲ加フ

「シトマン」氏ニ依レバ次ノ如シ

中等大ノ生牝馬 450「キロ」瓦	乾 質 物	精 化			粗 質 養 維 維		養 維 維 比 例
		可 蛋 白	脂 肪	無 氮 素	＝ 1	＝ 2	
適度ノ役用	20	1.5	0.4	9.5	12.0	10.0	1:7.0
中度ノ役用	24	2.0	0.6	11.0	14.5	12.8	1:6.2
強度ノ役用	26	2.5	0.8	13.3	17.7	15.5	1:6.0

「ウォルフ」氏ニ依レバ五百「キロ」瓦ノ役用馬ハ三三〇〇—三三五〇—三四〇〇「グラム」ノ粗性纖維ヲ有セザル營養素可消化蛋白及可消化抱水炭素及可消化脂肪×2.4ヲ必要ス故ニ百「グラム」ノ粗性纖維ヲ有セザル營養素ハ馬ノ機械的筋勞動ニ向テノ實績力ハ八五四〇〇「キロ」グラムメートルナリ、「キロ」瓦ノ燕麥ハ五〇〇〇〇—「キロ」瓦ノ玉蜀黍ハ六八〇〇〇〇—「キロ」瓦ノ乾草ハ二五〇〇〇〇

「キロ」瓦ノ截稿ハ七〇〇〇〇「キロ」グラムメートルノ労働成績ヲ生ズ平均一日ノ労働ヲ五百「キロ」瓦ノ生牝馬ノ農馬ニハ一五〇〇〇〇〇—一八〇〇〇〇〇「キロ」グラムメートルト計算ス

實用スベキ飼養法ハ燕麥(千「キロ」瓦ノ生牝馬ニ五—十八「キロ」瓦及乾芻(四—十五)ヲ他ノ飼料ト共ニ混與ス燕麥ノ一部ヲ大麥玉蜀黍(三—十)蕎麥ライ麥(二—四「キロ」瓦)ヲ以テ代用スルヲ得大麥ハ壓碎或ハ壓潰シテ用ユ玉蜀黍ハ燕麥日量ノ重量ノ三分ノ一以内ヲ用フ而シテ燕麥及截稿(二—四)ト共ニ混與ス大量ノ「ライ麥」ハ疝痛ヲ誘發ス「ライ麥」ハ壓潰シテ截稿ト共ニ用フ只力役飼料トナス重馬車馬ハ大量ノ燕麥一、五—三「キロ」瓦含窒素ノ豆粉ヲ與フ老馬ハ壓碎シタル飼料ヲ用フ多量ノ糠飼料日量一「キロ」瓦ハ消化障害腸石及骨質形成ヲ障害ス故ニ糠ハ燕麥及乾芻ノ附加食トナス穀實飼料ノ代用トシチ麥酒精ノ適量乾燥シタルモノ四「キロ」瓦以内ヲ用フ冬期休業セル片ハ燕麥ノ一部ヲ球根ヲ以テ代用ス馬鈴薯(八—十八「キロ」瓦)ハ蒸スカ或ハ煮沸シテ與フ大量ノ馬鈴薯ハ疝痛ヲ誘發ス

給食時ハ通常朝晝夕トナス朝及夕ハ二時間晝ハ稍短キ攝食時ハ許ス食後ハ三十分

休憩セシムベシ

飲水ハ二十一乃至三十一リットル毎日給ス生草ハ朝及夕ニ與ヘ晝ハ只少量ヲ穀實及乾芻ニ附加シ與フ一週一―二回毎回ニ五十乃至七十或ハ鹽分ニ乏シキ飼料ニアリテハ一日一頭ニ十九―二十グラムノ食鹽ヲ與フ

大麥一升ニ對スル代用量及一日ノ極量

燕麥	一升五合	日量二升ヲ超過スレバ危險アリ
小麥	八合	日量二升ヲ超過スレバ危險アリ
裸麥	八合	日量三升
玉蜀黍	七合	日量三升
蕎麥	一升五合	日量一升ヲ超過スルハ危險アリ
豌豆	七合	日量一升
大豆	五合	日量一升
蠶豆	八合	日量一升
玄米	六合	日量二升

小麥麩	一升五合	日量三升
米糠	一升五合	日量三升
小麥粉	一升五合	日量三升
胡蘿蔔	一貫六百目	日量八百目ヲ超ユベカラズ
甘藷	九百目	日量四百五十目ヲ超ユベカラズ
馬鈴薯	九百目	日量四百五十目
乾草	五百目	
稻藁	八百目	
乾草一貫目ニ對スル代用量	八百目	
生稻	三貫五百目	
稻藁	一貫五百目	
萩乾草	八百目	
葛乾草	八百目	
ス、キ	一貫目	

竹葉 三貫五百目

大豆科 一貫五百目

其他ノ稈 二貫目

### 四、管理

馬ノ管理ハ慎重ヲ要スルモノニシテ一人ノ牧夫二頭ヲ通則トスルモ例外トシテ四頭ヲナスコアリ管理トハ飼料ノ調理給食手入ヲ示スモノトス

馬牀ヲ清潔ニナスハ必然ナリト雖モ厩舎亦常ニ整頓清潔ナラシメ蹄ノ管理ニ注意ス馬房ニハ毎夕多量ノ清潔ナル敷稿ヲ敷キ翌朝取出ス常ニ馬房ニ糞糞スルトキハ少量ノ敷稿ヲ給シ糞塊ト共ニ除去シ始終交換ス一頭ニ飼料乾質物ノ五分ノ一乃至四分ノ一詳言スレバ毎日二―二五―三キロ瓦或ハ一ヶ年ニ七―九―一―D<sub>2</sub>ノ敷稿ヲ要ス稿ノ不足ヲ生ズルキニハ三―四キロ瓦ノ泥炭或ハ二五―三キロ瓦ノ木屑ヲ使用スルキハ三―四週ニシテ交換シ其間ハ糞塊ハ表面ノモノト共ニ除去スレバ清潔ニ保ツヲ得

馬牀ノ梳拭馬牀ノ清潔

梳拭即チ手入ハ皮膚ノ汚垢ヲ去リ清潔ナラシムル法ヲ云フ梳拭ハ朝夕二回懇篤ニ行フベシ殊ニ夕ニ在テハ作業ノ瘵ヲ慰スル効アルヲ以テ極メテ懇篤ナルヲ要ス抑々皮膚ハ全牀ヲ被ヒテ牀内諸器關ヲ保護スルノミナラズ牀温ノ調節ヲナスモノニシテ其機能ノ良否ハ牀内諸器關ノ機能ニ波及スルヲ以テ梳拭ヲ丁寧ナラシメ常ニ清潔ニ保チテ異和ヲ生ゼザランコトニ注意スルハ極メテ必要ナルモ過激ノ梳拭ハ皮膚ヲ傷ク過敏ナラシメテ動モスレバ炎衝ヲ發スルコトアリ注意スベシ手入ノ順序ハ先ヅ鐵櫛ヲ以テ毛ノ凝結ヲ解キ次ニ毛櫛ニテ全身ヲ摩擦シ汚垢ヲ除去ス(毛櫛ニ附着シ來ル汚垢ハ鐵櫛ニテ摩擦除去ス)長毛鬣尾ハ木櫛ニテ梳ル眼口鼻肛門陰門包皮下脚等ハ雜巾或ハ海綿ヲ以テ拭フベシ夏ニアリテハ紗クトモ攝氏二十度ノ水中ヲ十分乃至二十分間游泳セシメ清潔ニ乾拭ス

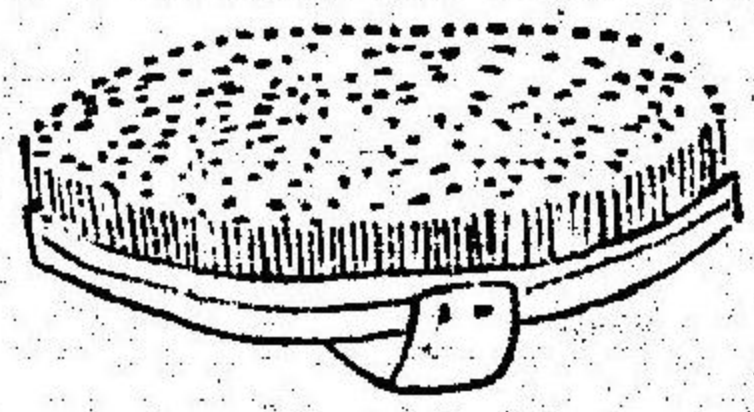
海水ハ皮膚ノ强健ニハ利アレドモ汚垢ヲ溶解スル力ハ河水ニ劣レリ

鬣尾距毛ハ手入容易ナラシメンガ爲メニ適度ニ短截スルモ蹄冠部ノ毛ハ截切スベカラズ

鬣毛トハ全身ノ被毛ヲ短ク剪除スルモノニシテ被毛稠密ナル時ハ勞働發汗後牀ノ

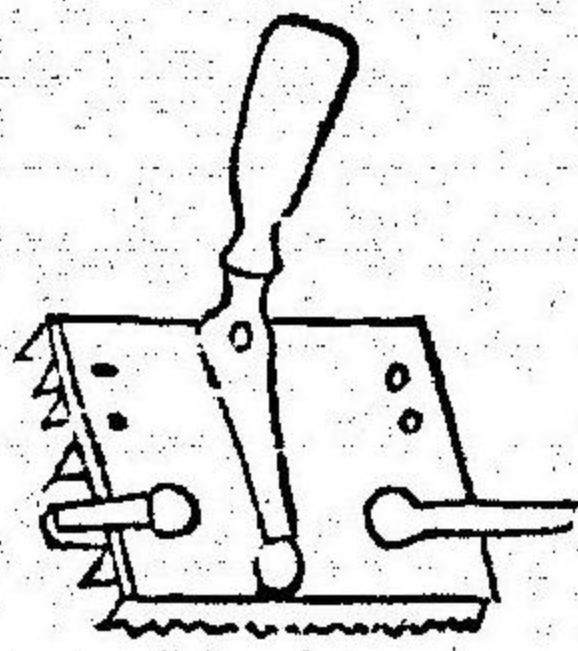
馬

乾燥スルヲ甚ダ遅クシテ爲メニ皮膚ハ機能ヲ紊シ諸症ヲ誘發スルノミナラズ手入不全ナル爲メ皮膚病ヲ發スルヲ以テ此等ノ害ヲ避ケンガ爲メ則チ剔毛ヲ行フモノナリ期節ハ十月上旬一下旬トス此レ夏毛ノ稠密トナリテ冬毛ニ變スルハ九月ニ始



圖六十第 櫛毛

リ十月上旬ニ終ルヲ以テ剔毛早キニ失スレバ冬期短毛ナラシムルノ目的ヲ達セズ遲キニ過グレバ冬期間過短ニシテ直接胃寒ノ恐レアリテ來春ニ及ヘバ剔毛疹ノ發スル害アルヲ以テナリ剔毛後ハ不同ナル毛ヲ毛燒ランプニテ燒クベシ

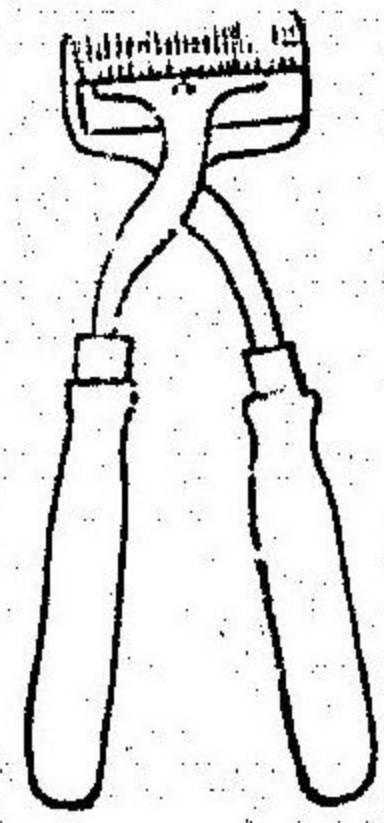


圖七十第 櫛鉄

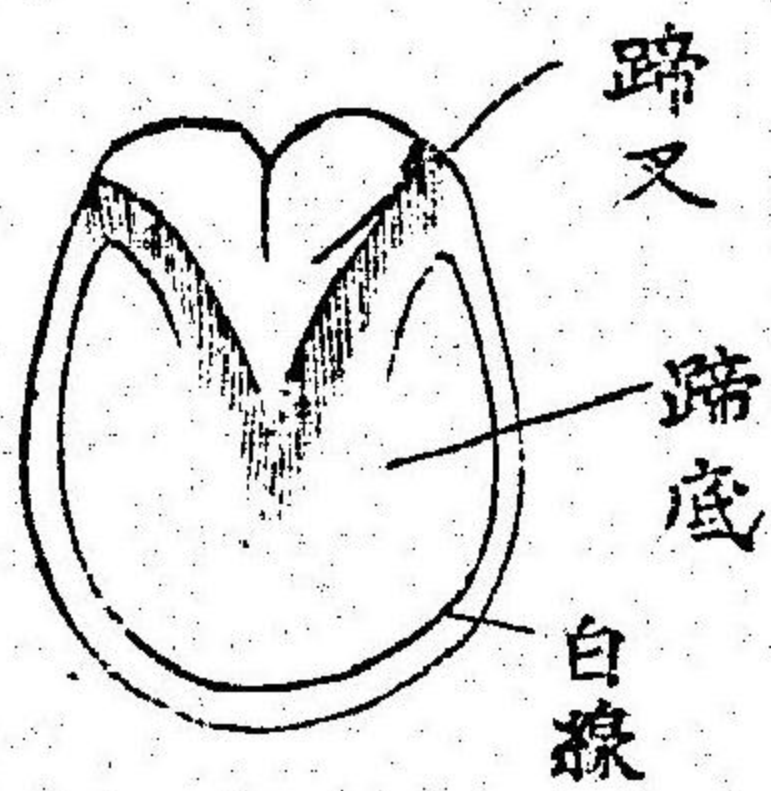
馬ハ單蹄獸ニ屬ス蹄ハ四肢ノ最下端ニアル角匣ニシテ内ニハ骨部彈力部知覺部ヲ被包シ有力ナル器關ナリ蹄角成長ノ程度ニ應シ且ツ蹄形及肢勢ニ鑑ミテ死枯セル角質ヲ截除即チ削蹄セザルベカラズ蹄形ハ各馬各蹄自ラ同シカラザルヲ以テ其削蹄モ從テ異ナラザルヲ得ズ要スルニ蹄ハ之ヲ前方ヨリ望ムモ亦側方ヨリ視ルモ趾軸ニ致一スルヲ要

シ熊脚ハ例外又常歩ニ於テ蹄ヲ平坦ニ地ニ接セザルベカラズ次ニ蹄形ニ應ズル如ク蹄鉄ヲ製造シ之ヲ黑色熱トナシ蹄負縁ヲ燒烙ス焦烙シタル角質ハ臚削シ蹄負縁ト鉄面トノ接着ヲ調節ス茲ニ於テ下釘シ釘孔ハ各側溝内ニ五―九個ヲ穿ツ各孔ノ間隔七乃至八密迷トス釘ノ高サハ蹄負縁ヨリ二十密迷ノ高サニアルヲ要ス

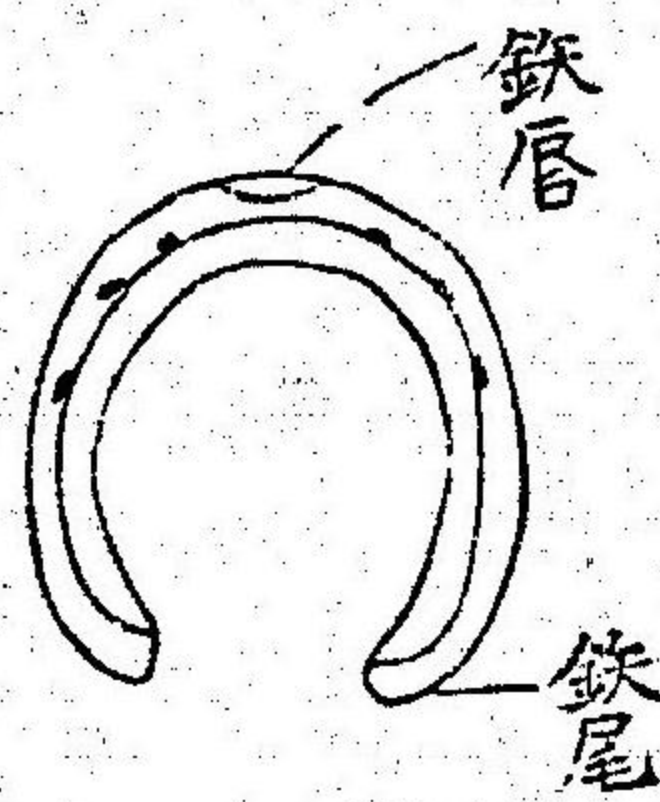
圖八十百第 [スリデント]



圖九十百第



圖十二百第



鐵ノ重サハ馬体ニ關シ二百―八百五十一千七百グラムトス鉄尾ハ蹄踵ヨリ二―四仙迷後方ニ出ス冬期ニアリテハ銳鐵臚ヲ裝シ滑倒ヲ豫防ス蹄釘ハ頭頸身及刃ノ四部ヨリナル

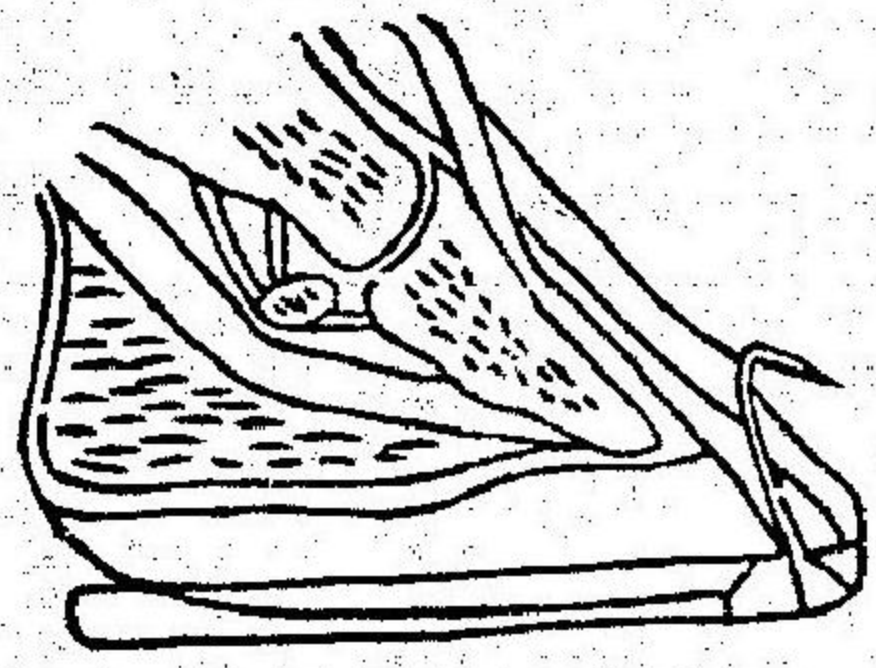
馬



蹄鉄ハ五―六週ニシテ改装ス使役馬ハ毎日水ヲ以テ蹄ヲ洗滌ス蹄ト鉄或ハ鉄ト蹄  
 又間ニ嵌入セル石若クバ砂ハ毎常除去スベシ蹄ノ水分ヲ適度ニ維持セシメンガ爲  
 メ豚脂或ハ華攝林木爹兒亞麻仁油偏里設林樹脂(蠟)的列並底油烟綠青等ヲ單味或ハ  
 混合シテ塗布スレバ頗ル其効ヲ奏ス即チ蠟及脂肪ノ混合物ハ蹄ノ濕リヲ確實ニ豫  
 防ス病蹄或ハ挫踏ハ獸醫ニ治療ヲ受クベシ

厩舎 (Pferdestall, horse stable, écurie, stalladi cavalli) ハ牡馬牝馬一才駒及二才駒三才駒及  
 四才駒并ニ病馬厩等各區別セザルベカラズ馬ヲ厩舎壁ニ面セシメタル單列ノ厩舎

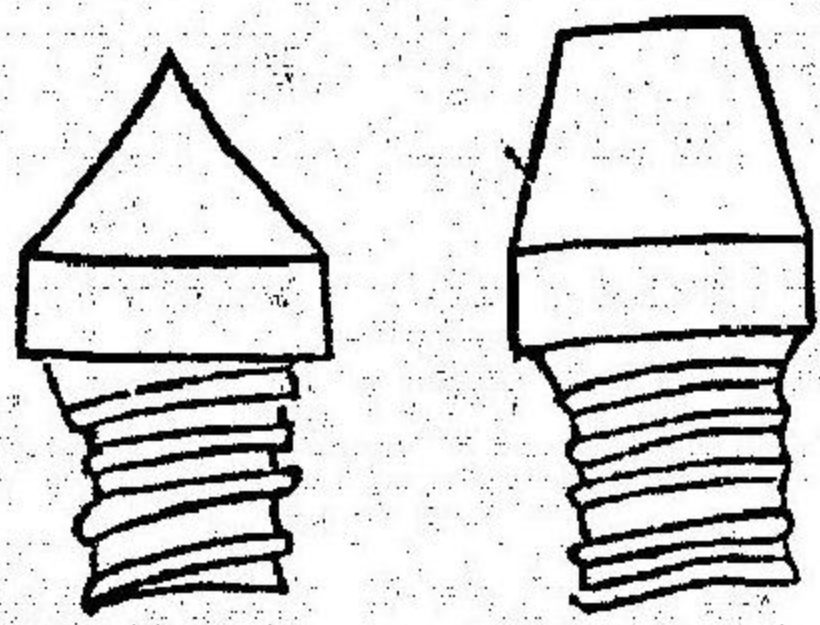
圖一十二百第



圖二十二百第  
刀 蹄 削



圖三十二百第  
蹄 鉄 銳



ニアリテハ後方一、八―二、八複列ノ厩舎ニアリテハ二、八―三、八迷ノ廣サノ通路ヲ要  
 ス厩舎ノ高サハ二十乃至三十頭ノ馬ヲ繫畜スル片ハ三、四―四、〇三十乃至五十頭ヲ  
 繫畜スル片ハ四、〇―四、七迷トス入口ハ二、三―五、一―二、五―二、五―一、迷ノ  
 廣サヲ要ス馬房ハ三、三乃至三、五迷ノ長サ一、八乃至二、三〇迷ノ廣サトスルモ乘馬  
 及馬車馬ハ三、〇乃至三、三迷ノ長サ一、六乃至二、〇迷ノ廣サヲ度トス役馬ハ二、五乃至  
 三、〇迷ノ長サ一、三乃至一、五迷ノ廣サトス、ボツクスハ妊馬ニアリテハ一、〇乃至一、五  
 平方メートルニシテ三、三乃至四、一迷ノ長サ三、〇乃至三、七迷ノ廣サトス駒ト共ニ自  
 由ニ運動セシムルニハ一、〇平方迷トス共有馬房ニアリテハ一頭ニ四乃至五平方迷  
 ノ面積ヲ要ス  
 床盤ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ構造ス排泄溝ハ適度ノ勾配ヲ附シ〇、一五迷ノ廣サト  
 ナス  
 飼槽ハブリキ張り或ハ其他容易ニ清潔ニ掃除シ得ル様構造ス飼槽ノ高サハ中等大  
 ノ力役馬一、一乃至一、二五、大馬一、二五乃至一、四迷トス芻架ハ木製或ハ鉄製ノ格子造  
 リ或ハ籃ヲ使用ス其高サハ飼槽ヨリ〇、三二乃至〇、四八迷ノ上ニ設ク

窓ハ成ル可ク高く設ク然ルキハ光線ハ馬鉢殊ニ眼ヲ直射セズ然レモ舍内隅ナク映射シ且ツ換氣ヲ妨ケザル様ナスベシ

舍内ニ馬房ノ外馬具部屋、秣部屋、牧夫部屋トシテ〇・五乃至〇・七平方迷ノ面積ヲ準備スルヲ要ス

厩舎温ハ奢侈用馬ハ攝氏二十度通常十五度トスルモ泌乳母馬及駒ヲ繁養スル厩舎温ハ十七度五トス馬ニ多發スル疾病及傳染性疾病次ノ如シ

胸疫、腺疫、皮鼻疽、疥癬、瘧疾、炭疽以上傳染病、疝痛、腸炎、流行性感胃、肺及胸膜炎、鼻加答兒、腦病、跛行、腿炎、月盲、綠内障、黑内障、贅骨、飛節、內腫、管骨瘤、指骨瘤、環骨、水疔、蹄炎、挫趾等トス

鼻疽ハ *Bacillus mallei* ノ侵入ニ由リテ發スルモノニシテ「マレイ」ヲ皮下注射ス

レハ鉢温攝氏二度以上ニ亢進ス、腺疫ハ *Streptococcus* ノ侵入ニ

由リ發ス

其他寄生虫ハ馬蚊 (*Gastrophilus equi* Fab.) ノ蛆胃中ニ寄生シ

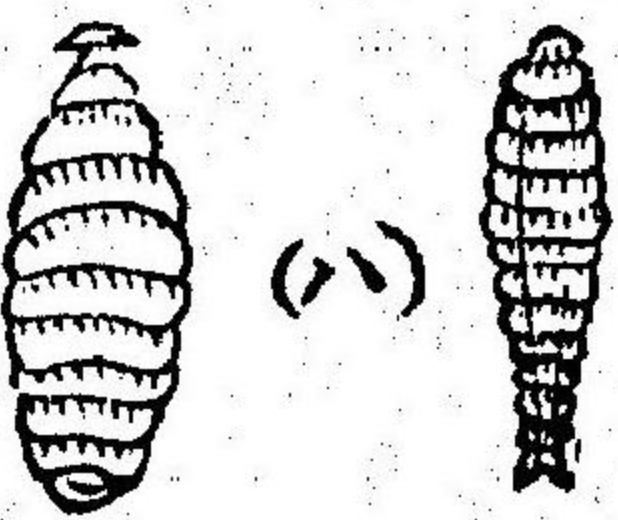
第一百二十四圖 鼻疽菌



第一百廿五圖 馬蚊



第一百廿六圖



(*Dermatoptes communis*) 及脚癬疥虫(食皮疥癬虫 *Dermatophagusequi*) 等トス

船舶輸送ノ方法及其衛生

搭船スル馬匹ハ活氣ヲ沈靜ナラシメンガ爲メ三四日前ヨリ運動及飼料ヲ參酌セザルベカラズ清涼飼料及穀ヲ麥ニ混與セバ極メテ可ナリ然レドモ瘦瘠馬及衰弱馬ノ如キハ鉢力ヲ旺盛ナラシメンガ爲メ一層懇篤ニ飼養スベシ

搭船スベキ馬ハ搭船若干時前ニ飲食及逍遙セシメテ胃ノ充盈ヨリ生スル諸害ヲ除クヲ要ス

搭船前ニハ必ズ蹄鉄ヲ檢シテ釘ノ弛緩セルモノアレバ必ズ釘締メヲナスベシ  
 搭船セシムル馬匹ハ水勒ニテ整列場ニ引致シ而シテ棧橋或ハ浮橋ヨリ馬ヲ船  
 内ニ牽入ル、時ハ其上ニ稿或ハ草ヲ撒布シ最モ沈靜ニシテ恐怖セザル馬匹ヲ  
 撰デ先導セシム

馬匹ヲ端艇ヨリ運送船ニ引揚ケルニハ先ヅ端艇ニ在ル助手ヲシテ馬絡ヲ馬軀  
 ニ裝シ其蹄環ヲ揚重機ノ鈎ニ嵌入ス馬匹ヲ引揚ルニハ神速ニ端艇ヲ離スヲ要  
 ス而シテ適宜ノ高サニ引揚ケタル時ハ最モ安靜ニ甲板上稿ヲ撒布スニ下ラシ  
 メ四蹄ノ板上ニ觸ル、ヤ直ニ助手ヲシテ馬絡ヲ脱シ順次ニ最遠ノ馬欄ニ牽入  
 レ勒ヲ緊張シテ繫キ以テ隣馬トノ爭咬ヲ防グ

搭船後直ニ少量ノ秣ヲ與フレバ恐怖セズシテ其場所ニ慣ル、モノトス  
 長キ航海ニ在テハ藁ヲ以テ脚ヲ摩擦ス

懸帶ハ風沈激烈ナル片ハ脱去ス

給食ハ一日三回トス水與ハ朝夕二回トスルモ航海中ハ概シテ渴甚シキニ依リ  
 多量ヲ給スベシ

航海中ハ換氣ニ最モ注意スベシ

揚陸ノ順序ハ搭船ノ反對トス揚陸後ハ三十分牽運動ヲナス殊ニ四肢ヲ充分ニ  
 摩擦ス漸次作業ニ服セシムルモ十四日以内ハ劇役ニ服セシムベカラズ

馬肉 三乃至十二年ノ營養佳良ナル馬ノ肉ハ營養價值敢テ牛肉ニ劣ルヲナシ老役  
 馬ノ肉ハ之ニ反シテ脂肪ニ乏シクシテ硬ク且ツ消化困難ナリ肉ハ褐赤色ニシテ空  
 氣ニ遇ヘバ直ニ表面ハ甚ダシク暗色トナリ而シテ鏡ノ如ク帶青色ニ變ズ瘦削セル  
 馬肉ハ〇〇九肥臘セルモノ一九六%ノ脂肪及七六或ハ七三%ノ水分ヲ含有ス黄色  
 ノ脂肪ハ僅カノ粘サヲ有ス

驢

驢 (Esel) 動物學的性質上馬ト同一ナリ毛色多クハ灰白若クハ赤色ニシテ背ノ  
 全長ニ濃色ノ駱線ヲ呈シ又肩ノ兩側ニ同色ノ斑ヲ有ス頭ハ稍大ニシテ口ハ深ク上  
 下唇馬ヨリハ長ク耳長大ニ蹄狭小ニシテ峻立シ尾ハ牛ノ如ク末端ニ毛ヲ生マ後肢  
 ニ附蟬ヲ缺如ス其原産地ハ古亞細亞及埃及ニシテ今尙ホ其野生ヲ存ス  
 一亞非利加野驢 亞非利加ノ北東ヨリ南部ニ生活シ駱線及肩斑最モ著シク四肢ノ

外面ニ横斑ヲ顯出シ毛色ハ黄河原毛ヨリ灰白色ニシテ力強キモ恐怖ノ性甚シク鬣ハ織細ニシテ短ク尾端ニ多毛アリ

二、亞細亞野驢 前者ト同一ノ血統ヨリ出タルモノナルベシト雖星霜ノ久シキ遂ニ其外形ノ變化ヲ來シタルモノナラン乎シリア、亞刺伯及印度ニ産シ頭ハ巨大ニシテ唇厚ク毛粗硬ニシテ捲縮シ耳長大ナリ毛色白色ニシテ駱線及肩斑等皆白色ナリ鬣毛ハ柔軟ニシテ蜩立シ尾端ニ短毛ヲ有ス

三、羊驢 驢貌驢ヨリハ美麗ニシテ耳ハ馬ヨリハ長ク鬣尾及蹄ハ驢ニ類シ附蟬ハ前肢ニ著明ナルモ後肢ニハ存在セズ距モ亦不明ナリ毛色ハ淡褐色ニシテ駱線黑色ナリ馴驢 馴狎セル驢ハ亞非利加及亞細亞變種ノ血統ニ屬スルモノニシテ數千年前古亞細亞及ニルランドニ於テ「セミテン」入之ヲ繁殖シ家畜トナセルモノナリ實ニ驢ハ家畜中最古ニ屬スルモノトス

歐羅巴ニ飼養セル馴驢ハ卑賤ノ動物ニシテ粗食苛役及疎漏ナル管理ノ爲メニ驢形衰衰シ頭ハ陋大ニシテ耳重大駱線ハ背ノ全長ニ涉リ肩ノ兩側ニ斑紋ヲ呈ス尾ハ牛ノ如ク蹄頗ル狭小ナリ毛色ハ灰色若クハ暗褐色ニシテ其鳴聲極メテ不快ナリ

驢ノ秀越烈ヲ舉グレバ其性甚シキ粗食者ニシテ凡ソ他ノ草食家畜ノ捨テ顧ザル如キ下劣ノ食物ト雖モ能ク甘シテ之ヲ食シ其勞働作業ニ從事スルヤ強勁ノ持久力ヲ有シ且甚ダ負擔力ニ富ミ加フルニ險山峻道ヲ行クニ確實ナル步行ヲナス故ニ山岳地方ニアリテハ之ヲ馱用或ハ山道ノ乗用トシテ役スルニ適應ス

歐洲ニ於テ畜養セル驢ハ飼養管理ノ粗陋ナルヨリ性ノ極メテ魯鈍怠慢ニシテ而カモ執拗ナル動物トナレリト雖モ天性如斯モノニアラズ其伶俐ナル敢テ馬ニ讓ラズ歐羅巴ニ於ケル有名ノ産地國ハ西班牙ニシテ同國ノ驢ハ驢偉大ニシテ形相美麗ナリ其他伊太利ニ於テモ亦貴種ノ驢ヲ産ス就中其南部「ホアツ」(Apulia)ノ如キハ最モ高貴ナル驢ヲ産シ驢格偉大ニシテ一四八仙迷ニ達ス

驢

驢 (Mule) ハ貴種牡驢ニ牝馬ヲ配合シタル交叉産物ニシテ驢格ノ巨大ナル持久力及負擔力ノ強勁ナル步行ノ確實ナル等渾テ有益の性質ニ卓越セルヲ以テ凡ソ驢ヲ養フノ國ハ必ス之ヲ産セザルナシ

歐羅巴中盛ニ驢ヲ産出スル國ハ西班牙、佛國南部及伊太利ニシテ此等諸國ニ産スル

騾ハ体格偉大ニシテ軀高一五〇—一八〇仙迷ニ達ス軀貌美ナルヲ以テ駄用ノミナラズ乗用及靴用ニ供ス

駄騾 (Maul esel) ハ牝驢ニ牡馬ヲ配シタル交叉産物ニシテ軀矮小役力庭弱家畜タルノ利益薄シトス

騾及駄騾ハ代ヲ逐テ蕃殖スルヲ得ズ妊孕力極メテ薄弱ナリ然シ牝騾ニ牡馬若クハ牡驢ヲ配シテ得タル實例世ニ乏シカラズ

### 豚

豚 (Schwein, Swine, porc, porco) ハ容易ニ且ツ速ニ肥臚ス肉及脂肪(燻肉若クハ燻腿)ハ賞賛セラルノノミナラズ皮ハ馬具及書籍製本用綴糸トシテ堅固ナリト云フ其毛ハ洋鬃刷子及刷子ニ使用セラル豚ハ時トシテ不良ノ天候ニ對シ不感ナルヲアリ而シテ最モ蔭ヲ好ムモノニシテ温熱ヨリハ寒冷ナルヲ而シテ乾燥シタル地上ヨリハ濕潤セル地上ヲ可トス

### 一、豚ノ發育

牡性ノ成長シタル豚ヲ歐語ニテハ (Eber, Keuler, Bär, Faselwein, Boar, Verrat, Cignale) ト云フ

牝性ノ豚ヲ (Mutterschwein, Fuchtsau, Juchtin, Bache, Doeke, Sow, Urnie, Scrofa) ト云フ 去シタル牡豚ヲ (Bark, Bork, Geije) ト云フ 牝性ノキノノ (Neme) ト云フ 産後若キモノヲ仔豚 Ferkel, Pig, Coehonde, Iuit, Porchetta, Frischling, überläuser) ト云フ 六ヶ月—九ヶ月ノ仔豚ヲ (Freiherschwein, Iebschwein) ト云フ 一年ノモノヲ (Kleinfasel) 二年ノモノヲ (Grossfasel) ト云フ 肥臚豚ヲ (Mastschwein, Fattened Iag, Coehon engruisse, Porco che Si ingrassa) ト云フ 豚ノ齒ハ切齒  $\frac{S}{3}$  犬齒即チ鈎齒  $\frac{I-I}{1-1}$  及頰齒即チ齧齒  $\frac{7-7}{7-7}$  總計四十四枚トス 犬齒ニ大ニシテ口裂外ニ現出シ 牡豚ニアリテハ下顎犬齒大ニ發達ス 去勢牡豚及貴種ノ豚ハ發育薄弱ナリ而シテ齒ハ年齢及種族ニヨリ大サ及形チ種々ナリトス 下顎切齒ハ上顎切齒ヨリ稍早ク生ズ (他ノ家畜ニ於ケルヨリ)

年 齡	切 齒			犬 齒	前 齒				後 齒	總 計	
	切 齒	中 切 齒	鈎 齒		頰 齒	前 齒	齒	齒			齒
1. 乳 齒 期	J <sub>1</sub>	J <sub>2</sub>	J <sub>3</sub>	0	P <sub>4</sub>	P <sub>3</sub>	P <sub>2</sub>	P <sub>1</sub>	m <sub>1</sub>	m <sub>2</sub>	m <sub>3</sub>

豚

生多	三週	六週	二ヶ月	II 換代期	五ヶ月	八ヶ月	十一月	十二月	十七ヶ月	十八ヶ月
1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	20	24	28	33	40	40	40	40	44	44

老年ノ徵候(歎キ難キ)ハ牡豚ニアリテハ鼻ニ皺ヲ生ズ牝豚ハ腹深ク垂下ス  
 豚ノ軀重ハ年齢種族飼養法及營養ニ關ス産豚ハ〇六乃至二キロ瓦ヲ普通トス早熟  
 種ニアリテハ甚ダ速ニ肥脹ス四年マデハ成長増加ス改良種ハ既ニ三ヶ月ニシテ乳  
 豚トシテ食用スルニ致ル成長シタル豚ハ百—二百—四百キロ瓦或ハ以上ニ達ス  
 豚ハ通常一年又屢既ニ九ヶ月ニシテ蕃殖力ヲ有ス野生豚ハ之ニ反シテ發情ハ遅シ

トス發情持續ハ一日乃至三日トス産後哺乳セシムルキハ發情セザルモ哺乳セシメ  
 ザルキハ之ニ反シテ三日—九日ニシテ發情ス交尾ニ於テ受胎セザルキハ九日—十  
 四日ニシテ發情再發ス妊娠持續ハ十六週—十七週或ハ百日—百二十日—百三十日  
 トス發情ハ自然ノ生活ニアリテハ一年ニ只一回(春期)ナルモ家畜トシテ改良セラレ  
 タルモノハ二年ニ三産稀レニハ一年ニ二産トス一産ニ四—八—十二—二十一仔豚ヲ  
 産ス一産ニ多數ノ仔豚ヲ生ズルキハ概シテ牡性ノ仔豚斃死ス  
 豚ノ胃ハ單胃ニシテ腸管ハ中度ノ長ヲ有シ軀長ノ十五—十六倍トス鼻ハ所謂 *Rüssel*  
 ニシテ地ヲ堀ルニ適ス故ニ植物根昆虫及其仔虫ヲ堀食ス豚ハ植物性及動物性物質  
 ヲ食シ得ルモノニシテ大ニ多食者ニシテ消化速カナルモ稿及乾芻ノ如キハ消化困  
 難ナルモノニシテ食ヒ能ハズ最モ富水ノ飼糧ヲ好ムモノニシテ乾燥セル飼糧ハ多  
 量ノ水ヲ混與ス一般ニ豚ノ飼糧ハ生赤苜蓿「ル」サン「蕪菁」ノ葉及根穀實及其粉(穀)或  
 ハ糠野菜渣乳肉果實等トス  
 豚舎ハ常ニ清潔ニ掃除シ且ツ地上ハ乾燥セシメ一隅ニ貯水場ヲ設ケ自ラ沐浴セシ  
 ム

### 一、豚ノ種族

豚 (*Sus scrofa* L.) ハ二種ノ原種ヲ有ス即チ歐羅巴ニテハ *Sus europaeus* pall. 及印度ニテハ *Sus indicus* Gray, ヲ有ス吾人ハ前者ヲ歐羅巴野生豚 (*Sus Scrofa ferus* L.) 及歐羅巴家豚 (*Sus europaeus domesticus*) ニ分チ後者ヲ短耳支那種 (*Sus sinensis* Fitzger.) 及大耳日本假面豚 (*Sus pliciceps* Gray) ニ分ツ

歐羅巴野生豚ハ歐羅巴及北亞非利加ノ野ニ群ヲナシテ棲息ス印度種ト異ナル點ハ頭形ニアリ頭ハ狹長ニシテ顔面殆ド真直ナリ鼻骨ハ額骨ヨリ長ク鼻ハ地ヲ堀ニ適シタル所謂 *Rüssel* ヲナシ齧齒ノ排列ハ並行シ背ハ上方ニ彎曲シ尻ハ肩ヨリモ低ク躰ハ後部ニ至ルニ從ヒ狹小トナリ毛色ハ暗褐色乃至黑色ナリ冬期ニアリテハ厚キ被毛ヲ以テ皮膚ヲ被フ牝ハ只一年ニ一回春期産ヲナシ一産六乃至十ノ仔兒ヲ産ス成長シタルモノハ二百—三百キログラムノ重量ヲ有シ二十年—二十五年生活ス

印度種ハ歐羅巴野生豚ト異ナル點ハ頭ハ短ク廣ク齧齒並行セスシテ前方ニ擴ガルニアリ支那豚ハ短脚ニシテ從テ躰ハ低ク腹ハ甚シク垂下ス(殆ド地マデ背

ハ廣ク耳ハ小ニシテ尖リ且ツ廣ク頭ハ短キ鼻ヲ有ス皮膚ハ皺ヲ生シ軟キ毛ハ粗生ス早熟種ニシテ大量ノ脂肪ヲ容易ニ沈着ス屠殺量ハ稀レニ百キログラム以上ニ達スルコアリ肉纖維ハ軟クシテ甚ダ脂肪ニ富ム豚脂ハ軟キ性狀ヲ呈ス日本假面豚ハ厚キ顔面皺襞ヲ生シ耳ハ長クシテ垂下ス

歐羅巴野生豚ハ歐羅巴家豚ノ元祖ニシテ印度種ハ羅馬尼種及恐ラクバ又縮毛種并ニ英吉利改良種豚ノ元祖ナラン

(一)縮毛種豚 (*Kraus borstige Schweine rassen*) ハ南東歐羅巴特ニ「ウングアル」<sup>1)</sup>「スラフオニ」<sup>2)</sup>「セルビオン」<sup>3)</sup>「ブルガリン」<sup>4)</sup>「ツルカイ」<sup>5)</sup>東魯西亞及西部、中央亞細亞等ニ蔓延ス通常一年半乃至二年ニシテ肥臘ヲ表ス種族ノ特徴ハ狹ク長クシテ野生豚ニ等シキ頭短クシテ尖リタル耳ハ正直ニ或ハ前方ニ傾斜シ且ツ薄弱ナリ肋骨ハ中等ノ長ニシテ扁平ナリ背ハ尖銳ニシテ尾ハ短ク強力ナリ脚ハ適宜ノ長ニシテ一般ニ強力ナル骨體ヲ示ス長クシテ捲縮セル褐色稀レニハ黑色ノ剛毛ハ密生ス

一「セルビア」種及「シルミス」種豚ハ「ルイメニオン」<sup>6)</sup>「セルビア」<sup>7)</sup>「ブルガリオン」<sup>8)</sup>「匈牙利」ニ蕃殖ス頭ハ長ク狹クシテ胴ハ中等ノ長ヲ有シ背ハ尖銳ニシテ脚ハ中庸ノ長ナリ短キ

尾ハ強シ長クシテ捲縮セル褐色毛ハ彼此ニ赤褐色稀レニハ黑色ノ毛ヲ密生ス發育甚ダ速ナリトス大セルビア豚ハ「モンゴリクツア」種又「マンガリクツア」種ニ屬ス匈牙利ニ於テハ脂肪豚縮毛匈牙利豚トシテ「ミロス」種「ズ」種或ハ「オブレノフヒクス」種ノ名ヲ以テ蕃殖セラル大ナル白色或ハ小ナル白色及黑色アル燕腹ノ如キ「モンゴリクツア」ト區別ス

「シルミス」種ハ耳ハ尖リ多クハ直立ス大「シルミス」ハ耳ハ一側ニ懸垂ス頭ハ廣クシテ短ク鼻ハ細美ニシテ腹ハ恰モ疣狀ヲ呈シ尻ハ廣クシテ稍傾斜ス脚ハ短クシテ強力ナリ背線ノ剛毛ハ發育微弱ナリ

「モンゴリクツア」種ハ非常ニ克ク肥臘ス毛ハ白色殆ド銀白色ノ縮毛及灰色皮膚ハ石盤灰色ノ種々アリトス一年半乃至二年ニシテ肥臘シタル豚ハ百五十乃至二百キロ瓦ニ達ス稀レニ六乃八以上ノ仔兒ヲ産スルヲアリ

二「クロアト」種豚ハ「ツロポレル」及改良「ツロポレル」或ハ「Leder'scher」種ノ二種ニ於テ「クロアチン」「クライン」「ダルマチン」ニ蕃殖ス暗灰色ニシテ捲縮セル剛毛ハ密生セズ十月月ニシテ半肥ニ達ス肉ハ脂肪ニ比シテ増加セズ全ク脂肪肥臘ナリ改良シ

タルモノハ纖細光澤アル捲縮セル長キ剛毛ヲ生ズ其色灰色ニシテ皮膚ハ共ニ大ナル黑色斑ヲ呈ス「クロアチス」豚ハ甚ダ善良ニ早ク肥臘シ甚ダ經濟的ナルモ蓋シ蕃殖力強大ナラズ

三「ルー」メニイ種豚「モルダウエル」豚ハ概シテ小ニシテ剛毛暗色ナリ「セルビア」豚ニ比シテ發育徐々ニシテ蕃殖力弱シ尙ホ多少蕃殖ノ價值ヲ有スルモノハ「ツルカイ」ニ於ケル「ナトリツシユ」及「アルパネ」豚及露西亞及小「ポルン」國豚ナルモ既ニ幾回トナク大耳種豚ヲ以テ交叉改良セラル

二「羅馬尼」種豚ハ南伊太利南佛蘭西西班牙及瑞西ニ蕃殖スルモノニシテ軀軀概シテ小ニシテ百キロ瓦ノ重量ヲ有シ肋骨ハ扁平ニシテ甚ダ稀レニ鯉背ヲ呈スルモノアリ背ハ廣ク直ニシテ尻傾斜シ脚短シトス頭ハ短ク額ハ皺襞ヲ生シ皺ハ眼ヲ超ヘテ存ス剛毛粗ニシテ一般ニ黑色暗灰色時トシテ又恰モ火ノ如キ赤色ヲ呈スルヲアリ發育速ニシテ飼料ヲ甚ダ好ク利用ス改良英吉利豚ノ蕃殖材料ニ供用セラレタリ著名ナル種類ハ葡萄牙種佛蘭西ベリゴルドブントナル種「ボログナ」及「寧布爾」種豚ナリ

三「短耳種豚」耳ハ小ニシテ前方ニ傾斜シ或ハ上方ニ直立ス軀ハ短ク充實シ而シテ



背ハ上方ニ彎曲ス故ニ鯉背ヲ呈ス頭ハ短ク廣クシテ脚ハ適度ノ高サヲ有ス軀軀中等大ニシテ早熟種ハ南及中央獨逸并ニウングアルンニ蔓延ス

「バイエルン」豚ハ前軀稿ノ如キ黄色、後軀赤褐色乃至黑色ニシテ蕃殖力多大且ツ肥鹽力強シトス白色及赤色豚ニ等シク南「ボヘミア」上部埃太利及「ウエルテンベルク」ニ蕃殖ス「ウエルテンベルク」豚ハ支那種或ハ葡萄牙豚、及「ヂツセルターレル」或ハ「Klere'sche」豚ノ交叉蕃殖ニ依リ改良セラレタリ充分成長シタルニモノハ三百「キロ」瓦ニ達ス「Mährische」豚ハ又鯉豚ト稱シ短耳豚ト波蘭豚トノ交叉改良セラレタルモノナリ、匈牙利豚ハ「ベルク」豚山豚及「バコニエル」豚ノ二種アリ頭大ニシテ鼻長クシテ直ナリ而シテ粗大ノ骨構成ヲ示シ毛ハ帶赤色ナリ肉ハ猪ノ如ク美味ナリ大ニ欠點トスル所ハ發育遅徐ナルニアルモ既ニ幾回トナク「モンゴリクツア」及「シルミン」豚ノ血液ヲ混淆セリ匈牙利肉用豚ハ主トシテ毛ハ赤褐色ニシテ大耳豚ニ屬ス「ハム」トシテ甚ダ好ク「Sjalouther」豚ト名ヅク肉ハ風味佳良ナルモ纖維ハ稍粗大ニシテ只僅カノ脂肪ヲ夾雜ス肥鹽スレバ「モンゴリクツア」豚ヨリ重ク三年ノ豚ハ三百八十五「キロ」瓦ニ達ス

(四)大耳種豚 大耳豚或ハ懸垂耳豚ハ中央、西及北歐羅巴ニ蕃殖ス特徴ハ耳長クシテ廣ク眼ヲ超ヘテ前方ニ懸垂ス頭ハ長狹ニシテ額ハ扁平ナリ下顎ニ二ノ肉瘤(肉鈴)ヲ存ス胸ハ短ク脚ハ比較的高ク軀ハ狹ク肋骨扁平ナリ背ハ上方ニ彎曲シ所謂鯉背ヲナス剛毛ハ捲縮シ背線ニ馬ノ鬣ニ等シキ毛ヲ生ズ毛ノ色ハ帶黃白色ナルモ亦黒斑ヲ呈ス稀レニハ全ク黒色ナルアリ發育遅徐ニシテ三年ニ於テ初メテ肥鹽ヲ表スモ纖維細美ニシテ柔軟ナル佳味ノ肉ヲ生ズ軀軀大ナル豚ト稱セラル充分成長シタルモノハ〇九―一迷ノ高サ一五―二迷ノ長サ而シテ三百―四百五十「キロ」瓦ノ重量ニ達ス蕃殖力強大ニシテ通常十乃至十一頭往々二十頭ノ仔豚ヲ産スルヲアリ此遅徐ナル發育及肥鹽及大量ノ飼料ヲ要スルヲ改良センガ爲メニ幾回トナク早熟種ノ英吉利豚ヲ以テ交叉改良セリ故ニ交叉改良セラレザル大耳豚ハ稀レニ發見スルニ至レリ波蘭ニ於ケル大波蘭豚ハ交叉ノ度僅少ナルモノトス、獨逸「マルシユ」豚「イユトランド」豚「ホルスタイン」豚「ウエストフエルト」豚等ハ卓越ナル薰腿ヲ以テ有名ナリ「マイスチル」豚ハ大及中英吉利豚ヲ以テ交叉改良シタルモノニシテ早熟種ニシテ蕃殖力強大ナリ且ツ柔軟ナル肉及脂肪ヲ藏ス鼻ハ直ニシテ耳ハ前方ニ向ヒ背ハ直ニシ

テ肋骨ハ好ク彎曲シ皮膚及毛ハ白色ナルモ帶青或ハ銀灰色ノ皮膚斑點ヲ呈スルヲアリ、佛蘭西豚ハ「クラオンナイス豚」、「チャンバグチー」豚、「ボイトウ豚」、「アウゲロンチー」豚及「ノルマン」豚、「ボウロサグチル」及「アルデンチル」豚トス往年ノ大英吉利種等ハ大耳豚ニ屬スルモノトス

(五)英國種豚 英國ニ蔓延セル豚ノ元祖ハ大耳豚種ニ屬スルモノトス前世紀ノ中葉ニ於テ「コーリンク」兄弟ニ依リ灰黑色ヲアボリタン種及印度豚ノ血縁タル小暗色葡荷牙種ヲ以テ改良セリ其改良ノ目的ハ可成の必要ナル部分ヲ發育セシメ而シテ不  
必用ノ部頭及脚ノ發育ヲ制限セントスルニアリ英國改良種ハ頭小ニシテ厚キ頬ト共ニ緊實シ咀嚼筋ハ強大ニ發育シ而シテ耳ハ短クシテ直立ス頭長ハ眼ヨリ鼻端間ニシテ大ニ改良シタルモノハ只軀長ノ十分ノ一改良セザルモノハ六分ノ一ナリ頸ハ短クシテ恰モ櫛狀ヲナセル胸ニ移行シ頸ノ限界判明ナラズ背ハ直線ヲナシ尻只僅カ傾斜ス尾ハ輕小ニシテ捲ク骨格細美ニシテ短キ脚ニ存スル筋肉ハ好ク充實豐圓ナリ皮膚ハ薄ク改良セルモノハ美ナル毛ヲ生ズ早熟ニシテ強大ナル肥膾性ヲ有ス性質溫順ニシテ克ク飼料ヲ利用シ肉及脂肪ヲ沈着スルモ氣候ノ感作ニ抵抗力弱

シトス

英吉利豚ハ純白色黑色或ハ雜色ナリトス而シテ更ニ軀ノ大小ニヨリ

A、小改良種 一、小黑色豚、二、小白色豚、

B、大改良種 三、大白色豚、

C、中等大改良種 四、雜色豚、 五、中白色豚ニ區別ス

一、小黑色豚ハ「エッセツクス種」、「ロルド種」、「ウニステルン」支那豚ノ交叉産物ニ「チアボリタン」牡豚ヲ配シタルモノニシテ特ニ早熟性ヲ有シ骨格細美ニシテ大量ノ脂肪ヲ藏ス毛及皮膚ハ灰黑色ニシテ生軀量二百キログラムトス屠殺量八十%ナリ蕃殖力中庸ニシテ通常六乃至八頭ノ仔豚ヲ産ス

「サツセツクス」及「サツフオルク」豚ハ軀軀細美ニシテ大ナル肥膾性ヲ有ス賞用スベキ價值ハ只交叉蕃殖用トナスニアリ

二、小白色種 「ウキンンドゾル」豚ハ早熟肉用種ニシテ蕃殖力強大ナラズ頭ハ狹ク耳ハ直立ス

小「ヨークシヤ」ハ頭ハ甚シク萎縮シ額骨ト鼻骨ハ直角ヲナシ所謂「モツプス」頭恰モ猿

豚

ノ面ニ類ス

「コレスヒルス」豚又小白色種ニ屬ス

三、大白色種 「ヨークシャ」豚ハ大耳豚ノ血縁ニシテ支那種、チアボリタン種及他ノ血液ヲ輸入シ幾回トナク改良セラレタルモノナリ頭ハ肥臚セザルモノニアリテハ稍長ク額ハ平坦ニシテ長ク適宜ニ長キ鼻及小ニシテ稍懸垂セル耳ヲ有ス胸ハ好ク充實シ肩間及尻ハ甚ダ廣ク軀ハ長(二―二五)迷シトス色ハ白色ナルモ屢青色斑ヲ呈スルヲアリ絹絲ノ如キ毛ハ密生ス蕃殖力強大ニシテ十頭ノ仔豚ヲ産ス産豚ハ〇九―一、二キロ瓦ヲ有ス發育甚ダ速ニシテ六―八週ニシテ十三―十七キロ瓦ニ達ス充分成長シタルモノハ三百四十或ハ以上ノ重量ヲ有ス五百―六百キロ瓦ノモノハ脂肪豚ト稱ス

改良「アイセスタ」及大「サツフオルク」豚ハ美ナル白色毛ヲ生シ皮膚ハ薔薇色ヲ呈ス頭ハ短ク耳ハ懸垂ス一歳ノ豚ハ百五十キロ瓦ノ重量ヲ有ス

「ランコロン」及「ランクアシヤイア」豚亦太白色種ニ屬ス

四、中等大ノ雜色種 ハ土産中等大ノ豚ト「チアボリタン」及支那豚トノ交叉改良物ニ

シテ改良ノ目的ハ發育速ニシテ強大ナル肥臚性ヲ生ゼシムルニアリ蕃殖力ハ他ノ英吉利豚ニ卓越ス軀軀ノ構造佳良ニシテ骨細幣美ナリトス

「バトクシヤ」豚ハ黑色ノ毛ヲ有シ頸ニ於テハ主トシテ捲縮ス額及鼻肩ノ後方及脚ニ於テハ多クハ黄色或ハ帶赤黄色ノ線若クハ斑點ヲ或ハ頭部ニ白斑ヲ存シ下脚及尾端白色ナルヲ良種ナリト云フ頭ハ廣ク短クシテ鼻ハ尖小ナリ耳ハ小ニシテ直立シ運動性ヲ有ス緊實セル頭ハ均稱ヲ示ス胸ハ廣クシテ好ク發育シ胸ハ長クシテ尻及股部ハ充實ス仔豚ハ大ナル發育力ヲ有ス一年乃至一年半ノ「バトクシヤ」ハ二百―三百キロ瓦ニ達ス一年乃至一年三ヶ月ニシテ既ニ佳美ナル肉ヲ生ズ二年ニシテ強力ナル薰肉豚トナル

「タムウォルス」或ハ赤色「バトクシヤ」豚ハ軀軀適度ノ廣ヲ有シ鼻ハ長ク皮膚ハ赤色ニ帶黑色ノ斑點ヲ生ズ

古キ「バトクシヤ」豚ハ北亞米利加ノ赤色「セルシ」或ハ Duro-jersey 豚ノ祖先ナリトニ  
五、中等大白色改良種ニ屬スルモノハ中等大「ヨークシヤ」豚及中等大「サツフオルク」豚トス

六、ポランダチヤイナ豚ハ米國在來種ト支那種及パークシヤ豚トヲ以テ交叉改良シタルモノニシテ英國種豚ニ相對シテ確實ナル体格ヲナシ且ツ蕃殖力強大ナリ多クハ黑色ニシテ鮮明ナル白斑ヲ有ス頭ハ細美ニシテ顔面稍凹ム項ハ穹隆シ背ハ長ク脚ハ細クシテ短シトス

### 三、蕃殖

蕃殖ノ目的ハ肉及薰脂肉及毛ヲ利用センガ爲メニアリ  
蕃殖用種ノ撰擇 蕃殖用種ハ牝質強健生活力活潑ニシテ遺傳力ニ富ミ該種固有ノ牝形ヲ供ヘザルベカラズ

牡豚ハ外貌貴クシテ牡ラシクナカル可ラズ頭ハ輕ク眼ハ爽快ニシテ鼻部ハ額ヨリ短クシテ好キ齒列ト共ニ強力ナルベシ下顎ハ廣ク充實シ頸ハ短厚ニシテ胴ハ深ク豊圓ナリ肩部廣ク十字亦廣ク上腿特ニ筋肉ニ富ミ毛ハ細美ナラザルベカラズ  
瑕瑾ハ次ノ如シ  
重ク肥大セル頭ニシテ眼ハ小ニシテ鈍且ツ深ク陷没シ背ハ鯉背若クバ沈背ナリトス

牝豚ハ牝ラシカラルザル可ラズ頭及軀幹牡豚ニ要スル條件ト同シキモ軀幹成ル可ク長ク勢クトモ十二ノ乳頭ヲ有セザルベカラズ概シテ十六ノ乳頭ヲ要ス殊ニ後軀ノ強力ナルヲ可トス

蕃殖用豚ハ兄弟ノ多キモノヲ撰ブベシ且ツ春生ノモノヲ可トス即チ氣候溫暖ニシテ幼時ノ發育宜シキヲ得タルモノナレバナリ唯初産ノモノハ用ヒザルニ利アリ

交尾 發育狀態及管理并ニ營養ニ關ス早熟種ノ英吉利種ハ既ニ十月ニシテ交尾セシムルヲ得晩成種ニアリテハ十二月—十四ヶ月ニシテ使用スルヲ得牡豚ハ二年—三年ニシテ生産力ノ極度ヲ示ス老キ牡豚ハ蕃殖力微弱トナルガ故ニ四年以上使用スベカラズ適度ノ時期ニ於テ去勢ヲナス母豚ハ脂肪過多ナルハ受胎困難ナリトス又六年以上使用スベカラズ

發情セル牝豚ハ精神不安トナリ飼料ヲ意ニ介セズ他豚ニ誇リ陰部潮紅腫起ス發情持續ハ三十乃至四十時間ナリ受胎セザルハ一週—二週ニシテ再發ス發情十二時—十四時ニシテ交尾セシムルヲ最モ可ナリトス又發情ハ一定ノ期節ニ來ラズ舍飼ニアリテハ通常二回仔豚ヲ産ス一産ハ三月一産ハ九月トス放牧ニアリテハ只一回

一月—二月(冬期)仔豚然ルキハ十月—十一月ノ發情トス  
 強壯ナル牡豚ハ一年ニ二十乃至三十頭ノ牝ニ又二回交尾セシムルキハ二十五乃至四十頭ノ牝ニ配ス

妊孕 妊孕中ハ飼料并ニ管理及換氣ニ注意シ衝突打撲ヲ避ケ寒氣殊ニ冷水ヲ給スベカラズ消化困難ナル飼料或ハ風氣ヲ生シ易キ飼料過熱ナル飼料ハ苟モ給スベカラズ交尾後十六—十八週ニテ粗糲セル敷稿ヲ多量ニ供ス産前少時母豚ハ自ら四所ヲ造リ伏臥ス然ルキハ陣痛發來シ五—十分ヲ經テ初メノ胎兒産出ス通常八—十二—十八頭ノ仔ヲ産ス産機ノ反覆スルニ由リ母豚ハ大ニ疲勞スルガ故ニ酸性乳汁或ハ水及穀粉亞麻仁油餅ヲ給シ看護ニ注意ス最後ノ胎兒出産後十五分—三十分ニシテ娩隨ヲ排出ス仔豚ハ種族及個體ニ由ルモ〇六—二キロ瓦ノ重量トス而シテ産ハ概シテ容易ナルモ稀レニハ救助ヲ必要スルコアリ臍帶ハ自然ニ切離スルヲ常トス乳頭ノ數ヨリ仔豚ノ數多キトキハ弱キ仔豚ハ他ノ母豚ニヨリ哺乳セシムルカ或ハ人工飼育ヲナス若クバ販賣ス

母豚ヲ失ヒ人工的ニ飼育スルキハ初メ一日ハ只一或ハ二匙ノ牛乳ヲ與フ二日

ニ於テハ既ニ自ラ吸飲スルニ至ル三日ニ於テハ既ニ〇五リートルノ水ヲ加ヘ煮沸シタル乳ヲ與フ四週迄軟キ小麥粉及肉汁ヲ附加ス六週迄ハ肉汁及煮タル馬鈴薯ヲ附加ス八週迄ハ三頭ノ乳豚ニ毎三時四五〇ノ小麥粉一五〇ノ大麥粉三六ノ燕麥粉及五〇ノ玉蜀黍粉五〇〇瓦ノ煮タル馬鈴薯燕麥及甘藍ノ葉ヲ「リートル」ノ渣乳ヲ半「リートル」ノ水ヲ以テ稀釋シタルモノト共ニ與フ其他骨粉及白堊ヲ附加ス以上ノ粉類ハ煎煮シ煎汁ト共ニ用フ

仔豚ハ最初稿ヲ充タル籃ニ入レ温所ニ置ク而シテ哺乳シ得ルニ至レバ母ニ接ス母安靜トナレバ六乃至八週ニシテ離乳スルモ屠殺仔豚ハ只三乃至四週哺乳セシム母ハ始終同ヲ營養ヲ維持セシムレバ泌乳可良ニシテ乳質亦良シトス之ニ賞用スベキハ大麥粉或ハ燕麥粉穀酒造糟煮タル馬鈴薯乳等トス甚ダ賞用スベキハ放牧ナリ十四日乃至三週ニシテ仔豚ハ微温乳汁ヲ一日四回與フ四週後ハ乳清ヲ以テ稀釋シタル渣乳及穀粉或ハ粉碎セル麵包ト共ニ與フ三乃至四ヶ月ハ大ニ注意シ三乃至六瓦ノ骨粉或ハ六乃至八瓦ノ白堊粉ヲ一日一頭ニ與フ將來種用ニ供セザル仔豚ハ四乃至五週ニシテ去勢スベシ

生牝量千キロ瓦ノ豚ニ毎日要スル可消化營養素ノ標準次ノ如シ(レノマン氏ニ依ル)

Iハ種用 IIハ肥臘トス(キロ瓦トス)

年 月	生牝量		乾 質 物		可 溶		化		總 養 素		營養 比例			
	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II				
二月—三月	20	20	44	44	7.6	7.6	1.0	1.0	28.0	23.0	38.0	38.0	1:4.0	4.0
三月—五月	45	50	35	35	5.0	5.0	0.8	0.8	23.1	23.1	30.0	30.0	1:5.0	5.0
五月—六月	55	65	32	33	3.7	4.3	0.4	0.6	21.3	22.3	26.0	28.0	1:6.0	5.5
六月—八月	80	90	28	30	2.8	3.6	0.3	0.4	18.7	20.5	22.2	25.1	1:7.0	6.0
八月—十二月	120	130	25	26	2.1	3.0	0.2	0.3	15.3	18.3	17.9	22.0	1:7.5	6.4

二月—十月ニシテ生牝量二十乃至九十キロ瓦ノ豚十頭ニハ毎日次ノ食量ヲ要ス十五キロ瓦ノ全乳二十乃至四十キロ瓦ノ渣乳三十乃至七十キロ瓦ノ馬

鈴薯三十乃至五十キロ瓦ノ燕菁三乃至五キロ瓦ノ大麥粉二乃至二五キロ瓦ノ玉蜀黍二乃至六キロ瓦ノ豌豆一乃至五キロ瓦ノライ麥穀二乃至五キロ瓦ノ飼料粉二キロ瓦ノ米粉二キロ瓦ノ落花生餅十乃至二十キロ瓦ノトルフメールメラッセー〇五キロ瓦ノ麥芽二十五キロ瓦ノゲソイエルト五キロ瓦ノ煮沸シタル馬鈴薯〇五キロ瓦ノ肉粉ヲ要ス

### 四、飼 養

乾芻及稿ハ不適當ナリ只穢稿若クハ少量ノ水ト共ニ煮タル乾芻ヲ短截シテ給スルヲアリ豚ノ飼料トシテハ麥酒糟及ブランドーシユレンペーヲ利用スベシ消化容易ナル糟ハ十頭ニ一日十キロ瓦窒素欠乏ノ飼糧ニ附加ス(燕菁馬鈴薯ブランドーシユレンペー)ハ水分多キトキハ若キ豚ニ給スベカラズ而シテ可成的新鮮ナルモノヲ撰ビ穀實ヲ混與ス或ハ又蒸シタル馬鈴薯ト共ニ與フ麥芽三一五キロ瓦又良キ飼料ナリ燕菁ハ窒素質多量ノ飼料殊ニ好キハ肉粉(一キロ瓦)トルフメールメラッセー(十乃至二十キロ瓦)ヲ混與スルニアリ油餅(五キロ瓦)ハ附加食トシテ又病豚ニ効アリトス渣乳十乃至三十キロ瓦又ハ乳清百乃至百二十キロ瓦ハ肥臘豚ニ大効アリトス

馬鈴薯十乃至二十五キロ瓦、蕪菁十乃至三十キロ瓦ハ壓碎シ而シテ煮テ與フ、胡蘿蔔ハ佳味ノ肉ヲ生ズルモ馬鈴薯ハ之ニ反ス

赤苜蓿「ル」サン、雜草等ノ生草ハ利益ナル豚飼料ナリ、果實及覆盆子酒製造殘渣亦給與スルヲ得、生草ハ穀粉及根菜等ト混與スレバ殊ニ宜シトス

穀實五乃至十キロ瓦ハ豚飼料トシテ善良ナルモノニシテ玉蜀黍ハ佳良ナル肉ヲ附與ス、其它大麥、豌豆、蕎麥等亦宜シ、穀實ハ粉碎シテ與ヘ決シテ煮テ與フベカラズ即チ蛋白質ヲ凝固セシメ消化シ難カラシメ消化ヲ促進スル種々ノ醱酵素ヲ無効ナラシム

小麥及ライ麥穀五キロ瓦ハ磷酸含有ニヨリ特ニ若キ豚ニ効アリ、亞麻仁ハ附加食トシテ與フ糠及ビ「Hull」五乃至十キロ瓦ハ溫湯或ハ溫キ「シユレンベ」ト共ニ與フ糠及穀ハ適當ナルモ軟弱ナル肉ヲ生ズ、豚ハ大量ノ飼糧ヲ要スルモノニシテ且ツ營養物ハ容易ニ消化セラル、狀態ニ於テ給セラル、ナラバ消化速カナリトス、油餅ハ粗碎シ水ニ溶カシテ與フ穀實ハ壓碎或ハ壓潰シテ用ユ蒸シタル馬鈴薯、生草、粉碎シタル穀實ハ乳清ト共ニ與フベシ

豚ノ飼料ハ糜粥ノ如ク稀薄ニシテ與フ即チ乾質物一分ニ水七乃至八分ノ割合ニナスベシ、乾飼料ヲ與ヘタル後ハ大量ノ飲水ヲ給セザルベカラズ一日ニ要スル可消化營養素次ノ如シ

百五十キロ瓦ノ中等量ノ

泌乳母豚

二二 二五 〇四 一五五 一九〇 一六六

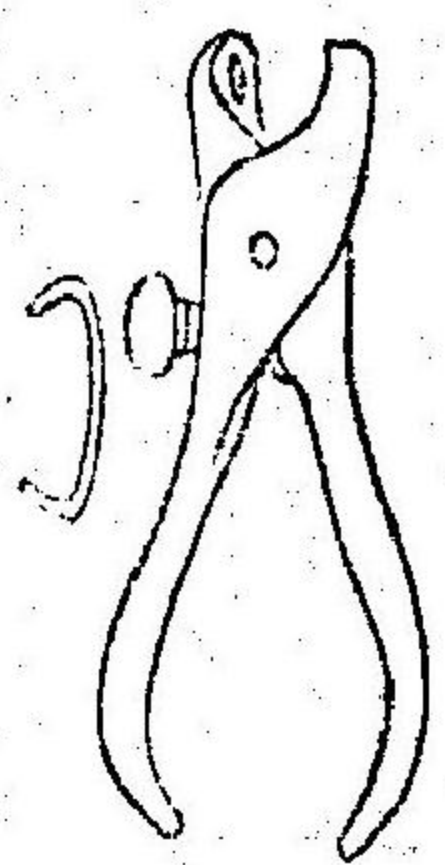
厩舎飼養ハ浪費的ナリ、牧場飼料ハ廉ニシテ正規ノ營養ヲ營ムヲ得、牧場ニハ樺及山毛櫸樹ヲ植ユベシ、九月中旬―十月初旬ヨリ九週―十一週放牧スルモノニシテ八月―四年ノ豚ニハ甚ダ利益アリトス、樺實ハ一頭ニ五―八ヘクトリートルヲ要ス、豚ハ甚ダシク土地ヲ堀ルヲ妨グル爲メニ鼻中隔ニ鉗子ヲ以テ針金ノ線ヲ應用スル

トアリ

豚ノ食慾不振ハ主トシテ鹽分欠乏ヨリ來ル多キガ故ニ毎日一頭ニ三乃至十瓦ノ食鹽ヲ給スベシ、又消化ヲ鼓舞スル爲メニ炭粉ヲ時々給與ス、肥臘豚ニハ

圖七十二百第

豚



一週三乃至四回十八瓦ノ安質母尼或砒石ヲ與フベシ

五、管理

一人ノ牧男ハ四十乃至五十頭ノ若キ豚或ハ十二乃至二十頭ノ種用豚若クバ十五乃至二十五頭ノ肥臘豚一ノ牧女ハ三十乃至四十頭ノ若キ豚或ハ十乃至十二頭ノ種用豚若クバ十二乃至十五頭ノ肥臘豚ヲ看護スルヲ得又一ノ牧童ハ百頭四人ノ牧童ハ五百頭ヲ看守スルヲ得ルモノトス

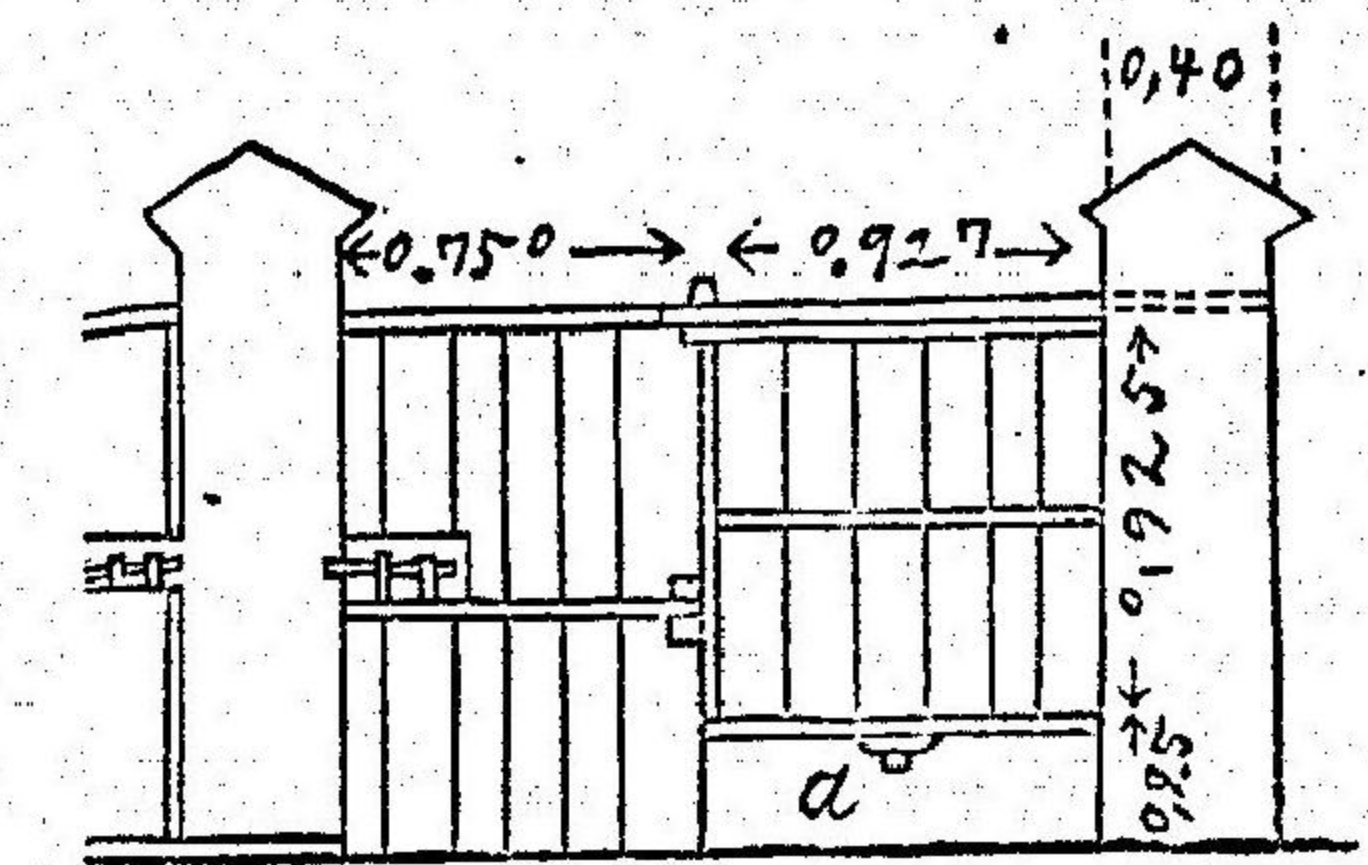


圖 八十二百 第  
槽飼ハ(a)

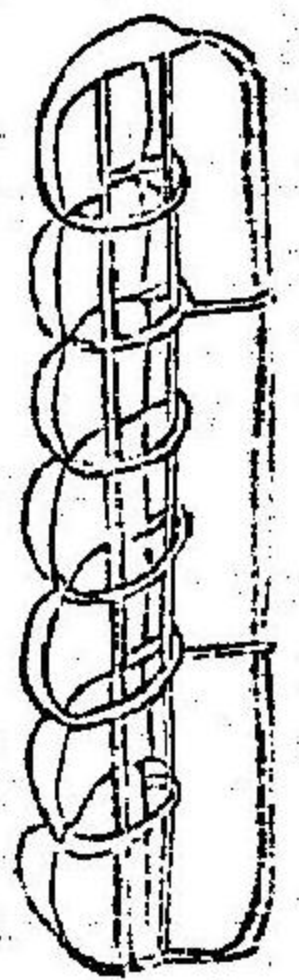
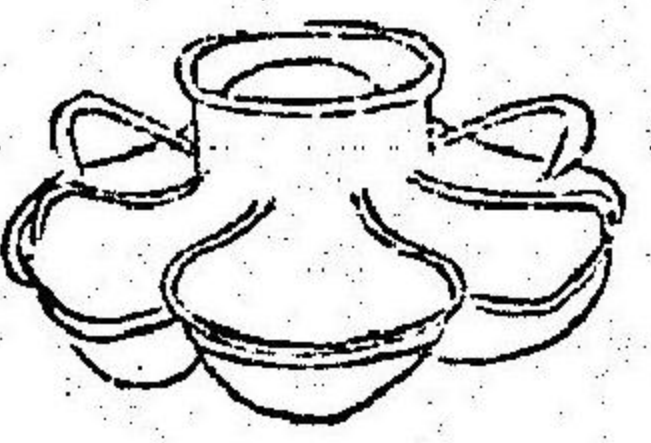
豚舎ハ仔豚ト共ニ三、四—三、九殊ニ大ナル種類ニアリテハ四—四、八肥臘豚ハ二種牡豚ハ三、四—四、若キ豚ハ〇、六—一—一、二平方メートルノ面積ヲ要ス豚舎ノ高サハ二、

豚舎 (Schwene stallungen, hog-sty, stable enclosures, por-  
oils) ハ乾燥ニシテ不良ノ天候ヲ豫防セザルベカラズ各豚房ハ開閉自由ナル戸ヲ設ク且ツ各豚舎ノ一隅ニ貯水場ヲ設ク新鮮ナル水ヲ導クベシ

二—三迷トス仔豚ノ壓死ヲ保護スル爲メニ格子ヲ以テ母豚ノ室ヨリ〇、五—〇、六平方メートル分割ス只一或ハ二豚ニアリテハ籠ヲ用キテ可ナリ飼槽ハ木製或ハ鋳藥セル鉄製ノモノヲ用ユ通常二房ニ一個トス而シテ格子戸ノ下部ニ設ク挿入容易ナラシム幼豚ニハ集合飼槽ヲ使用ス

圖 十二百 第  
槽飼

圖 九十二百 第  
槽飼



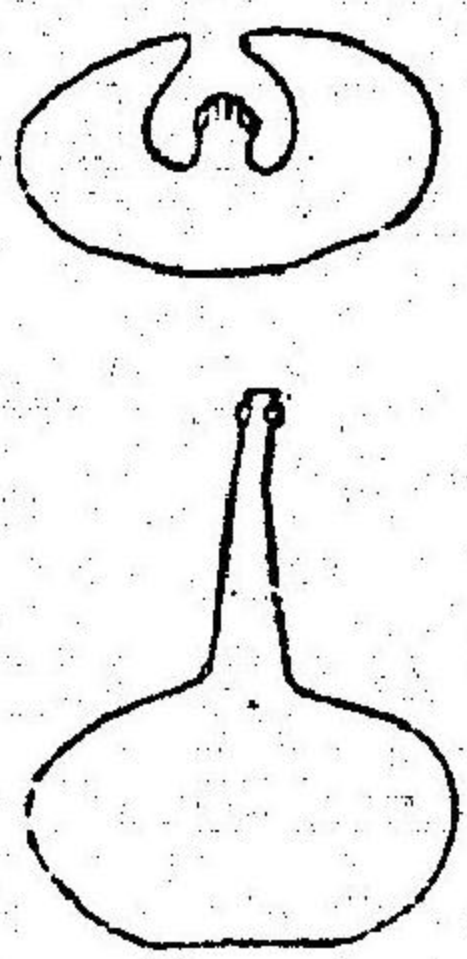
豚舎ハ毎日洗滌シ攝氏十二、五乃至十五度仔豚ヲ有セル母豚ニアリテハ十八度トス床板ニハ毎日一—一、五—二、五キロ瓦一ヶ年ニ三、五—五、五—九ヶノ稿或ハ樹皮若クハ乾燥セル鋸屑或ハ〇、四キロ瓦ノ泥炭ヲ撒布ス夏期ハ只少量ノ稿若クハ乾燥セル砂ヲ撒布ス酷暑ノ候ニアリテハ毎日全身ヲ洗滌スルカ或ハ沐浴セシムベシ給食時ハ回数ヲ多クスルヲ良シトス通常幼豚及母豚ハ三回仔豚及肥臘豚ハ四回ト

豚

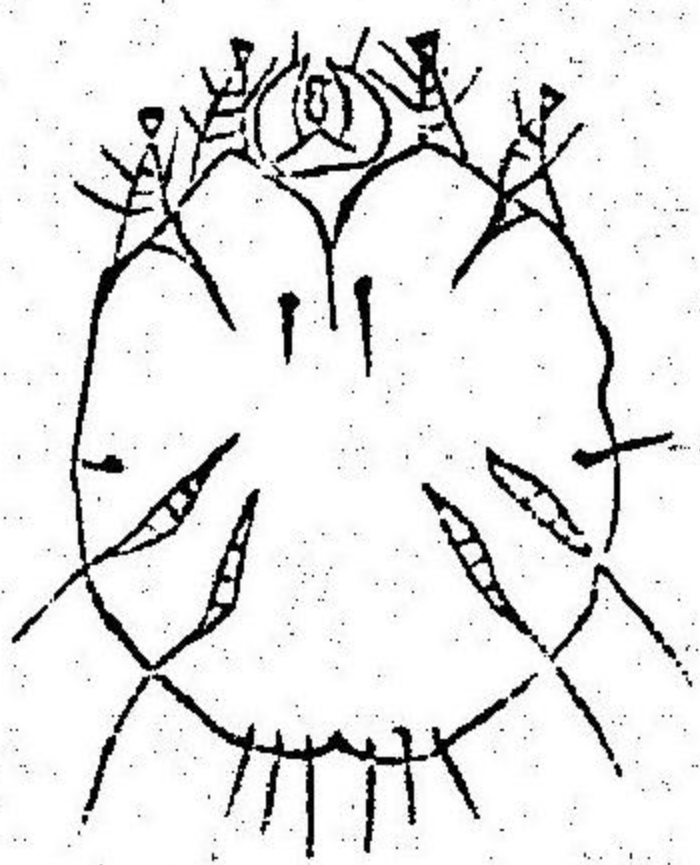


管理不良ナルルキハ多数ノ寄生虫ヲ宿スニ至ル豚ノ虱 (*Haematopinus suis* L.) ハ耳ノ後方頸及背線ノ皮膚ニ寄生ス囊虫 (*Ostercercus cellulosea*) ハ *Francia solium* ノ幼虫ニシテ肝心臓筋皮下織等ニ至リ囊虫トナリ囊虫症ヲ發ス豚ノ疥癬ハ穿隧疥癬

第三百一十一圖 虫 囊



第三十二圖 虫 疥 疥



虫ニ由ル旋毛虫 (*Trichina spiralis*) ハ筋肉ニ寄生シ旋毛虫症ヲ發ス

豚ノ主ナル疾病ハ脾脫疽、豚丹毒 (パスートル) 氏ノ豫防注射ヲナス、豚疫、豚ベスト等トス

幼豚ハ主トシテ舍飼ヲナスモノニシテ風氣ヲ發シ易キ飼料或ハ寒濕ノ天候ニアリテハ下痢ヲ發スルコトアリ又骨軟或ハ骨質軟化ヲ生ズルコトアリ埃太利ニアリテハ糞

虫ハ八日獨逸國ニテハ屠殺豚ニアリテハ十四日又屠殺豚ノ結核及旋毛虫ハ十四日豚疫十日ノ擔保期トス

### 六、用途

肥臘ノ目的ハ直ニ肉ヲ食用センガ爲メト薰肉ヲ製センガ爲メニアリ薰肉用ニハ一歳半乃至二歳ノ豚ヲ良シトス老豚ハ肉纖維粗大ニシテ柔軟ナリトス

肥臘豚ハ早時去勢ヲナセバ成績佳良ナリ肥臘時中ハ必要量ノ飼料ヲ給セザルベカラズ秋或ハ冬ヲ良シトスルモ森林肥臘ニアリテハ夏及秋トス

肥臘時ハ攝氏十二乃至十五度ナル暗黒ノ場所ニテ養フベシ然ルキハ不利益ナル神經興奮ヲ避クルヲ得甚ダ費用スベキハ一房ニ二頭ヲ收容シ毎日四―五回飼料ヲ給スルニアリ

肥臘飼料ハ乳清渣乳等ニ穀實ヲ混與スルニアリ、ブランドー、シユレンペー及麥酒槽ハ穀實ト共ニ用ユ、玉蜀黍、大麥、豌豆等宜シトス燕麥粉及穀ハ時ニ用ヒラル、コトアリ穀實ハ價不廉ナルガ故ニ只肥臘ノ末期ニ於テ附加食トシテ蒸シタル馬鈴薯、球根、ブランドー、シユレンペー等ト共ニ與フ、油餅ハ一キロ瓦以内麥芽ハ二キロ瓦以内ヲ生

豚量一〇〇キログラムニ付與フ、蛋白含有(八三%)ノ肉粉或ハ、リービヒ氏ノ肉越幾斯ヲ用ユ

一、キログラムノ肉粉ハ一乃至一ト四分ノ一、キログラムノ豚量ヲ生ズ肉粉ノ附加食トシタル馬鈴薯ハ又有効ナリ穀質ハ必要ナルニアラズ二十五乃至五十キログラムノ豚ハ毎日〇・五キログラムノ肉粉〇・五キログラムノ馬鈴薯ヲ要ス、迅速ナル肥豚ニ向テハ〇・三―〇・五キログラムノ肉粉七―十一キログラムノ馬鈴薯ヲ百キログラムノ豚ニ與フルモノニシテ尙ホ食鹽及白堊ヲ混スベシ

肥豚ノ第一期ニアリテハ速ニ豚重ヲ増加シ細胞組織及臟器ノ發育ヲ來シ第二期ニアリテハ細胞ハ脂肪組織トナル第三期ノ當初核質脂肪ハ益増加シ大ニ肥滿ス爲メニ種々ノ疾病ニ罹リ易シトス

肥豚ハ年齡種族、營養及個體ニ由リ其持續期日種々ナリト雖ドモ概シテ第一期ノ持續ハ六乃至八第二期三乃至五第三期三週トス

千キログラムノ肥豚豚ニ毎日要スル可消化營養素次ノ如シ

乾質物      窒素質      脂肪      無窒素質      總營養素      營養比例

第一期	三六	四五	〇・七	二五・〇	三一・二	一：五・九
第二期	三二	四〇	〇・五	二四・〇	二九・二	一：六・二
第三期	二五	二七	〇・四	一八・〇	二二・二	一：七・〇

健康ヲ維持スル爲メニ若キ豚ニハ毎日白堊(八―十瓦)或ハ木灰ヲ與フ石灰欠乏ノ飼料ニハ磷酸ヲ與フ其他食鹽(三―十瓦)ヲ與フ

肥豚性ヲ有スル群豚ニアリテハ四百キログラムノ飼料乾質物ハ百キログラムノ豚重ヲ生ズ閣牛ハ之ニ反シテ十二―十三キログラムノ乾質物ニテ一キログラムノ肉、割羊ハ九キログラムニテ一キログラムヲ生ズ屠殺量ハ比較的牛ヨリ大ナリトス如何トナレバ必要ナル部分多シトス胃及腸含有物ハ牛ヨリ比較的少シトス肉量ト生豚量トノ比ハ豚ニアリテハ七ニ付十、羊ニアリテハ五ニ付十、牛ニアリテハ六ニ付十トス

屠殺量ハ豚壁脂肪、毛四―八%ニシテ惡シキ肥豚豚七十乃至七十五%善良ナル肥豚豚ハ七十六―八十三%而シテ充分肥豚シタル豚ハ八十五乃至九十%ノ肉トス善良ナル脂肪豚ハ五十乃至五十四%ノ脂肪ニシテ薰肉ハ只四十乃至四十五%トス

六ヶ月二十一日ノ、マイツスナル豚(m)及七ヶ月四日ノ、ヨークシャ豚(y)ニ於ケル

必要及不必要部次ノ如シ

生 軀 量	肉	皮 脂	血 液	肝、肺	腸	腸 脂 肪	腸 含 有 物	屠 殺 損 耗	屠 殺 量
				舌					(肉 及 脂 肪)
m	一〇二五	八四	四九	二〇	三三	四〇	一三	二五	〇、五
y	一一七〇	九六	五〇	二五	三五	三五	二〇	二〇	二五
									一〇、一

豚ノ成熟シタル剛毛ハ非常ニ長ク且ツ彈力ヲ有ス六月ニ於テ引キ抜キ刷毛ニ製造ス不熟ノ剛毛ハ屠殺後引キ抜クモノニシテ價值高カラズ如何トナレバ彈力性僅少ナリトス

燻腿ノ製造 燻腿ノ製造ニ當リ次ノ物品ヲ準備セザルベカラズ

(建物) 屠殺場一 燻烟室一棟、非戸一 土造竈一、

(備品) 屠殺用ナイフ、 鉋一挺 節切刀中小各一本、 肉漬樽三個、 半切桶一個、 骨鋸一挺、 櫛桶一荷、 大釜一個、 豚油製造釜一個、 豚油濾過用篩一個、

豚油貯藏甕二三個、 鍍銀延用短棒一個、 秤二個、 一升樽一個、 四斗樽二三個、 食鹽塗擦用木片一、二個、 被毛拔加減檢用櫛棒一本、

(消耗品) 小木札若干、 鋸切屑若干、 麻繩若干、 薪若干、 糞繩若干、

(原料) 豚若干、 砂糖若干、 食鹽若干、 硝石若干、 實胡椒若干、 肉豆蔻若干、

原料中豚ハバクシヤ豚及、ヨクシヤ豚孰レニテモ宜シキモ經驗ニ徴スレバ「ヨクシヤ」豚ヲ優レリトス其理ハ拔毛容易ニシテ皮膚美麗一皮下脂肪ノ固定速カナル故ナリ又此脂肪ノ固定力ハ飼料ノ如何ニアリ甘藷ヲ以テ飼養セシモノハ固定力速ニ且ツ確實ナリトス

燻腿製造ニ供用スル豚ハ生後十三、四ヶ月以上ヲ經過シ生軀量十六貫乃至二十五貫ノモノヲ適當ナリトスルモ之ヨリ幼ニシテ輕キモノ若クハ重キモノハ或ハ老タルモノト雖ドモ製造上決シテ差岡ナシ

製造ノ時期ハ十二月ヨリ翌年三月頃迄ヲ適當トス就中寒冷ノ候製造ノモノハ保存期長シトス溫暖ノ候製造スレバ保存期短シ即チ腐敗ノ恐レアリ

豚ヲ屠殺スルニハ屠殺前二十四時絶食セシメ而シテ豚ヲ屠殺場ニ連レ行キ後肢(左右何レニテモ宜シ)ヲ取り兩後肢ヲ堅固ナル繩ニテ結紮シ然ル後後肢ト同様ニ前肢ヲ結紮シ前後肢ヲ結紮シタル繩ヲ手ニ取り前後肢ノ動搖セザル様保定シ豚ノ右側ヲ下ニシテ助手ヲシテ臀部及前後肢ノ動搖セザル様固定セシメ

豚

術者ハ屠殺用ナイフヲ頸下部ニ刺入シ頸動脈ヲ切り出血セシメ屠殺ス此際後  
軀ヲ高クシテ全軀ヲ壓シ血液ヲ充分ニ流出セシムベシ若シ血液殘留スルキハ  
腐敗菌侵入繁殖シ易ク從テ腐敗ノ恐レアリ

拔毛 屠殺シタル豚ヲ半切桶ニ入レ四肢ヲ結紮セル細ヲ解除シ豫メ釜ニテ沸  
騰シツ、アル湯ヲ桶ニ汲ミ取り水ヲ柄杓ニテ三四杯注加シテ攪拌シ桶ハ一斗  
五升入ニシテ八分目位迄湯ヲ充ス柄杓トハ五合柄杓ナリ(溫度ハセメルシユ  
ス氏)テルモメートル九十度トナシタルモノニシテ豚軀ノ上部全軀ニ注瀉シ直  
ニ一人ハ柄杓ヲ以テ其注瀉シクル湯ヲ豚軀ニ不斷注瀉シ一人ハ被毛拔加減檢  
用櫛棒ヲ以テ軀ノ各部ヲ突キ廻シテ各部ノ被毛容易ニ拔去スルニ至ラバ軀ヲ  
轉倒ス即チ上トナリタル方ヲ下トナシ前ノ如ク操作シ容易ニ拔毛スルニ至ラ  
バ直ニ半切桶ヨリ取出シ手又ハナイフヲ以テ被毛ヲ除去スベシ此操作ハ可及  
的迅速ニナスコト肝要ナリ半切桶ヨリ取出シテ後拔毛シ得ザル部分アルキハ熱  
湯ヲ注クトキハ容易ニ拔毛シ得ルナリ  
此作業ハ大ニ加減アルモノニシテ若シ熱ニ失スルトキハ拔毛スルコト能ハズ熱

度不足スルトキハ容易ニ拔毛スルコト能ハザルニ至ル其成書ニ依レバ攝氏九十  
度ノ溫ニ十乃至十五分間浸ストアルモノ之レ實ニ危險ナルモノニシテ此ノ如ク  
長時間浸ストキハ深部迄煮ヘ渡リテ到底拔毛ノ目的ヲ達スルコト能ハザルニ至  
ル注意スベシ

四分軀ニ切斷スルコト 脫毛シテ奇麗ニナシタルモノヲ刀ヲ以テ頸ノ諸筋ヲ  
橫斷シ後頭載域關節ヲ脫シ御仰臥セシメ屠殺用ナイフヲ以テ尾根ヨリ白線ニ  
沿フテ(牡)ナレバ陰筒ヲ左或ハ右ニ避ク腹胸部頸ノ切斷面迄皮膚ヲ切割シ次デ  
耻骨縫際ヲ縱斷シ亞テ腹筋及胸部ニ至リ胸骨ヲ縱斷シ兩後肢内股部ヲ兩手ヲ  
以テ壓シテ之ヲ開キ直ニ又胸骨ノ切斷面ニ刀ヲ入レテ之ヲ開ク然ル後内臟ヲ  
摘出シ腹膜下脂肪ヲ腎臟ト共ニ摘出シ第三腰椎ノ部ヨリ橫斷シ前後ノ二分軀  
トナシ後ノモノハ臀部ヲ下ニシテ腰椎ノ橫斷面ヨリ鉈ヲ以テ尾椎ニ至ル迄縱  
斷シ後二分軀トナシ前ノモノハ頸部ノ切斷面ヲ下ニシ腰椎ノ正中ヲ頸椎迄縱  
斷シテ前二分軀トナス此レ即チ四分軀ニシテ之ヲ二十四時間懸吊スベシ  
燻腿用形狀ニ切り調フルコト 後一分軀ニアリテハ脛骨下端即チアヒレス腱

ノ跟骨附着ノ上部ニ於テ該腱ヲ切斷シ脛骨周圍ノ筋ヲ切り骨ハ鋸斷シ其切斷面ノ上部ニ於テ皮膚ヲ穿孔シ麻繩ヲ通シ兩端ヲ結びテ吊スニ便ナラシム而シテ腰椎薦骨尾椎及耻骨ノ半分ヲ鋸ヲ以テ除去シ形チ好ク筋肉脂肪及皮膚ノ一部ヲ除去ス

前一分躰ハ豚躰ノ大小ニヨリ二片或ハ三片ノ燻肉ヲ得之モ後一分躰ト同様ニ麻繩ヲ以テ吊ス様ニナスベシ

食鹽及硝石塗擦 前記ノ操作終レバ年月日番號斤量ヲ記載セル小木札ヲ附ス之レ後日漬換スルキ等ニ最モ必要ナリ

此準備終レバ硝石ヲ皮膚及筋肉面ニ撒布シ隈クナ塗擦ス其量ハ大約一斤ニ對シニ瓦位トス次ニ食鹽ヲ塗込ム其量ハ一斤ニ對シ大約二十匁位ニシテ正確ニ測定スルヲ得ベキモノニアラス所謂荒目度ナリ食鹽ヲ擦入スルニハ最初手ニ食鹽ヲ握リ克ク塗込ミ後食鹽塗擦用木片ヲ以テ皮膚及筋肉面ニ充分ニ塗擦ス其時間ハ小ナルモノハ十分乃至十五分間大ナルモノハ之ニ準テ長時ヲ要ス硝石ヲ塗擦スル所以ハ含有スル酸素ヲ肉ニ作用セシメ常ニ新鮮ナル色澤ヲ保

存セシムルニアリ

食鹽ハ水分ヲ脱出シ「プロテイン」ヲ凝固セシムル効力アルガ故ニ防腐力ヲ有スルニ由リ應用ス

食鹽壓ニスルヲ 硝石及食鹽ヲ塗擦シタル肉ハ用意シタル肉漬桶ニ入レ其上ニ蓋ヲナシ小石ヲシテ滿面ニ載セ普通ノ大サノモノハ四、五日位大ナルモノハ七日間鹽壓トナシ食鹽ノ克ク深部浸漬シ居ルヤ否ヲ檢シテ左ノ藥液ニ浸ス藥液トハ 水六斗、食鹽七升、硝石八十匁、砂糖(シロヨタ)二斤、中白三斤五斤ノ混液ニシテ之ヲ釜ニ入レ沸騰セシメテ桶ニ入レ直ニ次ノ藥品ヲ加ヘ一夜間冷却スベシ

實胡椒八十匁、肉豆蔻八十匁、

藥液中ニ鹽肉ヲ浸漬スルヲ 前記藥液充分冷却シタルキハ前ノ鹽肉ヲ藥液中ニ移シ浸ス其時ハ筋肉面ヲ上ニ向ハシムベシ而シテ又其上ニ蓋ヲナシ小石ノ重ヲナス藥液中ニ浸漬セル間ハ三日目位ニ漬ケタル肉ヲ上下ニ繰リ換ヘルヲ肝要ナリ若シ之ヲナサルキハ藥液ガ滿面均一ニ浸ミ入ラザル故ナリ浸漬

日數ハ一定セザレモ二斤ヨリ四斤迄位ノモノナレバ七日間、四斤ヨリ八九斤位ナレバ十一日位ナレモ成ル可ク長キヲ良シトス  
 藥液ヨリ取り出し汚物ヲ除去スルコト 藥液浸漬ヲ了リタル片ハ之ヲ取り出し三時間許リ清水ニ浸シ若干ノ鹽抜ヲナシ後皮膚面筋肉面ヲ「サ」ラヲ以テ克ク摩擦シ汚物ヲ除去シ而シテ皺襞延用短棒ヲ以テ皮膚面ノ皺ヲ延シテ結締織脂肪筋肉ノ一部ヲ除去スベキ必要アラバ之ヲ除去シ形ヲ恰好ニナシ一夜間吊シ置クベシ

燻烟室ニ入ル、コト 燻烟室ハ土塗ニシテ地盤ハ「セメント」ヲ以テ塗り天井ハ土塗ニテモ板張ニテモ可ナシ其面ハ任意トス天井ノ烟出ハ少クモ四五ヶ所穿ツベシ壁ノ側方ニハ地上ヨリ三尺位ノ所ニ小孔ヲ設ク而シテ天井裏ニハ釘ヲ打附ケ肉片ヲ懸クルニ備フ

而シテ前記ノ肉ヲ燻烟室ニ懸ケ鋸屑杜松或ハ玉蜀黍ナレバ尚ホ良シヲ布キテ中央ニ點火ス然ル片ハ大抵一晝夜ニシテ燻盡ス其時ニハ又鋸屑ヲ布キ點火ス右ノ如ク反覆時々注意シ燻烟ニヨル着色程度ヲ觀察スルコト最モ肝要ナリ着色ノ程度ハ一定スルモノニアラズ從テ其日數モ豫定シ難シ寒氣強キ時ハ燻烟ニヨリ着色スルコト遲シト雖トモ季候暖ナル片ハ着色速カナルガ如シ故ニ燻烟ノ日數ヲ強イテ現ハス片ハ一斤六合ヨリ四斤迄及四斤位ヨリ八斤迄ハ六日乃至七日ニシテ可ナラン

燻腿肉貯藏ノコト 燻烟ヲ了シタル肉ハ清潔ナル布片ヲ以テ能ク拭ヒ然ル後豚脂ヲ皮膚面及筋肉面ニ塗布シテ新聞紙若クハ巴刺資油紙ニテ包圍シ冷氣強キ室ニ吊スベシ此ノ如クスルトキハ二年間保存スルヲ得夏期ニテ氷室ノ設ケナキ片ハ適當ノ方法ヲ講スベシ

製脂法 燻腿製造ニ豚ヲ屠殺スレバ必ず脂肪ノ切屑ヲ生ズ故ニ經濟上之ヲ利用シテ豚脂ヲ製スベシ其法ハ屠殺切斷ノ際各部ニ蓄積セル脂肪ヲ採集シ細切シ釜ニ入レ文火ニテ不斷杓子ヲ以テ攪拌シツ、加熱熔融セシメタルモノヲ布篩ニテ濾過シ尙叮嚀ニセバ絹篩ニ濾過スル片ハ精良ノ脂肪ヲ得ベシ加熱ノ際其度ヲ失シ攪拌ヲ怠ル片ハ釜底ニ焦附キ褐色ニ變リ焦臭ヲ呈スルヲ以テ注意スベシ

漚過シタル豚脂ハ甕若クハ鉄葉罐ニ入レ貯フベシ豚脂ハ應用廣ク工業界、醫界  
及西洋料理ニ使用ス

家禽

家禽ノ肉及卵ハ甚ダ貴重ナル營養品トス家禽(Gefügel, Poultry, Volaille, Volatiles)殊ニ鷄  
ハ品質優等ナル脂肪ヲ有ス羽毛ハ枕或ハ羽筆若クハ裝飾ニ應用セララル尙ホ排泄物  
并ニ羽毛ハ貴重ナル肥料材料ナリ

一 鷄

鷄ノ種族及蕃殖、管理并ニ用途ニ付論述セントス

鷄ノ種族

鷄ノ原種ハ東印度ノバンキフア鷄(Gallus bankiva Temm)ナリ現今全世界各國鷄ヲ飼育  
セザルナク從テ種類多シトス依テ地理學上ノ傳播ニヨリ次ノ如ク區別ス

- A、毛冠ノナキ種類、一、亞細亞種、二、英吉利種、三、地中海沿岸種、四、亞米利加種
- B、毛冠ヲ有セル種類、五、佛蘭西白耳義種、六、固有毛冠種
- C、其他ノ種類

A、無毛冠種

一、亞細亞種

(イ)羽毛脚 コーチンシナ鷄ハ千八百四十三年ニ英國ニ輸入セリ軀軀重大殊ニ羽毛  
闊キガ故一層圓キ軀形ヲ呈ス頭ハ比較的小ニシテ鷄冠ハ單冠ニシテ鋸齒狀ヲナシ  
大サ中等ナリ尾及翼ハ短ク脚ハ黃色ニシテ羽毛ヲ生ズ全體ノ色ハ單色ニシテ黃色  
白色或ハ異色ノ不明ニ混淆セル黑色或ハ鸚鵡色ナルアリ若キ雄鷄ハ四―五、五成長  
シタルモノハ五―五六若キ雌鷄ハ三、五―四五成長シタルモノハ四、五―五、五キロ瓦  
ノ重量ヲ有ス、コーチンハ就巢解卵ノ性强ク善良ナル母鷄ナリ然シナガラ雛ヲ四―  
六週ヨリ長クハ取扱ハズ即チ再ビ産卵センガ爲メナリ每週五若クハ六顆ノ帶赤黃  
色ノ卵ヲ産ム一顆ノ卵ハ六十五瓦ノ重量トス  
ブラマ鷄ハ千八百四十六年東印度ヨリ歐洲ニ輸入シタリ軀色ハ淡色、暗色ニシテ頭  
ハ高クシテ三枚冠、薔薇冠ヲ有シ銀灰色ナリ頸ハ白クシテ黑色ノ線アリ胸ハ暗色ニ  
シテ尾ハ光輝アル綠黑色ニシテ短シト雖トモ、コーチン鷄ヨリハ長シトス趾ハ黃色  
ニシテ肉ハ羽毛ヲ生ズ若キ雄ハ四―五、五成長シタルモノハ五、五―八若キ雌鷄ハ三、

五―四、五成長シタルモノハ四―七、キロ瓦ノ、体重トス、プラマノ、特點ハ大ナル、忍耐力及蕃殖力盛ナルニアリ、雌ハ一ケ年百五十顆ヲ産ム、一顆ノ重量六十八瓦トス  
 「ラングシヤン」鶏ハ千八百七十二年ニ北支那ヨリ歐洲ニ輸入シタルモノニシテ羽毛ハ深黒色ニシテ金屬光ヲ呈スルアリ又白色、或ハ青色ノモノアリ、鶏冠ハ直立シ深ク刻裂シ脚ハ石盤色ニシテ羽毛少ク氣候ノ感作ニ堪ユ産卵用トシテ良種ナリ、特ニ冬期宜シク卵ハ帶黄色ニシテ濃淡ノ斑點散在ス卵ハ中等大ニシテ雌ハ就巢ノ性ニ乏シト雖肉用トシテ亦良ナリ

(ロ)無毛脚、「マレイン」鶏ハ東印度、マラツカ、半島ニ産ス頭ハ石竹様ノ鶏冠ヲ有ス肩部ハ格別ニ高く背ヨリ尾ニ至ルニ從ヒ傾斜ス羽毛ハ赤色及金色ヲ有セル褐色ニシテ胸ハ黒色トス脚ハ高クシテ黄色トス雄鶏ハ五、キロ瓦卵重七十瓦トス良キ卵鶏ナルモ就巢ノ性乏シ、ス

闘鶏ハ羽毛色甚ダ種々ニシテ通常灰色ナルモ暗色ナルモノアリ雄鶏ニ、キロ瓦卵重六十瓦トス (Kampflin, Game fowls)

「ヨコハマ」鶏横濱鶏ハ日本ニ於テ闘鶏トナス羽毛ハ褐赤色ニ白色或ハ黄色ノ鞍羽又

ハ黒色アリ雄鶏ノ尾毛ハ優ニ彎曲シ長サ半迷―一迷ニ達スルモノアリ

「スマトラ」鶏 (Sumatra) ハ日本及「マレ」嶋ニ愛玩用トシテ蕃殖ス産卵數中等ナリ甚ダ高ク飛翔スルノ性アリ

長尾鶏 (Phonia) ハ千八百七十八年日本ヨリ歐洲ニ輸出シタルモノニシテ尾ハ長ク二迷以上ニシテ愛玩用トシテ蕃殖ス羽毛ハ褐色、銀灰色、白色トス鶏冠ハ單冠ニシテ顔面紅色、耳朶淡紅色、肉髯紅色トス

二英國種

「ドーキング」鶏ハ側面ヨリ觀ルトキハ胴ハ短四角形ヲ呈ス趾ハ大ニシテ後趾ハ二本ヲ存ズ故ニ五本ノ趾ヲ有ス羽毛灰色ニシテ銀灰色、暗白色ナルアリ鶏冠ハ薔薇冠ナリ雄ハ四、五―五、キロ瓦雌ハ三、五―四、キロ瓦卵重六十五瓦トス肉ハ柔軟多汁ニシテ佳味ナリトス産卵少キモ就巢ノ性强ク母鶏トシテ賞用ス

蘇格蘭ノ「グクツク」鶏ハ灰色、金屬光ヲ有セル黒色及帶青白色ノ混淆羽毛ヲ生ズ体重三―四、キロ瓦ニシテ肉ハ硬シトス

「ハンバード」鶏ハ牀ノ大サ中庸ニシテ外觀美ナリ羽毛ハ銀色斑紋或ハ金色斑紋銀色



班條金色班條黑色青色トス鶏冠ハ薔薇冠ナリ産卵用トシテ卓越シ一年二百一二百二十顆ノ卵ヲ産ス性強健ニシテ飼養管理ノ粗ニ堪ヘ農業濟經上有益ナルモ一區域ヲ限リ飼養スルニ不適ナリ

赤頭種ハ金色ハシバグニ類スルモ大且ツ長廣ナル薔薇冠ヲ有ス

「オルピングトシ」鶏ハ千八百八十七年「ラングシヤン」<sup>一</sup>「ブリモウス」<sup>二</sup>及「ミノルカ」ニヨリ交又蕃殖セラレタルモノニシテ軀形ハ「ドーキング」及「黒色」ハシバグノ中間ニシテ羽毛ハ光輝アル黒色ナリ蕃殖力強大ニシテ肥膾ヲモ兼備ス

三、地中海沿岸種

西班牙鶏「スバニツシユ」鶏ハ軀細美姿勢優雅ナルヲ以テ愛翫セラルル鶏冠ハ單冠ニシテ甚ダ大ナリ雄ニテハ直立シ雌ニテハ垂下ス脚ハ灰色ニシテ羽毛ナク頭ハ多クハ白色他部ノ羽毛ハ光輝アリテ純黒色ナリ雄ハ軀重三―三、五、キロ瓦トス産卵數甚ダ多ク一年ニ二百二十顆、毎週五顆ヲ産ム卵ハ大ニシテ七十五―八十瓦ノ重量ヲ有ス卵殻ハ白色トス就巢甚ダ稀レナリ「ミノルカ」鶏及「アングルシヤン」鶏ハ「スバニール」鶏ヨリ出タルモノナリ

「ミノルカ」鶏ハ前者ト異ル點ハ顔面赤色ナルニアリ耳朶ハ白色ニシテ主ナル種類ハ黒色「ミノルカ」及白色「ミノルカ」ナリ

「アングルシヤン」鶏ハ「ミノルカ」ニ類スルモ石盤色ナリ蓋シ「スバニール」若クハ黒色「ミノルカ」ト白色「ミノルカ」トノ雜種ナリ羽毛ハ鉄樣青色ナルヲ貴ブ頸及鞍羽ハ帶青色、尾ハ青色、脚ハ黒色ナリ

伊太利種ハ「レグホン」鶏ニシテ産卵數甚ダ多ク一年百六十乃至二百顆ヲ産ム食餌良好ナレバ冬期尙ホ良ク産卵ス嘴ハ黄色鶏冠ハ單冠ニシテ雄ニアリテハ直立シ雌ニアリテハ垂下ス肉髯大ニシテ耳朶白色、脚ハ黄色ニシテ毛ナシ羽毛ハ純白色、褐色或ハ灰色ナリトス

四、亞米利加種

「ドミニク」鶏ハ鶏冠重列或ハ薔薇冠ニシテ胸ハ肥大シ尾ハ美麗ナリ羽毛ハ地色帶青灰色ニシテ尖端暗青灰色トス軀ハ中等大ニシテ三、五―四、キログ瓦トス肉ハ美味ニシテ亦卵産少カラズ

「ブリモウス」<sup>一</sup>「ロック」<sup>二</sup>鶏ハ千八百七十九年獨逸國ニ入りタルモノニシテ卵用肉用ヲ兼

備ス羽毛ノ地色灰白色ニシテ之ニ黒灰色ノ横班三乃至四條アリ羽毛ノ色礎ニ似テ美ナリ脚ハ黄色ニシテ毛ナク尾毛少シト雖トモ「コーチン」ニ比シテ稍長ク高シ頸ハ稍長ク顔面鶏冠肉髯赤色ニシテ鶏冠單冠ニシテ大ナリ雌ハ孵化育雛ニ適シ雛ハ早熟ナリ

「ワイアンドット」鶏ハ千八百八十三年銀色班紋「ハンバーク」暗色「ブラマ」セフライト「バングラム」及「コーチン」ノ交叉ヨリ生マタルモノナリ「コーチン」血ハ少量ナリトス羽毛ハ金色班紋銀色班紋黄色班紋ニシテ地色ハ白色或ハ黒色ナリトス産卵中等ナルモ卵大ナリ雛ハ發育容易ニシテ早熟肥腹シ易シ肉ハ多汁ニシテ美味ナリ

B. 毛冠種

五、佛蘭西白耳義種

「ラ、フレツシユ」鶏ハ二本ノ小角ノ如キ肉冠ヲ有シ耳朶白ク肉髯長ク嘴及脚ハ鉛黒色ナリ羽毛ハ通常黒色トス肉ハ美味ニシテ産卵數ハ一年百四十顆トス卵殼純白色ナリ性强健ナリト雖トモ濕氣ニ感マ易シ肥臈容易ニシテ且ツ早熟ナリ  
「ブレトダ」鶏ハ鶏冠萎縮ス良キ産卵鶏ニシテ肉又美味ナルモ母鶏トシテハ適セズ

「クレソツエ、クローア」鶏ハ鶏冠額ニ於テ二個ノ角狀ヲナシ其後ニ圓キ毛冠アルヲ特徴トス羽毛ハ頸背翼尾ハ帶綠色或ハ帶青色ノ金或ハ銀光ヲ帶ブル暗黒色ナリトス又銀灰色或ハ白色ナルアリ雄ノ重量三五―四二キロ「瓦」トス終歲産卵ス卵重九十五ナリ卵殼ハ白色トス雛ハ既ニ八ヶ月ニシテ成熟ス肉ハ纖細多汁ニシテ最モ佳味ナリ  
「ウーダン」鶏ハ鶏冠ハ直立セル二個ノ葉狀冠アリ其間ニ圓形ノ隆起アリ毛冠ハ大ニシテ肉髯ハ可ナリ長シトス羽毛ノ色ハ黒白一樣ニ夾雜ス趾ハ五本トス雄ノ躰重四―四五キロ「瓦」卵重八十五瓦トス産卵數多ク早熟ニシテ肥臈シ易シ肉用ヲ主トシ産卵ヲ兼ヌルモノトス

六、固有毛冠種

「ポーランド」鶏ハ毛冠大ニシテ鶏冠ハ甚ダ小ニシテ在レドモ無キガ如ク肉髯亦然リ耳朶ハ白色ナリトス

和蘭波蘭鶏ハ愛翫用トシテ多クノ種類ヲ有ス純白色毛冠ニシテ黒色或ハ灰青色ノ羽毛ヲ生ズ雄ノ重量三三キロ「瓦」トス産卵多數ナルモ母鶏ニ適セズ又不良ノ氣候ニ感マ易シトス「パチユアナル」鶏ハ (Paduaner, Polhühner) 毛冠前種ヨリ大ニシテ毛ハ後方ニ垂下ス雄

ノ重量二、五キロ瓦卵重六十五瓦トス善良ナル産卵用ニシテ又佳味ナル肉ヲ生ズ羽毛ノ色ニヨリ銀色班條或ハ銀色班紋及金色班條或ハ金色班紋「バチユアチル」ニ區別ス「ブラバンター」鶏ハ前種ニ甚ダ類スルモ毛班ハ周圍ニ垂下ス善良ナル産卵鶏ニシテ肥膺容易ナリトス、

「ズルタン」鶏「ツルケン」鶏「シユラスエル」鶏ハ脚ニ毛ヲ有シ趾ハ五本トス羽毛ハ白色美麗ナリトス

C、其他ノ種類

「チエーリング」鶏ハ毛班ナクシテ強大ナル肉髯ヲ有ス羽毛ハ黒色鉛色班條金色班條淡黄色等トス産卵多シトス

「バウエル」鶏 (Bardoor-Towls) ハ羽毛ノ色種々ナリトス一年百二十乃至百七十顆ヲ産ム亞種ハ獨逸「ベ」ミツシユ「鶏」スマイリツシユラント「鶏」トートレ「鶏」ラーク「鶏」ラーク「鶏」アウグスアル「鶏」等トス

蕃殖管理及用途

經濟上及飼養ノ目的(卵用、肉用、種用)ニヨリ種族ヲ撰擇セザルベカラザルモ一般ニ強健

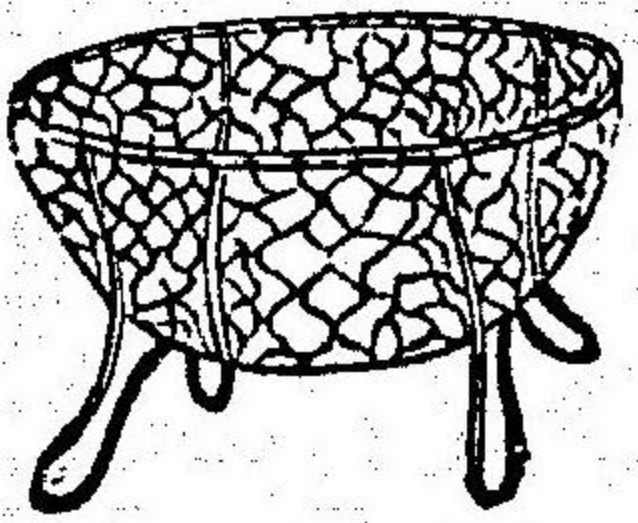
ニシテ外貌ヲ損セザル純粹種ヲ撰ブベシ雄鶏ハ一年乃至五年種用ニ供スルヲ得ルモノニシテ二乃至三年ヲ旺盛ナル時期トス一羽ノ雄ハ十二乃至二十羽ノ雌ニ配スルヲ得雌鶏ハ又強健ニシテ特ニ蕃殖力強キモノヲ撰ブ善良ナル産卵雌鶏ハ一年九十乃至百最モ多キモノニシテ百二十乃至二百顆或ハ以上ノ卵ヲ産ム  
鶏ノ天然ノ生命ハ十歳乃至二十歳トス

若キ鶏ハ屢既ニ十ヶ月ニシテ小卵ヲ産スルモ孵化ニ適セズ二或ハ三年ノ雌鶏最モ多ノ卵ヲ産ム六乃至七歳以後ハ産卵數漸次減少ス産卵始レバ毎日一顆宛産ムヲ普通トスルモ三、四日ニシテ一顆ヲ産ムモノアリ又稀レニハ一日ニ二顆ヲ産ムモノアリ此場合ニアリテハ後ニ出デタル卵ハ恰モ「フーセン」球ノ如ク卵殼薄クシテ紙ノ如シ元來卵殼ノ形成ニハ一日ヲ要スルモノナレバナリ多數ノ卵ヲ續産スレバ就巢ノ念ヲ生ズルニ至ル抱卵後ハ再ビ産卵ヲ始ムレトモ老鶏ハ然ラズ雛ヲ育ルニ多クノ日ヲ費ス又雌鶏ハ交尾セズシテ産卵スルモノアルモ該卵ハ孵化セズ

大ナル卵ハ七十五中等大ノ卵ハ六十、小ナル卵ハ三十乃至四十八瓦トス卵殼ノ重サ七、四乃至七、二乃至六、九瓦ナリ養タル卵ハ、卵白五、一乃至六、六四卵黄二、五、二乃至

至三八八而シテ卵殻八九乃至一二八%トス  
 孵化用卵ハ二歳以上ノ雌鶏ノ交尾ニヨリテ産ミタルモノニシテ其大サ及形状正規  
 ニシテ二十一日以内ノモノタルベシ如何トナレバ「エンブリオ」ハ左様ニ長クノ生活  
 カヲ存セズ孵化ニ適スル卵ハ之ヲ手ニ持チ燈火ニ照スカ又ハ檢卵器ヲ用ユレバ透  
 視スルヲ得卵ノ尖端尖リ長キ卵ハ雄雛出ヲ鈍ニシテ圓キ卵ヨリハ雌雛出ツト云フ  
 若キ鶏及産出初期ノ卵ヨリハ雄雛多ク出ツト云フ孵化用卵ハ一母ニ十二乃至十八  
 顆ヲ抱カシムルヲ得ベシ巢箱ハ木製ノ四角形箱或ハ網籃ヲ用ヒ内ニ稿或ハ乾芻ヲ  
 充分ニ敷クベシ抱卵用ニハ若キ鶏ヨリ老鶏ヲ良シトス幼鶏ハ生力旺盛ナルガ故再ビ  
 産卵セントシ半途巢ヲ去ルコトアリ尙ホ育雛拙劣ナルモ  
 ノ多シ抱卵鶏ニハ飼糧及飲水ヲ充分ニ給スベシ抱卵持  
 續ハ十九日半乃至二十一日乃至二十三日トス最良ナル  
 抱卵時期ハ種鶏ニアリテハ三月中旬乃至五月中旬トス  
 而シテ屠殺鶏ニアリテハ終歲孵化セシムルヲ得

第三百三十三圖  
 巢籃



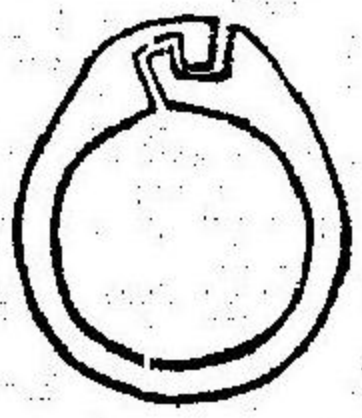
人工孵卵法ハ自然孵卵法ニ近邊セシムルニアリ母鶏就巢中ノ要件ヲ次ニ列記

セシ

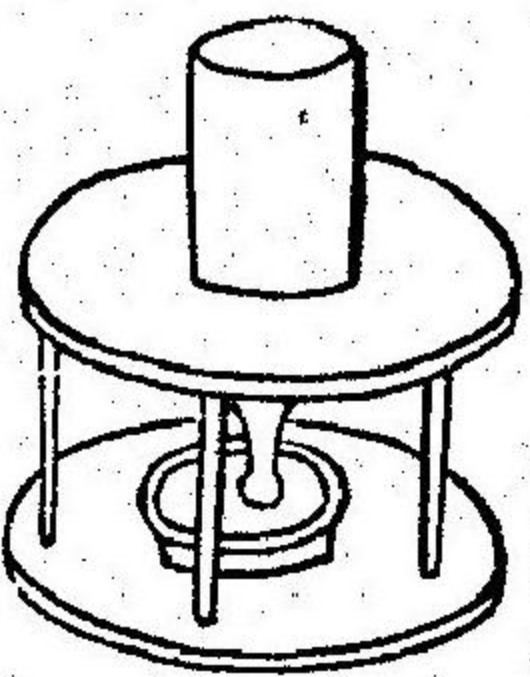
- 一、母鶏ノ体温ハ攝氏三十七度乃至四十度ニシテ卵ヲ抱クコト平均三週間トス
  - 二、時々巢ヲ離レ少時ノ後巢ニ就クヲ常トス即チ要ハ飲食ヲ探ルト卵ニ新鮮ノ  
 空氣ヲ給スルニアリ
  - 三、抱卵中ハ嘴ヲ以テ卵ヲ反覆シ各部ニ於ケル受温ヲ一樣ナラシム
  - 四、己レノ体ヨリ蒸發スル濕氣ヲ供シテ卵内水分ノ欠損ヲ補ヒ併セテ僅少ノ脂  
 氣ヲ卵表ニ塗リテ水分ノ發散ヲ防グニアリ
- 以上ノ如クナルガ故ニ人工孵卵法モ此要件ニ該當スル様構造セザル可ラズ  
 雛ハ孵化第一日ハ食餌ヲ與フルヲ要セズ如何トナレバ尙ホ腹内ニ卵黃殘存スルニ  
 由ル二十四時間後ハ温暖ナル場所ニ移シ煮熟セル卵ヲ細切シ之ニ麵包粉或ハ粉碎  
 セル黍ヲ混シ與フ六日後ハ昆虫ヲ與フ好キ天候ニアリテハ母ト共ニ庭内ノ運動ヲ  
 ナサシムレバ昆虫、蟻、草、穀粒等ヲ自ラ食スルヲ得三乃至四週後ハ燕麥、大麥、蕎麥、玉蜀  
 黍、黍麥芽、煮タル馬鈴薯、油餅、麵包、肉粉、生草、サラト、屠殺殘物及庖厨殘渣等ヲ給與ス  
 母鶏ニハ卵殼形成ヲ補助スル爲メニ卵殼ノ碎粉或ハ石灰質物ヲ給スベシ

鶏ノ年齢ヲ容易ニ知ランガ爲メ入乃至二二密迷ノ環ヲ脚ニ附スベシ

圖四十三百第



圖五十三百第  
器水飲



常ニ新鮮ナル飲水ヲ給ス即  
チ上圖ノ飲水器ヲ使用スベ  
シ舍内ハ乾燥ヲ主トシ寧ロ  
寒冷ナルヨリ温暖ナルヲ良  
シトス肥臘用ニアリテハ攝

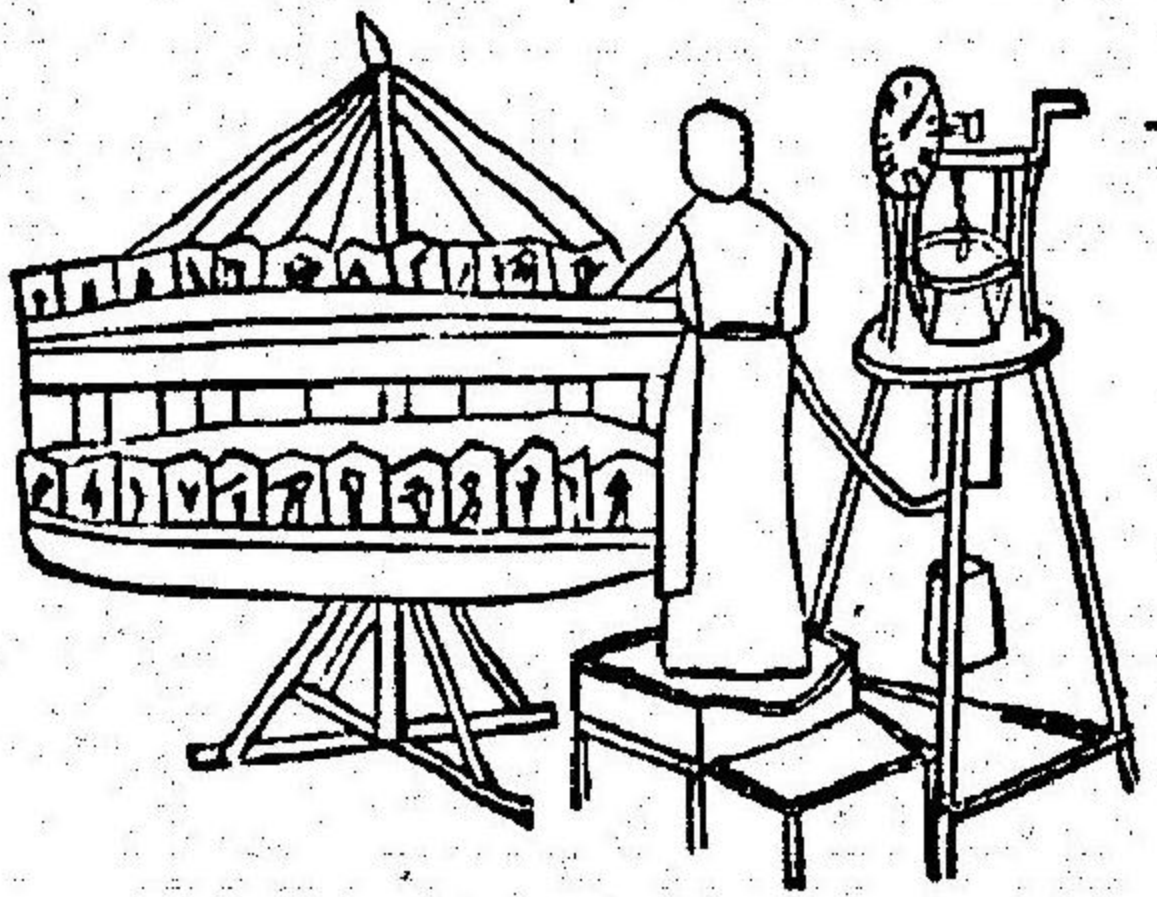
氏十二度種用鶏ニアリテハ十八度トス温度ノ急變ヲ避ク清潔ニ注意スベシ

家禽舍ハ鶏ニアリテハ〇、一二鶯アリテハ〇、二五乃至〇、三鶯ニアリテハ〇、一五乃至  
〇、二〇吐殺鶏〇、三平方メートルハ鶯ニアリテハ〇、一〇、二立方メートルノ容積ヲ要  
ス高サハ二、〇乃至二、三メートルトス一人ノ牧夫ハ五百乃至千羽ノ鶏ヲ管理シ得ル  
モノナリ

肥臘用ニ供スル雄鶏ハ孵化後四ヶ月ニシテ睾丸摘出ヲナス然ルキハ肉ハ脂肪ニ富  
ミ柔軟ニシテ美味ナリ雌鶏ハ五乃至六ヶ月ニシテ即チ産卵前ニ肥臘セシム卵巢摘  
出ハ危険アリ、コーチン、シナ、鶏ハ安靜ナル狀況ニ於テ自由ニ運動セシメテ肥臘セシ

ルヲ得ルモ他ノ鶏ハ然ラズ闇黒ナル場所ニ入レ運動ヲ制限セザル可ラズ肥臘食ト  
シテハ玉蜀黍最モ適良ナリ其他蕎麥、壓潰セル馬鈴薯及糠等ヲ用ユ肥臘法宜シキヲ  
得バ十四乃至十八日ニシテ肥臘スルモ肥臘持續ハ通常六週トス肥臘中ハ殊ニ新鮮  
ナル飲水ヲ多ク給スベシ  
肥臘法強飼法ハ玉蜀黍粉、大麥粉ヲ牛乳ニテ練リ小指大トナシ鶏ノ咽喉ニ押込ム法  
ナリ

圖六十三百第  
器臘肥



圖七十三百第  
齒拉列虎禽家



鶏ハ飲水ノ不良、濕潤及寒冷ニアリテハ甚ダ容易ニ疾病ヲ發ス病鶏ハ鶏冠ノ色及羽毛ノ光澤消失ス而シテ食欲減損ス主ナル疾病次ノ如シ  
 鼻加答兒、「ビブス」、氣管枝炎、痛風、實布の里、眼病、下痢、家禽虎列拉、脚疥癬(石灰脚象皮脚)等ニシテ脚疥癬ハ「デルマトリクテス、ムタンヌ」ノ寄生ニ由ル其他氣管ニ「ストロンギルス、ジンガムス」寄生シ加答兒ヲ發シ或ハ蟲數多數ナルキハ窒息ヲ發スルコトアリ

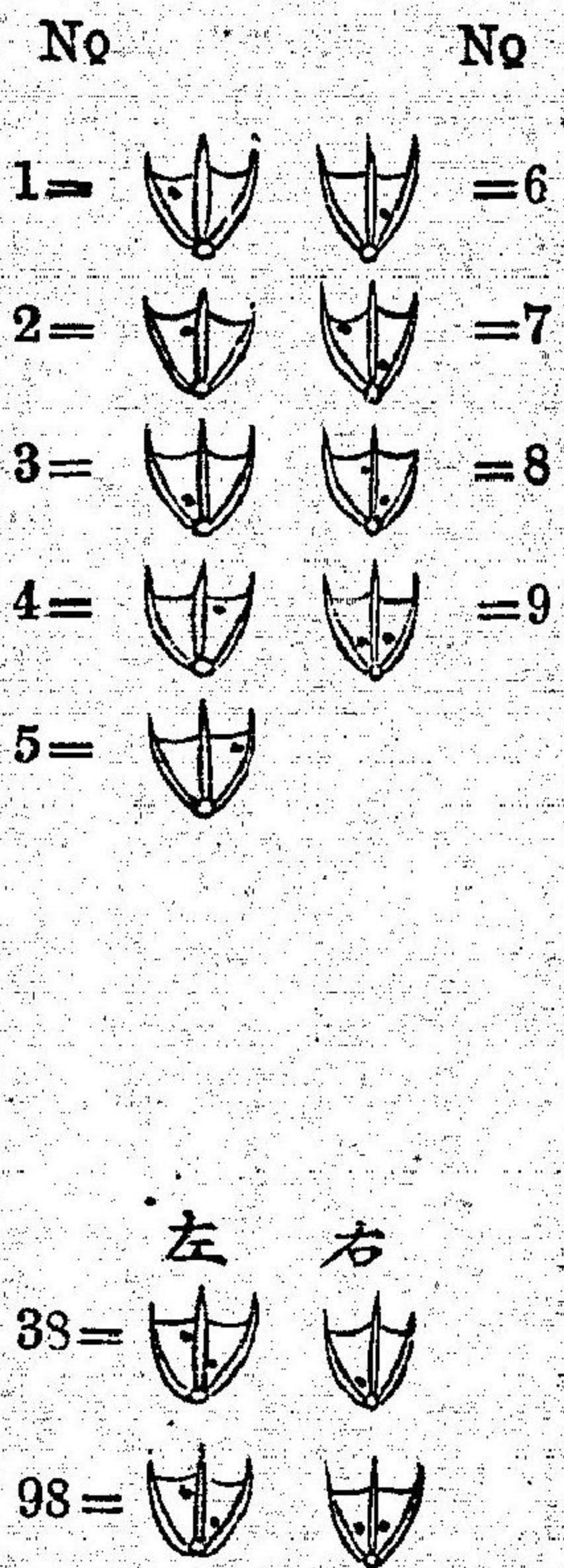
### 二、鵞

鵞 [Gans, goose, oie, oca, (Anser domesticus L.)] ハ肉ハ美味ニシテ羽毛ハ鵞筆、填料ニ應用ス有名ナル種類ハ白色「エムデン」或ハ「シユワ」トシテ鵞トス東「フリース」ノ「マルシユ」ニアリテハ甚ダ生産力強大ニシテ二十乃至二十五ノ卵ヲ産ム十乃至十二年種用ニ供スルヲ得、白色或ハ灰色ノ「ボンメル」鵞ハ大量ノ脂肪ヲ藏シ有名ナリ、「メクレンブルグ」鵞ハ暗灰色、軀大ニシテ十五「キロ」瓦ノ重量ヲ有ス  
 鵞ハ(飼糧)穀實、根菜、水草、蕪菁、雜草、野菜、庖厨殘物、麥酒糟、昆虫、小魚、魚血、蛙等殆ド食セザルナシ

一雄ハ八乃至十羽ノ雌ニ配スルヲ得ベシト雖トモ屢四―五羽ニ配スルコトアリ交尾期ハ十二月及一月ノ頃ニシテ交尾スレバ直ニ巢ヲ造リ三四週間ニ十乃至二十ノ卵ヲ産ム卵ハ八十八乃至百「ミリメートル」ノ長サ、五十二乃至七十「ミリメートル」ノ巾及百二十乃至二百瓦ノ重量ヲ有ス卵殼ハ二十二乃至二十八瓦トス抱卵セシメンニハ巢中ニ一顆ノ卵ヲ入レ置クベシ然ルキハ直ニ産卵就巢ス就巢ニハ二歳以上ノモノヲ宜シトス而シテ百八十瓦以上ノ卵ヲ十二乃至十五顆入レ置クベシ二十七乃至三十二日ニシテ卵ハ孵化ス孵化シタル雖ハ二十四時間ハ食ヲ與ヘズ且ツ巢中ヨリ出スベカラズ翌日ヨリ煮熟シテ細切セル卵及麵包粉、蕪麻、穀粉、生草ヲ與フ五乃至六日ヨリ母鵞ト共ニ草庭ニ出スベシ七乃至八週ニシテ羽毛密生シ軀強健トナリ他ノ鵞ノ如ク一日ニ約百五十瓦ノ穀實ト其他ノ雜食ヲ給ス  
 好キ食餌及管理ニアリテハ半年―一年―二年ニシテ既ニ著シク成長ス肥臘セシメンニハ強飼法ヲ行ヒ玉蜀黍、大麥、燕麥、豌豆、蕎麥等ヲ與フ肥臘シタル鵞ハ四―五週ニシテ七乃至十一「キロ」瓦ヲ増ス肝臟ハ、〇五―一五「キロ」瓦、脂肪二―三「キロ」瓦、胸一、五「キロ」瓦、血液〇、二―五「キロ」瓦トス屍軀量ハ生軀量ノ六十九乃至七十四%トス

鷺及鷺ハ年齡及雌雄ノ識別ヲ容易ナラシムル爲メニ蹠膜ニ記號ヲ穿孔ス

圖八十三百第



收毛 收毛ハ死後ト生時ニ收ムルノ二法アリ生時ニアリテハ胸及腹ノ毛ヲ一年ニ  
 三十四回即チ五月初旬七月及九月ニ抜クナリ生時ノ毛ハ一種ノ彈力ヲ有シ柔軟ニ  
 シテ保存期長シ死後ノ毛ハ之ニ反シテ保存期短シ白毛ハ最モ貴ナル羽毛ヲ三類ニ  
 區別ス

- 一、羽翹ニシテ葉卷煙草ノ口ヲ當ツル所ニ應用ス
- 二、鴻毛或ハ毳毛ニシテ枕ノ心及裝飾ニ應用ス
- 三、羽莖ニシテ鷺筆トナス

好キ毛用鷺ハ一年ニ〇四一〇九キロ瓦ノ羽毛及四分ノ一キロ瓦ノ毳毛ヲ生ズ一羽  
 ノ屠殺シタル鷺ハ百四十瓦ノ羽毛及三十五瓦ノ毳毛ヲ得ルモノナリ

### 三、鷺又ハ家鴨

鷺 [Hans = ente, duck, canard, anatra, (Anas boschas L.)]ノ種類ハ「ルイアン鷺」「アイルスバリー」  
 鷺及「ベキン鷺」ヲ主ナルモノトス甲ハ頸ニ白色ノ輪アリ此輪ハ背面ニテ中斷ス妹鴨  
 ニ類似シ形大ナリ佛國鷺中最上位ヲ占メ肉ハ柔軟多汁ニシテ美味ナリ且ツ早熟種  
 ナリ脚色雄ニアリテハ橙黄色ナレモ雌ハ帶褐黄色ナリ乙ハ羽毛純白色ニシテ嘴ハ  
 肉赤色ニシテ斑點ナシ性強健ナリ丙ハ脚後方ニ附キ妹ハ真直ニ立ツ之ニテ乙トノ  
 鑑別ヲナス雄ノ頭ニハ鶏冠ノ痕跡アリ嘴黄色ナリ羽毛ハ白色ニシテ地色帶黄白色  
 ナリ脚ハ黄色トス  
 其他鉛色瑞典種、獨乙種、レツフェル種、尖尾種、クリム種、ビザム種、ツウエルグ種、チ  
 ル種等アリ

鷺ノ雄ニハ尾ニ彎曲セル羽毛アリ雌ニナシ

雌鷺ハ妹重三乃至四、五雄鷺ハ四一五、キロ瓦トス一雄ハ八乃至十羽ノ雌ニ配スルヲ

得雌ハ三月頃ヨリ産卵ヲ始メ隨所ニ産卵ス就巢セザルハ一年六十顆以上ヲ産ム  
 一アリ鶯ノ卵ハ中等大ニシテ長サ六十三巾四十三五、ミリメートルトス重量ハ五十  
 八乃至六十四瓦ニシテ卵殻ノ重サ五、五乃至六、五瓦トス鶯ハ自ラ抱卵スルヲ難シト  
 雖トモ若シ自ラ抱卵スルハ十五乃至二十顆ノ卵ヲ抱カシムベシ通常鶯ニ抱卵セ  
 シム其時ハ十二乃至十五顆吐綬鶏ニ抱卵セシムルハ二十顆ヲ抱カシムベシ二  
 十八日乃至三十二日ニシテ孵化ス雛ハ第一日ハ巢中ニ置ク其後ノ飼養管理ハ鶏ニ  
 同シ十日―十四日ニシテ自ラ水中ヲ泳キ水草、小魚、蛙魚卵等ヲ來メ食ス  
 肥臘ハ鶯ノ如ク處置スレバ十四日乃至三週ニシテ終ル肥臘鶯ノ屍体量ハ生体量ノ  
 七十乃至七十五%トスベキ種ハ肥臘シタルモノハ四、五―七、アイルスバリー種ハ  
 四、五―十、キロ瓦ノ炙肉ヲ生ズ

#### 四、吐綬鶏

吐綬鶏 [Trushuhn, pater, kalokut, turkey, dindon, pollo dindia, (meleagris gallopavo L.)] ハ北亞  
 米利加ノ原産ニシテ青銅色吐綬鶏、黑色吐綬鶏、及白色吐綬鶏アリ  
 吐綬鶏ハ寒氣ニ弱クシテ愚ナル鳥ナリ故ニ生後自ラ物ヲ食スルヲ曉ラザルモノ

アリ此場合ニハ鶏ノ雛ヲ二或ハ三羽混シ師トナスベシ生後三四日ニシテ食シ始ム  
 生後九ヶ月ニシテ産卵ス初メハ三月及四月ノ頃ニ産ミ次一七月及八月ノ頃ニ産ム  
 一年十五乃至二十時トシテハ二十五―三十顆ヲ産ム自ラ抱卵シ甚ダ巧ミナリ一雌  
 ニ十七乃至十八顆ノ卵ヲ抱カシムベシ二十七日―三十二日ニシテ孵化ス一雄ハ八  
 乃至十二羽ノ雌ニ配スルヲ得、白色吐綬鶏ハ一年二回裝飾用トシテ毛ヲ抜クヲ得  
 馬鈴薯、穀ヲ與フレバ六ヶ月ニシテ成長ス而シテ玉蜀黍、小麥粉ヲ以テ強飼法ヲ行ヘ  
 バ十四日ニシテ肥臘ス

#### 五、鳩

鳩 [Turtur, pigeon, piccione (Columba livia domestica Gm.)] ニハ斑鳩ハクキナル Turtur taube (Turturaurius  
 dp.) 及 Iachtarbe (Turtur risorius swains.) アリ鳩ハ主トシテ愛玩用ナルモ糞ハ貴重ナル  
 肥料材料ナリ卵ハ甚ダ小ニシテ十七日―二十三日ニシテ孵化ス一年六乃至十顆ノ  
 卵ヲ産ム交尾及孵卵ハ全夏期ヲ通ジテ反覆ス

#### 六、珠 鶏

珠鶏 [Perlhuhn, Guinea-fowl, pintade, melangrida (Numida meleagris L.)] ハ白色或ハ灰色ニシテ真



珠樣斑點アリ産卵期ハ四月中旬ナリ一雌ハ一〇ノ雌ニ配スルヲ得一年ノ産卵數六  
十乃至九十ニシテ卵ハ二十六日―三十二日ニシテ孵化ス

七. 孔雀

孔雀 [Pau, pea fowl, pmon, pavone (pavo cristatus L.)] ハ一年ノ産卵數五或ハ六顆ニシテ卵  
ハ二十九日―三十二日ニシテ孵化ス三年ニシテ美麗ナル斑紋雜色毛ヲ生ズ毛ハ貴  
重ナル裝飾品ナリ

養畜學終

明治四十年三月十日印刷  
明治四十年三月十八日發行

養畜學  
正價金壹圓

著作者

賀島政基

發行者

穴山篤太郎

著作  
登錄

東京市京橋區南傳馬町一丁目  
電話本局一〇三五番  
接替貯金口座六九六番

印刷者

落合彌三

右同所

發行所  
東京市京橋區南傳馬町一丁目  
書肆  
有隣堂  
特約販賣所  
大阪市南區心齋橋筋一丁目  
書肆  
文海堂



# 弘通書林

東京市	丸善書店	遠江見付	古澤良作	松江市	有田傳助
同	東京堂	甲府市	柳正堂	同	同
同	松村孫吉	近江長濱	文泉堂	岡山市	吉原弘文館
京都市	村上勘兵衛	岐阜市	郁文堂	同	同
同	利世館書部	長野市	西澤喜太郎	同	同
大阪市	柳原喜兵衛	信濃松本	高美甚左衛門	廣島市	積善館支店
播磨明石	福井商店	信濃市	高藤書店	岡防山口	自銀書店
但馬豐岡	石田松造	盛岡市	佐政商店	宮松市	宮脇仲次郎
長崎市	安中半三郎	同	佐々木仙助	同	同
越後長岡	目黒十郎	弘前市	今泉書店	松山市	土肥與平
同	高橋書店	青森市	同	同	同
同	西村六平	同	浦山政吉	福岡市	積善館支店
同	木田清三郎	同	兼子殊彦	久留米市	菊竹儀平
上野富岡	多田屋支店	同	五十嵐太右衛門	同	同
下總千葉	川又銀造	山形市	成見清兵衛	佐賀市	甲斐壯助
水戸市	内田濱吉	秋田市	柳田分店	熊本市	河內壯助
宇都宮市	三泉堂	羽後大曲	日新館	日向宮崎	長崎次郎
下野足利	坂田一郎	福井市	宇都宮源平	鹿兒島市	修進兵衛
奈良市	木屋嘉助	加賀松任	平醉香堂	大隈鹿屋	德永商會
伊勢松坂	片野中四郎	同	三谷吉郎	札幌區	禮觀興農園
名古屋市	三輪文次郎	富山市	中田清兵衛	同	進振堂
同	吉見書店	越中高岡	學海堂	同	富貴堂
靜岡市	谷島屋源三郎	伯耆倉吉	德岡長藏	小樽港	魁文書店
遠江濱松					白鳥書店

## 獸醫及蹄鐵書類

家畜醫範	農商務省	休戚	正價	郵稅
獸醫學士田中宏	全十六册 二千百枚 和大判	七圓廿五錢	四拾錢	
獸醫學士新山莊輔	四卷	參拾七錢	六六八錢	
獸醫學士重初熊	六卷	貳拾七錢	六四六錢	
獸醫學士西川勝藏	九卷	五拾七錢	六八六錢	
獸醫學士勝島仙之助	十一卷	四拾七錢	八六六錢	
獸醫學士須藤儀右衛門	十三卷	五拾六錢	六八錢	
獸醫學士三浦清吉	十五卷	貳拾八錢	六四錢	

內科學  
藥學  
生理學  
解剖學

外科學  
產科學

獸醫學  
蹄鐵學

家畜醫範

●家畜醫範	農商務省	全二千六百餘冊	和製	九圓	貳拾錢
●家畜醫寶典	農商務省	全七百五十冊	皮製	壹圓五拾錢	六錢
●獸醫畜產法規	農商務省	全四百廿冊	假製	壹圓五拾錢	四錢
●獸醫畜產法	農商務省	全四百一冊	大製	壹圓參拾錢	拾貳錢
●獸醫學大意	實木	全四百八十冊	大製	壹圓八拾錢	拾四錢
●家畜衛生學	獸醫學士水原勝之助	全五百廿餘冊	大製	壹圓五拾錢	拾四錢
●家畜病理通論	獸醫學士生駒藤太郎	全六百十冊	大製	六拾五錢	八錢
●獸醫警察	獸醫學士津野慶太郎	全四百餘冊	大製	壹圓貳拾五錢	拾錢
●畜疫治療方	會我彦麻呂	全十六冊	和製	拾錢	貳錢
●獸醫解剖篇	獸醫學士原野慶太郎	全五百二十冊	中製	下卷 八十錢	六錢
●獸醫解剖書	獸醫學士今泉六郎	全四百冊	假製	壹圓	八錢
●家畜比較解剖圖譜	梅野信吉	全七十一冊	假製	壹圓貳拾錢	四錢
●馬體解剖圖譜	獸醫學士中江保太郎	全百八十二冊	假製	六拾四錢	六錢
●馬牛解剖圖說	獸醫學士今泉六郎	全百餘冊	中製	四拾錢	四錢

●馬體主要筋一覽	陸軍省	全一葉	大製	五錢	貳錢
●新撰馬學	獸醫學士加藤雄千代	全二百餘冊	假製	六拾錢	六錢
●家畜化育要論	厚木納平次	全二百一十冊	中製	四拾八錢	六錢
●獸醫生理書	小澤温吉	全四百冊	假製	壹圓	八錢
●獸醫藥物學	獸醫學士武藤喜一郎	全六百餘冊	大製	貳圓拾錢	拾四錢
●實用家畜藥物學	飯村熊太郎	全四百八十冊	大製	壹圓參拾錢	拾貳錢
●實用家畜藥物學	同	全五百六十冊	大製	壹圓五拾錢	拾貳錢
●家畜內科學	獸醫學士勝嶋仙之助	全千二百餘冊	大製	下卷 貳圓四拾錢	拾五錢
●結核症	大澤弘毅	全百八十一冊	大製	六拾錢	六錢
●家畜外科學	獸醫學士原島善之助	全八百餘冊	大製	上卷 壹圓七拾錢	拾錢
●獸醫外科須知	獸醫學士今泉六郎	全二百七十冊	中製	六拾錢	六錢
●獸醫外科手術學	獸醫學士田中宏	全二百一十冊	假製	五拾錢	四錢
●家畜外科各論	獸醫學士今井廉	全九百冊	大製	四圓	貳拾錢
●獸醫調劑提要	米山理作	全二百七十冊	假製	五拾五錢	六錢

●家畜眼科學	獸醫學士水原勝之助	全六十餘頁	中製	四拾五錢	四錢
●家畜眼科學教科書	深谷芸次郎	全六十餘頁	上製	六拾錢	六錢
●增訂寄生蟲學	獸醫學士生駒藤太郎	全七十餘頁	假製	四拾錢	四錢
●家畜寄生動物學	獸醫學士山下盛治	全三百七十頁	上製	壹圓參拾五錢	拾錢
●增訂去勢術	獸醫學士柳澤銀藏	全二百二十頁	上製	壹圓	拾錢
●簡易去勢術	杉本銘一郎	全四十餘頁	假製	參拾五錢	貳錢
●家畜衛生要論	獸醫學士今泉六郎	全百五十餘頁	上製	四拾錢	四錢
●家畜診斷學外科篇	獸醫學士原島善之助	全四百數十頁	上製	壹圓八十錢	拾五錢
●家畜診斷學內科篇	獸醫學士原島善之助	全九百二十頁	上製	上卷貳圓	拾五錢
●牛病通論	勸農局	全四百六十頁	中製	壹圓貳拾錢	拾錢
●牛病可治	志賀雷山	全八十一頁	假製	四錢	貳錢
●相牛學	江馬九三郎	全二百二十頁	假製	五拾錢	四錢
●馬原病學	陸軍省	全五十一餘頁	中製	拾四錢	貳錢
●相馬學	江馬九三郎	全百九十餘頁	假製	五拾錢	四錢

●狂犬病說	陸軍省	全四十一冊	中製	拾錢	貳錢
●炭疽病接種試驗報告	農商務省	全百餘頁	假製	五拾錢	四錢
●皮膚及鼻疽病試驗報告	同	全五十餘頁	假製	參拾錢	貳錢
●應用品鐵學	駒場農學校	全四十餘頁	中製	拾六錢	貳錢
●應用品鐵學	獸醫學士岸本雄二	全二百七十頁	假製	九拾錢	八錢
●應用品鐵學	本田榮次	全二百廿餘頁	假製	六拾錢	四錢
●應用品鐵學	獸醫學士時野初太郎	全百八十一頁	假製	四拾錢	四錢
●應用品鐵學	農商務省	全二百餘頁	中製	五拾五錢	六錢
●應用品鐵學	獸醫學士水原勝之助	全百餘頁	上製	四拾錢	四錢
●陸軍蹄鐵術教範	陸軍省	全九十餘頁	假製	貳拾錢	貳錢
●外寄生動物學	賀島政基	全百餘頁	假製	三十錢	四錢
●增訂蹄鐵工開業試驗問題答案集	森儀右衛門	全三百卅頁	假製	五拾五錢	六錢
●東京獸醫新報	東京獸醫新報社	每月一回	假製	九錢五厘	六錢
●家畜發生學	獸醫學士生駒藤太郎	全百六十頁	上製	六拾五錢	六錢

# 牧畜書類

書名	著者	冊數及內容	體裁	正價	郵稅
畜產學原理	獸醫學士水原勝之助	全一冊 三百餘頁	大判	壹圓參拾錢	拾錢
畜產學教科書	農學士田口晉吉	全一冊 三百餘頁	大判	八拾錢	拾錢
家畜飼養學	高野亮美	全一冊 三百餘頁	大判	壹圓	拾錢
畜產汎論	農學士高見長恒	全一冊 三百餘頁	並上製	四拾五錢	拾錢
畜產各論	農學士田口晉吉	全一冊 三百餘頁	並上製	四拾五錢	拾錢
家畜原論	日山豊次郎	全一冊 百餘頁	中判	四拾五錢	四錢
養畜之葉	獸醫學士生駒藤太郎	全一冊 八十餘頁	假大判	參拾錢	四錢
家畜化育要論	厚木納平次	全一冊 二百餘頁	中判	四拾八錢	六錢
家畜衛生要論	獸醫學士今泉六郎	全一冊 百五十餘頁	中判	四拾錢	四錢
家畜年齡圖說	同	全一冊 四十一頁	假中判	拾六錢	貳錢
家畜食物論	村上要信	全一冊 十枝	和中判	拾貳錢	貳錢

六

書名	著者	冊數及內容	體裁	正價	郵稅
牧草圖譜	農商務省	第一冊 百餘頁	中判	壹圓	拾錢
實用牧草新書	辻正章	全一冊 二百餘頁	假大判	八拾錢	八錢
牧場灌水法	勸農局	全一冊	假大判	拾貳錢	貳錢
畜産部試驗報告	農商務省	第一冊 八十餘頁	假大判	拾六錢	貳錢
畜産學講習新書	岩田勇	全一冊 二百八十頁	假大判	七拾五錢	六錢
産牛新論	路次徳次郎	全一冊 百九十頁	大判	九拾錢	六錢
養牛道しるべ	勸業寮	全一冊 二百頁	中判	六拾錢	六錢
牛馬蕃殖飼養法要略	村上要信	全一冊 二百八十頁	假中判	七拾錢	六錢
養畜學	農商務省	全一冊 三十餘頁	假大判	六錢	貳錢
養畜學	賀島政基	全一冊 三百餘頁	假大判	壹圓	八錢
養畜學	勸農局	全一冊	假大判	拾貳錢	貳錢
養畜學	同	全一冊	假大判	拾貳錢	貳錢
養畜學	江馬九三郎	全一冊 二百廿餘頁	假中判	五拾錢	四錢
養畜學	農商務省	全一冊 百九十頁	中判	五拾錢	四錢

七

●乳牛及製乳新書	河相大三	全一冊	二百五十餘頁	假中製	五拾錢	四錢
●牛乳搾取家必携	杉本銘一郎	全一冊	二百餘頁	假中製	八拾錢	四錢
●牛乳寶典	肥塚正太	全一冊	百餘頁	假小製	參拾八錢	貳錢
●牛乳下衛生	農學士石橋三郎治	全一冊	百五十餘頁	假大製	五拾錢	六錢
●家畜保險論	獸醫學博士津野慶太郎	全一冊	百六十餘頁	上大製	七拾五錢	拾錢
●日本馬匹改良策	村上要信	全一冊	二百餘頁	中製	壹圓	六錢
●牧馬指南	獸醫學士佐藤清明	全一冊	二百餘頁	假大製	七拾五錢	六錢
●農事圖解 牧馬法	勸農局	全一冊	全一葉	假大製	拾貳錢	貳錢
●產馬飼略	文部省	全一冊	百餘頁	假中製	貳拾錢	貳錢
●馬糧考	內田總一	全一冊	百六十餘頁	假中製	貳拾五錢	貳錢
●新撰馬學	橫山正令	全一冊	九十一頁	假中製	參拾錢	貳錢
●相馬學	獸醫學士加藤雄千代	全一冊	二百一十餘頁	假大製	六拾錢	六錢
●相馬毛色新說及施毛圖解	江馬九三郎	全一冊	百九十一頁	假中製	五拾錢	四錢
	村上要信	全一冊	二百餘頁	假中製	五拾五錢	四錢

●馬外貌名稱圖解	陸軍省	全一冊	全一葉	假大製	參錢	貳錢
●養豚新說	森田龍之助	全一冊	百廿一頁	假大製	貳拾五錢	四錢
●養豚全書	五那爾徹	全一冊	二百八十餘頁	假大製	七拾錢	六錢
●華盛頓放牧地之管理	農商務省	全一冊	三十餘頁	假大製	拾五錢	貳錢
●養豚家必携	森備右衛門	全一冊	八十餘頁	假中製	貳拾五錢	貳錢
●實用養豚書	同	全一冊	八十一頁	假中製	貳拾五錢	貳錢
●養豚手引	池久吉	全一冊	四十餘頁	假中製	拾五錢	貳錢
●養豚法	勸農局	全一冊	全一葉	假中製	拾貳錢	貳錢
●通俗養豚書	飯田平作	全一冊	二百一十餘頁	假大製	七拾錢	六錢
●副產養豚法	小須賀一郎	全一冊	百餘頁	假中製	參拾五錢	四錢
●牧羊說	杉山安親	全一冊	六十二頁	假大製	參拾貳錢	四錢
●牧羊手引	勸農局	全一冊	六十一頁	假中製	拾貳錢	貳錢
●牧羊法	同	全一冊	全一葉	假中製	拾貳錢	貳錢
●百種羊	文部省	全一冊	百餘頁	假中製	拾六錢	貳錢

●山羊全書	內藤菊造	全一冊	中判	參拾錢	四錢
●養兔全書	本間小左衛門	全一冊	中判	參拾五錢	四錢
●家兔飼養法	飯田平作	全一冊	大判	五拾錢	六錢
●牧畜雜誌	牧畜雜誌社	每月一回	大判	拾貳錢	壹錢
●日本牧羊問答	辻正章	全一冊	大判	七拾錢	六錢
●畜產寶典	江馬九三郎	全一冊	小判	七拾五錢	四錢

◎ 弊店は御注文者の便利を圖り今加新設せられたる郵便振替貯金口座第六九六番に加入致候に付御送金の簡は振替貯金拂込用紙に現金を添へ最寄郵便局に御引出成候はゞ無手数料にて弊店へ送達可成候右拂込用紙は御申越次第何時にても御送附可申候  
 ◎ 又郵便局にて御送付の簡は京橋區傳馬町郵便局宛御振込被下度候郵便切手代用は必ず寄附増に願上候其銀行爲替等便宜確實に若金可致候様願上候  
 ◎ 荷物送附は御指圖に従ひ可申別に御申越無之分は弊店に於て便宜取計可申候尙又荷造の簡は精々堅固に注意可仕候得共萬一途中に於て水火災其他天災にて損害有之候節は荷物問屋に於て、又は小包郵便規則に依り辨償致候外弊店に於ては一切責任不仕候  
 ◎ 代金引換小包郵便規則に依り御注文の簡は必ず總代金の三分の一以上御送附の程願上候  
 ◎ 御注文に従ひ御送したる物品後日に至り返戻相成候も弊店に於ては責任不仕候

東京市京橋區南傳馬町二丁目十三番地  
 電話本局千〇五十五番  
 振替貯金口座六九六番

發行所

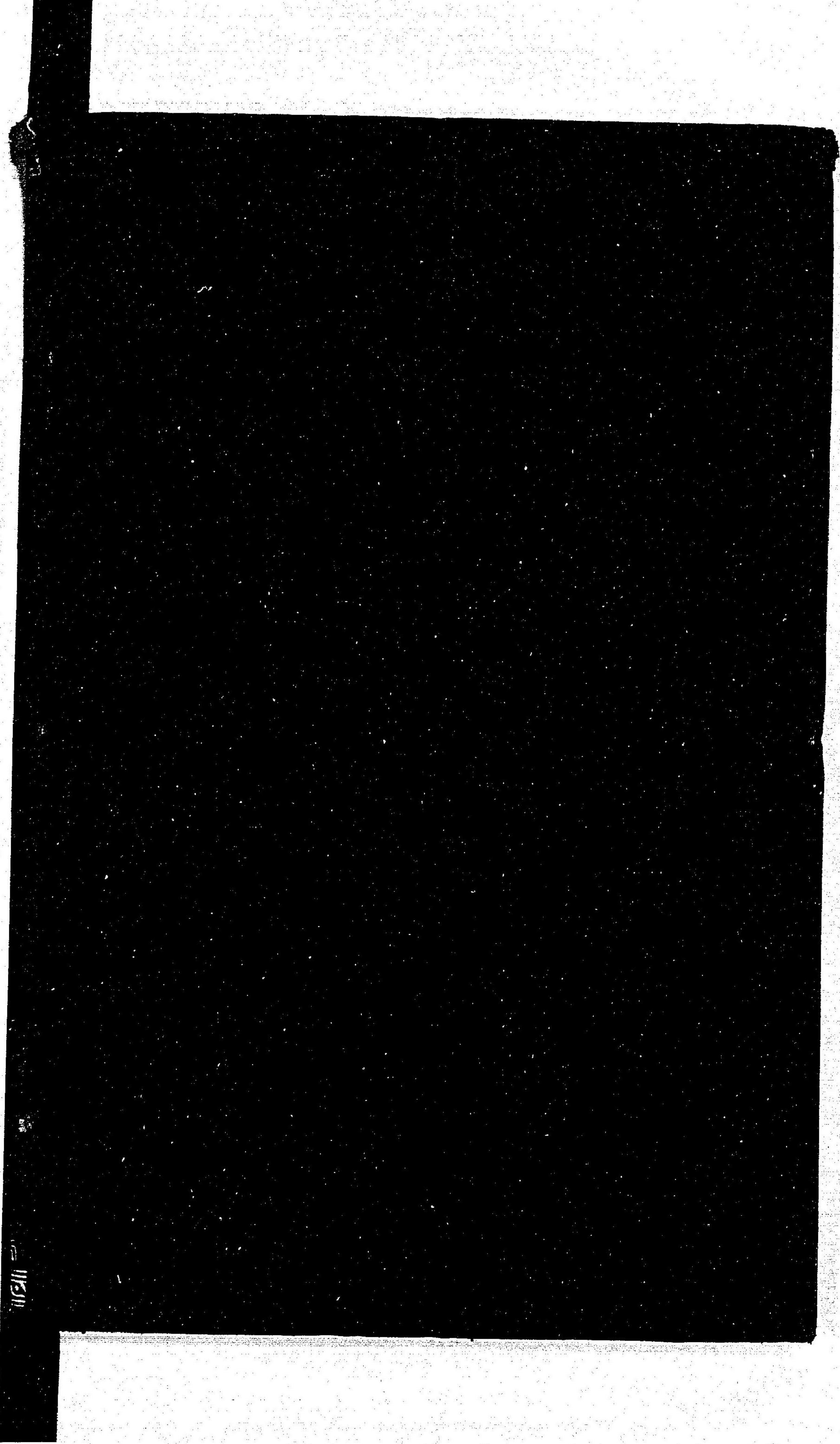
書肆 有隣堂 穴山篤太郎

電話本局千〇五十五番  
振替貯金口座六九六番

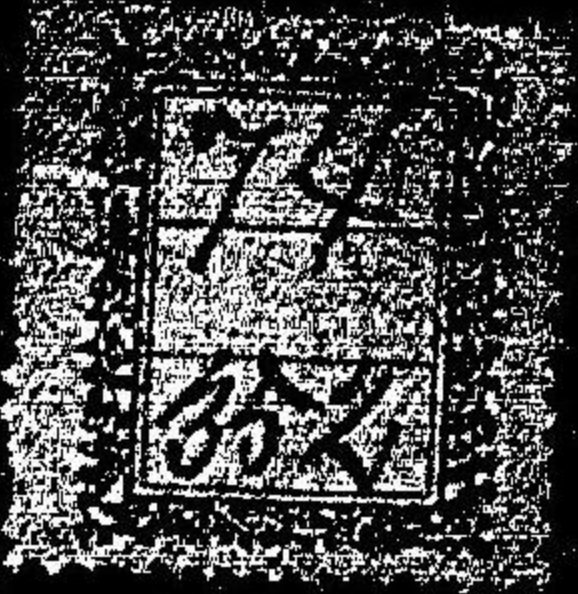
49



74  
157



11/21/11



065124-000-4

74-352

養畜学

賀島 政基/著

M40.3

CCD-0605



